

【表紙】

【提出書類】 半期報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年 9 月29日

【中間会計期間】 自 2021年 1 月 1 日 至 2021年 6 月30日

【会社名】 マラヤン・バンキング・ベルハッド
(Malayan Banking Berhad)

【代表者の役職氏名】 リー・イー・ホワン
(Lee Yih Hwan)
グループ企業財務担当者
(Group Corporate Treasurer)

【本店の所在の場所】 マレーシア クアラルンプール50050
ジャラン・トゥン・ペラック100
メナラ・メイバンク14階
(Level 14, Menara Maybank, 100, Jalan Tun Perak,
50050 Kuala Lumpur, Malaysia)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 吉井 一浩

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区大手町一丁目 1 番 1 号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1061

【事務連絡者氏名】 弁護士 安西 明毅
弁護士 村尾 侑己
弁護士 山崎 真理
弁護士 本郷 あずさ
弁護士 伊藤 雄太

【連絡場所】 東京都千代田区大手町一丁目 1 番 1 号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1658

【縦覧に供する場所】 該当事項なし。

注記：

- (注1) 「ASEAN」とは、
「マレーシア中央銀行」又は「BNM」とは、
「カガマス」とは、
「メイバンク」又は「当行」とは、
「メイバンク・グループ」又は「当行グループ」とは、
「タカフル」とは、
「ザカート」とは、
「ムドラバ」とは、
「ムラバハ」とは、
- 東南アジア諸国連合をいう。
マレーシアの中央銀行であるバンク・ネガラ・マレーシアを意味する。
「第一部 第6 - 1 中間財務書類」において、以下の通り意味する。
() カガマスへ売却した貸出金及びその他の債権に関するリコース義務に関する場合にはカガマス・ベルハッドをいう。
() カガマス債に関する場合にはカガマス・ベルハッド又はカガマス・エムビーエス・ベルハッドが発行した債券をいう。
マレーシアにおいて設立され、マレーシア、クアラルンプール50050、ジャラン・トゥン・ペラック100、メナラ・メイバンク14階にその登記上の事務所を置く会社であるマラヤン・バンキング・ベルハッド（会社番号：196001000142）をいう。
マラヤン・バンキング・ベルハッド及びその子会社全体をいう。
シャリアにおける保険概念であり、複数の加入者がタカフルにタバッル（tabarru）又は寄付の形で資金提供することにより、そのいずれかが確定した損失又は損害により債務を負うことになった場合に互いに保証することを相互間で合意するものである。これにより加入者の結束及び協調が高められる。
特定の財産につき、イスラム法に基づき慈善及び宗教上の目的により毎年行われる支払をいう。
出資者（rabbul mal）と事業者（mudarib）との間の契約であり、これに基づき出資者は事業者が運用することとなる資本を提供し、当該資本により生じた利益は、双方が合意した利益分配率に基づき出資者と事業者との間で分配されるのに対し、金融損失は、事業者の不正行為（ta`addi）、過失（taqsir）、又は特定の規定の違反（mukhalafah al-shurut）によるものでない限り、出資者が負担する。
取得原価及び利幅が購入者に開示されている資産の売買をいう。
- (注2) 別段の記載がある場合を除き、「RM」、「マレーシア・リングgit」及び「セン」（1マレーシア・リングgit＝100セン）はマレーシアの法定通貨を指し、「US\$」、「米ドル」及び「セント」はアメリカ合衆国の法定通貨を指し、「オーストラリア・ドル」及び「豪ドル」はオーストラリアの法定通貨を指し、「円」は日本の法定通貨を指す。2021年9月1日現在（日本時間）、株式会社三菱UFJ銀行が提示した現地参考為替相場の仲値は、1マレーシア・リングgit＝26.62円であった。
- (注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。
- (注4) 本書には「予定である」、「企図している」、「目指す」、「目指している」、「期待できる」、「起こりうる」、「確信している」、「予測している」、「期待している」、「継続する」、「予想している」、「見積もっている」、「推定している」、「意向である」、「計画している」、「試みる」、「将来」、「目標とする」、「はずである」、「可能性がある」、「あり得る」、「場合がある」及びその他の類似の用語又はその変化形を含む用語又は表現を使用した将来の見通しに関する記述が含まれている。

当行又は当行グループの予想される財政状態、事業、戦略、計画、見通し及び目標に関するすべての記述は将来の見通しに関する記述である。実際の結果は、当行のその戦略を成功裏に実行する能力、近年又は将来の合併、又は事業に組込むための取得を行うための能力、不良資産及び再構築資産の将来の水準、その成長と拡大、貸倒損失及び投資損失に対する引当金の適切性、技術的变化、投資収入、新商品を売込む能力、キャッシュ・フロー予測、当事者である又は当事者となる法的、規制上の訴訟の結果、新たな会計基準の将来における影響、配当金支払能力、短期資金源を繰越す能力並びに運用、市場、与信、金利及び通貨リスクのエクスポージャー、インターネット・バンキング・サービスの市場浸透度及び需要（ただしこれらに限られない。）に関する当行の想定に関連した特定のリスク又は不確実性により、将来の見通しに関する記述において記載されたものとは大幅に異なることがある。

すべての将来の見通しに関する記述は、本書日付現在におけるものである。当行又は当行グループの実際の将来の業績、成績又は実績が、本書の将来の見通しに関する記述において予測、記載又は暗示されたものと大幅に異なる原因となるリスク及び不確実性があることを前提として、本社債への投資を予定する投資家は、これらの記述に過剰に依存しないようにするべきである。当行は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述に関し、記載された当行の予測のいかなる変更又はかかる記述の基盤となった事象、状況又は環境の変化を反映した更新又は修正を公的に行う義務又は保証を有さないことを明示する。

(注5) 当行は、いかなる場合においても、本書において税制上、法律上又は規制上の助言を行うものではない。

(注6) 当行グループ及び当行の事業年度は暦年である。

第一部【企業情報】

第1【本国における法制等の概要】

当該半期中において、2021年6月29日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(1) 下記は直近の3中間会計期間及び2事業年度における当行グループの主な経営指標等の推移を表したものである。

(別段の記載のある場合を除き、千マレーシア・リングット)

	2019年6月30日に 終了した期間	2020年6月30日に 終了した期間	2021年6月30日に 終了した期間	2019年12月31日に 終了した 事業年度	2020年12月31日に 終了した 事業年度
営業総収益	26,030,487 (692,931,564 千円)	25,030,004 (666,298,706 千円)	23,555,409 (627,044,988 千円)	52,867,731 (1,407,338,999 千円)	51,030,965 (1,358,444,288 千円)
営業利益	5,030,888 (133,922,239 千円)	3,959,363 (105,398,243 千円)	5,820,688 (154,946,715 千円)	10,855,507 (288,973,596 千円)	8,447,809 (224,880,676 千円)
関連会社及びジョイ ント・ベンチャーの 利益持分	71,131 (1,893,507 千円)	94,138 (2,505,954 千円)	76,867 (2,046,200 千円)	158,373 (4,215,889 千円)	209,147 (5,567,493 千円)
包括利益合計	6,240,102 (166,111,515 千円)	4,951,056 (131,797,111 千円)	1,890,160 (50,316,059 千円)	11,347,163 (302,061,479 千円)	7,815,143 (208,039,107 千円)
1株当たり純利益 (基本的)(単位：セ ン)	33.84 (901円)	26.61 (708円)	38.00 (1,012円)	73.45 (1,955円)	57.66 (1,535円)
1株当たり純利益 (希薄化後)(単位： セン)	33.84 (901円)	26.61 (708円)	38.00 (1,012円)	73.45 (1,955円)	57.66 (1,535円)

	2019年 6月30日現在	2020年 6月30日現在	2021年 6月30日現在	2019年 12月31日現在	2020年 12月31日現在
純資産	81,919,372 (2,180,693,683 千円)	84,572,192 (2,251,311,751 千円)	86,887,986 (2,312,958,187 千円)	84,069,224 (2,237,922,743 千円)	87,109,627 (2,318,858,271 千円)
資産合計	819,662,191 (21,819,407,524 千円)	852,733,964 (22,699,778,122 千円)	879,353,197 (23,408,382,104 千円)	834,413,015 (22,212,074,459 千円)	856,859,514 (22,809,600,263 千円)
株主資本利益率(%)	9.8	7.5	10.5	10.9	8.1
1株当たり純資産 (単位：マレーシ ア・リングット)	7.07 (188円)	7.30 (194円)	7.20 (192円)	7.26 (193円)	7.51 (200円)
従業員数(名)	43,452	42,561	41,949	43,204	42,072

	2019年6月30日に 終了した期間	2020年6月30日に 終了した期間	2021年6月30日に 終了した期間	2019年12月31日に 終了した 事業年度	2020年12月31日に 終了した 事業年度
--	-----------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------------	------------------------------

営業活動から生じたノ（に使用した）正味キャッシュ・フロー	(23,273,046) ((619,528,485) 千円)	5,163,043 (137,440,205 千円)	22,418,033 (596,768,038 千円)	(9,968,158) ((265,352,366) 千円)	2,248,115 (59,844,821 千円)
投資活動から生じたノ（に使用した）正味キャッシュ・フロー	(307,487) ((8,185,304) 千円)	370,322 (9,857,972 千円)	(80,133) ((2,133,140) 千円)	(755,206) ((20,103,584) 千円)	(148,478) ((3,952,484) 千円)
財務活動から生じたノ（に使用した）正味キャッシュ・フロー	1,303,030 (34,686,659 千円)	(3,598,459) ((95,790,979) 千円)	(3,525,058) ((93,837,044) 千円)	1,084,865 (28,879,106 千円)	(5,551,653) ((147,785,003) 千円)
期末現在の現金及び現金同等物	34,879,712 (928,497,933 千円)	49,735,888 (1,323,969,339 千円)	63,230,850 (1,683,205,227 千円)	47,306,745 (1,259,305,552 千円)	43,813,448 (1,166,313,986 千円)

(2) 下記は直近の3中間会計期間及び2事業年度における当行の主な経営指標等の推移を表したものである。

(別段の記載のある場合を除き、千マレーシア・リングット)

	2019年6月30日に 終了した期間	2020年6月30日に 終了した期間	2021年6月30日に 終了した期間	2019年12月31日に 終了した 事業年度	2020年12月31日に 終了した 事業年度
営業収益	13,089,819 (348,450,982 千円)	9,410,646 (250,511,397 千円)	5,226,199 (139,121,417 千円)	26,906,145 (716,241,580 千円)	24,361,776 (648,510,477 千円)
営業利益	4,117,350 (109,603,857 千円)	4,346,329 (115,699,278 千円)	3,864,377 (102,869,716 千円)	8,415,383 (224,017,495 千円)	6,929,010 (184,450,246 千円)
当期利益	3,550,902 (94,525,011 千円)	3,804,239 (101,268,842 千円)	3,286,099 (87,475,955 千円)	7,279,300 (193,774,966 千円)	5,965,127 (158,791,681 千円)

	2019年 6月30日現在	2020年 6月30日現在	2021年 6月30日現在	2019年 12月31日現在	2020年 12月31日現在
株式資本	48,280,873 (1,285,236,839 千円)	48,280,355 (1,285,223,050 千円)	51,713,981 (1,376,626,174 千円)	48,280,355 (1,285,223,050 千円)	48,280,355 (1,285,223,050 千円)
発行済株式総数	11,241,362	11,241,362	11,693,338	11,241,362	11,241,362
純資産	68,984,554 (1,836,368,827 千円)	70,598,528 (1,879,332,815 千円)	71,436,880 (1,901,649,746 千円)	70,063,377 (1,865,087,096 千円)	72,266,256 (1,923,727,735 千円)
資産合計	455,101,565 (12,114,803,660 千円)	480,872,065 (12,800,814,370 千円)	479,102,244 (12,753,701,735 千円)	464,360,346 (12,361,272,411 千円)	476,303,646 (12,679,203,057 千円)
1株当たり純資産 (単位：マレーシア・リングット)	6.14 (163円)	6.28 (167円)	6.11 (163円)	6.23 (166円)	6.43 (171円)
従業員数(名)	21,215	21,068	20,982	21,112	20,913

	2019年6月30日に 終了した期間	2020年6月30日に 終了した期間	2021年6月30日に 終了した期間	2019年12月31日に 終了した 事業年度	2020年12月31日に 終了した 事業年度
1株当たり純利益 (基本的)(単位：セン)	32.04 (853円)	33.84 (901円)	28.10 (748円)	65.20 (1,736円)	53.06 (1,412円)
1株当たり純利益(希薄化後)(単位：セン)	32.04 (853円)	33.84 (901円)	28.10 (748円)	65.20 (1,736円)	53.06 (1,412円)

1株当たり配当(単位: セン)	25.0 (666円)	39.0 (1,038円)	47.3 (1,259円)	57.0 (1,517円)	52.0 (1,384円)
株主資本利益率(%)	10.6	6.16	10.5	10.4	8.1
営業活動から生じた/(に使用した)キャッシュ・フロー	(23,216,984) ((618,036,114)千円)	3,173,217 (84,471,037千円)	18,846,766 (501,700,911千円)	(24,223,764) ((644,836,598)千円)	4,349,761 (115,790,638千円)
投資活動から生じた/(に使用した)キャッシュ・フロー	1,495,131 (39,800,387千円)	2,544,577 (67,736,640千円)	852,868 (22,703,346千円)	3,122,831 (83,129,761千円)	3,364,437 (89,561,313千円)
財務活動から生じた/(に使用した)キャッシュ・フロー	3,081,898 (82,040,125千円)	(3,046,129) ((81,087,954)千円)	(6,962,392) ((185,338,875)千円)	2,505,672 (66,700,989千円)	(1,783,893) ((47,487,232)千円)
期末/年末現在の現金及び現金同等物	22,078,320 (587,724,878千円)	24,912,768 (663,177,884千円)	41,057,606 (1,092,953,472千円)	21,934,867 (583,906,160千円)	27,902,551 (742,765,908千円)

注記:

- 2017年1月31日に発効したマレーシア2016年会社法(以下「会社法」という。)に基づき、当行の普通株式は額面価格を有さず、当行の株式払込剰余金は株式資本の一部となる。そのため、資本金には株式発行に関連する株式払込剰余金を含むものとする。

2【事業の内容】

以下の事項を除き、当該半期中において、2021年6月29日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。有価証券報告書に記載された事項から変更された箇所には下線を付す。

当行は主に、商業銀行業務及び関連する金融サービスのあらゆる側面に携わっている。当行の子会社は、主に銀行業務及び金融業務、イスラム・バンキング業務、投資銀行業務(株式仲介を含む。)、損害保険及び生命保険の引受け、ジェネラル・タカフル及びファミリー・タカフル、受託者及びノミニ・サービス並びに資産運用に従事している。

2021年6月30日現在、当行及び当行グループは、それぞれ479.1十億マレーシア・リングgit及び879.4十億マレーシア・リングgitの総資産、267.7十億マレーシア・リングgit及び605.0十億マレーシア・リングgitの顧客資金並びに246.0十億マレーシア・リングgit及び541.5十億マレーシア・リングgitの貸出金及びその他の債権総額を有していた。2021年6月30日に終了した6カ月における当行及び当行グループの税引前利益は、それぞれ3.86十億マレーシア・リングgit及び5.90十億マレーシア・リングgitであった。

当行グループの主な事業は、マレーシア、シンガポール及びインドネシアにおいて行われている。

1960年にシンガポールに進出して以来、当行グループは、メイバンク・シンガポールがシンガポール通貨監督庁(MAS)により国内のシステム上重要な銀行の1つとして指定されていることを踏まえ、その子会社であるメイバンク・シンガポール・リミテッド(MSL)を2018年にフルライセンスを持つ適格銀行(QFB)として設立した。MSLは28の業務拠点で営業し、リテール(個人向けバンキング、プリヴァレジ・ウェルス、プレミア・ウェルス)、プライベート・ウェルス、リテールMSL及びコーポレート・バンキング・サービスを提供している。当行グループもまた、メイバンクのシンガポール支店を通じて、ホールセール・バンキングから投資銀行に及ぶ幅広いソリューションを提供し、9の支店において銀行サービスを提供している。MSL及びメイバンクのシンガポール支店は、2021年6月30日現在において当行グループの貸出金及びその他の債権総額*の25.7%を占め、2021年6月30日に終了した6カ月において当行グループの税引前利益(PBT)*の17.69%を占めた。

当行グループは、その子会社であり、インドネシア証券取引所に上場しているピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケー(以下「メイバンク・インドネシア」という。)を通じて、インドネシアに拠点を置く。メイバンク・インドネシアは、2021年6月30日現在において当行グループの貸出金及

びその他の債権総額^{*}の5.4%を占め、2021年6月30日に終了した6カ月において当行グループのPBT^{*}の2.02%を占めた。

注記：^{*} 税引前利益及び貸出金総額の当行グループへの貢献は、国別に集計されており、銀行業務、投資銀行業務、保険及びタカフル業務並びに資産運用業務を含む。開示されている貸出金総額は、振戻し利息及び実効金利率の純額である。

1960年に設立した当行グループはマレーシア最大の金融サービスグループであり、ASEAN地域において確立した地位を有している。当行グループは、マレーシア、シンガポール及びインドネシアを本国市場としているASEAN諸国10カ国すべてと、中国、サウジアラビア、インド、パキスタン、アラブ首長国連邦(UAE)、英国、アメリカ合衆国及びウズベキスタン等のASEAN非加盟国を含む18カ国で営業している。当行グループはまた、ロンドン、ニューヨーク、香港及びドバイ等の国際金融センターにも拠点を有している。当行グループは、世界中に約2,626のリテール支店と51の投資銀行支店を有している。

当行グループは、事業の3つの柱であるグループ地域金融サービス、グループ・グローバル・バンキング並びにグループ保険及びタカフルによる総合的な金融サービスを提供している。当行グループはかかる3つの柱にわたってその商品及びサービスを提供する際に当行グループの現在のインフラ及びネットワークを、イスラム金融のためにも利用させるというレバレッジモデルを採用している。それと同時に、当行グループの国際的な事業運営は各事業の柱に組み込まれている。

グループ地域金融サービス(GCFS)

GCFSは、マレーシアにおける消費者、中小企業顧客及びビジネス・バンキング顧客に向けたリテール・ファイナンシャル・サービスの主要な提供者である。資産管理、住宅ローン、自動車ローン、クレジットカード、短期信用及び長期事業融資等のリテール・バンキング・サービスを提供している。GCFSは、2021年6月30日に終了した6カ月において当行グループのPBTの46.5%に寄与した。

グループ・グローバル・バンキング(GGB)

GGBは、大企業及び機関に向けてサービスを提供している。トランザクション・バンキング、投資銀行、コーポレート・バンキング、グローバル・マーケット・アンド・トレジャリー、資産運用及び証券業務等のホールセール・バンキング・サービスを提供している。GGBは、大企業及び機関から、リテール、中小企業及びビジネス・バンキング・セグメントに至るまで、様々な顧客にサービスを提供している。GGBは、2021年6月30日に終了した6カ月において当行グループのPBTの46.2%に寄与した。

グループ保険及びタカフル(エティカ)

当行グループの保険及びタカフルは、ブランド名であるエティカの名の下で個人及び法人に向けてサービスを提供している。エティカは、ASEANにおける主要な保険及びタカフル事業会社であり、長期貯蓄並びに投資商品を含むあらゆる種類の損害保険並びにイスラム保険(タカフル)ソリューションを提供している。エティカは、2021年6月30日に終了した6カ月において当行グループのPBTの10.8%に寄与した。

メイバンク・グループ・イスラム・バンキング(MGIB)

MGIBは、その資産においてASEAN最大のイスラム・バンキング・グループである。この地位を支えているのは、シャリア適格の商品及びサービスを標準的に提供するイスラム第一の手法である。MGIBは、当行グループのシステム、ITインフラ及びマレーシア内のメイバンクの352の顧客との接点となる販売ネットワークを活用して業務を行っており、インドネシア、シンガポール、香港、英国及びUAEにも拠点を有している。

メイバンク・イスラミックは、総資産額、総融資額及び総資金調達額(預金・非制限投資口座)並びにすべての主要な事業セグメントにおける総利益額においてマレーシア市場を牽引し続けている。

イスラミック・バンキング事業は、2021年6月30日に終了した6カ月においてマレーシア内のメイバンクの金融の63.1%を占めた。

3【関係会社の状況】

当該半期中に関係会社ではなくなった会社の情報は、以下の通りである。

名称	主な事業内容	設立国 / 事業拠点
エフエックスディーエス・ラーニング・グループ・プライベート・リミテッド	金融教育	シンガポール

4【従業員の状況】

(1) 提出会社の従業員数

2021年6月30日現在の当行グループの従業員数は41,949名である。

(2) 非常勤従業員の割合

非常勤従業員はいない。

(3) 従業員数の変動

2021年6月30日現在の当行グループの従業員数は、2020年12月31日現在の42,070名から減少し、41,949名である。

(4) 労働組合に関する特記事項

2021年6月30日現在、労働組合に関連した特別な事象は発生していない。すべての労働協約は誠心誠意の友好的方法で解決済みである。

第3【事業の状況】

1【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

(1) 経営方針、経営戦略及び経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標

上記「第2 - 2 事業の内容」、下記「第3 - 2 事業等のリスク」及び「第3 - 3 (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

(2) 経営環境

下記「第3 - 2 事業等のリスク」及び「第3 - 3 (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

(3) 対処すべき課題

下記「第3 - 2 事業等のリスク」を参照のこと。

2【事業等のリスク】

以下の事項を除き、当該半期中において、2021年6月29日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。有価証券報告書に記載された事項から変更された箇所には下線を付す。

非金融リスク

非金融リスクとは、オペレーション及び／又はブランド価値及びステークホルダーの当行グループに対する認識に対し金銭的損失又は悪影響をもたらす可能性のある外的要因に起因する損失のリスクを指す。それはオペレーショナル・リスク、事業継続リスク、外部委託リスク、プロダクト・リスク、テクノロジー及びサイバー・リスク、データ・リスク、コンダクト・リスク、法務リスク、法令遵守リスク並びにその他ダウンサイド・リスク、すなわち「既知の未知」等のサブ・リスク・タイプにより構成される。

非金融リスクの管理は、全体的な原則及び目的を示す確立されたリスク戦略に基づいており、非金融リスクに対する当行グループの許容レベルを反映したリスク選好が定義されている。当行グループの非財務リスクの管理を推進するためには、3つの防御ラインを前提とした健全なリスク・ガバナンス・モデル及び強固なリスク・カルチャーが不可欠である。非金融リスクの管理をさらに強化するために、リスク方法論及びツールを導入し、プロセスに統合することで、インシデントの発見時点から解決までビジネスをサポートしている。リスク方法論及びツールは、非金融リスクのエクスポージャーを適時に識別、評価及び測定、管理、監視及び報告する効果的なプロセスのために相互に補完し合い、当行グループに対する経済的損失やレピュテーション・リスクを最小限に抑える。

パンデミックにより、当行グループの人材、プロセス及びインフラの運用面での回復力を維持しつつ、すべてのステークホルダーのデジタル化の要求に応える必要性が高まっている。

COVID-19に対応して、事業運営の継続、スタッフの安全並びに当行グループの顧客及び地域社会の安全を確保するために、メイバンク・グループ・パンデミック対策フレームワークを強化した。対策には、関連する標準業務手順書の実施及び事業継続性計画の活性化が含まれる。これらの標準業務手順書には、スタッフ及び顧客の安全対策（例：ワクチン接種の要件化、コロナウィルス感染症の自己検査キット）並びに建物の安全対策（例：収容人数の制限、物理的な距離を置くための目印、定期的な消毒）を含む。また、重要なチームが複数の拠点で業務を行うことに加えて、在宅勤務制度も強化されており、業務のシームレスな継続とスタッフの安全を確保するために、適切で確実なツールとインフラが用意されている。

当行グループは、潜在的なサイバー脅威及びインフラの回復力と同様に、配信チャネル、ビジネスサービス、通信及び当行グループのデジタル・アジェンダ全体に影響を及ぼす可能性のあるデータの損失／盗難及び混乱にも引き続き焦点を当てた。これは、パンデミックの影響でデジタル取引の量と頻度が急増したため、特に重要であった。ITインフラ及びシステムの詳細な分析に加え、サイバーリスクの世界的な傾向から、ITセキュリティチームは潜在的な脅威やセキュリティ違反を特定し、オンライン取引量の増加に伴いシステムの回復力を維持することができた。サイバー・リスク・マネジメントの方針及び方法論を強化し、米国国立標準技術研究所によるサイバーセキュリティ・フレームワークやリスク管理枠組み等の国際標準に合わせて、新たな脅威を考慮に入れている。

当行グループは、関連するリスク・コントロール及び損失軽減戦略を実施していると考えている。しかし、非金融リスクを完全に排除できるという保証はない。当行グループの非金融リスクを管理できない場合、当行グループの事業、財政状態、経営成績、見通し及び／又は評判に悪影響を及ぼす可能性がある。

環境・社会・ガバナンス（以下「ESG」という。）リスク

ESGリスクとは、ESGに関する懸念事項に対処できないことによって生じるもので、当行グループの事業活動の持続可能性又は資産及び負債の価値に影響を与える可能性がある。当行グループは、この新たなリスク領域に適切に対処するために、リスク管理活動におけるESGの考慮事項の統合を継続的に強化している。

融資活動は、当社グループにとってESGリスクを生む可能性のある重要な分野である。メイバンク・グループのESG方針では、株主及び顧客のために長期的な価値を創造しながら、ESGリスクを軽減することに重点を

置くことができるよう、ESGリスクの考慮事項を融資業務に統合している。ESG方針では、林業・伐採業、石油・ガス業、パーム油業及び鉱業・採石業を含む高リスク産業に対して、ESG関連産業認証の要件と特定のリスク許容基準を設定している。

当行グループは、当行グループの事業活動及び運営全般にわたるESGリスク管理のアプローチに関するガイドラインの原則を示すESGリスク管理の枠組みの開発にも着手した。ESGリスク管理の枠組みでは、種々のESGのリスクレベル及びそれに対するリスク対応策を幅広く定めている。ESGのリスクを当行グループの活動及び運営に統合するための様々な取組みが進行中であり、いくつかは準備中である。

それとは別に、当行グループは、ESGリスク管理のための組織能力の開発に積極的に取り組んでいる。ESGの介入は、ESG産業スクラムチームによって管理され、業界関係者や顧客と協力して、顧客のビジネス慣行に持続可能性を組み込む機会を特定する。当行グループのESGリスクを管理できない場合、当行グループの事業、財政状態、経営成績、見通し及び／又は評判に悪影響を及ぼす可能性がある。

担保価値の悪化又は担保価値を実現できないことにより、当行の引当金の増加が余儀なくされる可能性がある。

当行の貸出金の一部には、不動産及び有価証券といった担保が付されており、その価値は世界的な経済の状況及び／又はその見通しの低迷により下落する可能性がある。裏付けのある根拠、仮定のもとに行われる担保価値の下方修正により、当行の貸出金の一部が、裏付となる担保の価値を超える可能性がある。将来のキャッシュ・フローの回収に影響するかかる下方修正は、借入人の一般的な信用力の悪化とあいまって、当行の貸付損失引当金を増加させ、担保権の実行による貸出金の回収を潜在的に減少させ、ひいては当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに悪影響を及ぼす可能性がある。

将来、自己資本比率が低下した場合又は新たな自己資本比率規制枠組みへの対応のため、新たな自己資本の調達を迫られる可能性がある。

2020年12月9日に発行されたマレーシア中央銀行の自己資本比率規制枠組み（資本構成）（以下「自己資本比率規制枠組み」という。）は、当行グループを含むマレーシアの銀行機関が以下の最低自己資本比率を維持することを要求している。

- (a) 普通株式等Tier1（以下「CET1」という。）自己資本比率4.5%以上
- (b) Tier1自己資本比率6.0%以上
- (c) リスクアセットの自己資本比率8.0%以上

さらに国内のシステム上重要な銀行に指定された銀行については、CET1資本が資本保全バッファ（以下「CCB」という。）、カウンターシクリカル資本バッファ（以下「CCYB」という。）及び高い損失吸収（以下「HLA」という。）要件の形で、上記に記載されている最低CET1自己資本比率、Tier1自己資本比率及び自己資本比率を上回る追加の自己資本バッファを維持することを要求されている。

2020年2月5日、マレーシア中央銀行は国内のシステム上重要な銀行の枠組みを公表した。国内のシステム上重要な銀行の枠組みは、国内のシステム上重要な銀行に適用可能なHLA要件を定めている。当行グループは、マレーシア中央銀行により、バケット2の国内のシステム上重要な銀行に分類されているため、適用されるHLA要件はリスクアセットの1%である。この要件は、2021年1月31日に施行された。

銀行がかかる比率を維持することができない場合、マレーシア中央銀行は、かかる銀行に対して罰金から銀行免許の取消しまでの罰則を科す可能性がある。「第1 - 1(1) 提出会社の属する国・州等における会社制度」の「銀行規制及び監督」を参照のこと。

2021年6月30日現在において、当行グループ及び当行の初回中間配当控除前CET1自己資本比率はそれぞれ14.643%及び14.602%、初回中間配当控除前Tier1自己資本比率はそれぞれ15.330%及び15.324%、初回中間配当控除前自己資本比率は17.861%及び17.535%であった。

当行グループの資本ベース及び自己資本比率は、その経営成績又は財政状態が貸出金の資産の質の悪化による場合を含めて何らかの理由で悪化し、又は当行グループが低リスクの資産に資金の分散を行うことができない場合、将来において減少する可能性がある。当行グループの自己資本比率が低下した場合、適用ある自己資本比率規制ガイドラインを遵守するために、追加のCET1資本、追加のTier1資本又はTier2資本を取得することが求められる可能性がある。ただし、当行グループは、予定した資金調達の時点における市場の状況及び環境によっては、有利な条件で追加の資本を調達することができず、又は資本を一切調達することができない可能性がある。

さらにマレーシア中央銀行がマレーシアの銀行に追加の資本要件を課すような形で、又はマレーシアの銀行に関連する自己資本要件に影響を与えるようなその他の方法により、自己資本比率規制枠組の修正を行わないという保証はない。バーゼルのアプローチ及び各国における導入は、適格資本及びリスクアセットの構成に応じて様々な形で当行グループに潜在的な影響を及ぼす可能性のあるマレーシア中央銀行の対応次第である。当行グループは、常に最適な資本構成を確保し、様々なステークホルダーの要求を満たすために確固たる資本基盤を常に維持しているものの、当行グループが将来においてバーゼルの基準及び自己資本枠組を遵守するために資本に対する圧力の増大に直面することがないと保証することはできず、その場合当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループは、新しい事業戦略の実施又は新たな市場への参入において困難に遭遇する可能性がある。

当行グループの事業戦略には、新商品を開発すること及び地域的に当行グループの存在感を高めることが含まれている。当行グループの事業活動の拡大により、とりわけ以下を含む多くのリスク及び課題に当行グループがさらされる可能性がある。

- (a) 新たに拡大された事業活動は、当行グループが期待したほどの成長又は潜在的利益をもたらさない可能性があり、新規事業活動は当行グループが目指すレベルの利益を生み出すという保証はなく、又は全く利益を生み出さない可能性がある。
- (b) 新規事業戦略は、当行グループのポートフォリオのリスク特性を変化させる可能性がある。
- (c) 当行グループは、適時に魅力的な新しいサービスを見出し提供することが困難になり、これにより競合者に対して不利な立場に置かれる可能性がある。
- (d) 当行グループの競合者は、新たに拡大された事業活動においてはるかに多くの経験と資力を有している可能性があり、これにより当行グループは競合者から顧客を惹きつけることができない可能性がある。
- (e) 金利又はインフレの変動等の経済状況若しくは法令の変更等の規制環境の動向が、当行グループの拡大に影響を与える可能性がある。

当行グループが事業戦略を遂行することができない場合、その事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

マレーシアに関する検討事項

2021年6月30日に終了した6カ月間において、当行グループの純営業収益の約86.6%がマレーシアにおける事業より生じたものである。マレーシアのマクロ経済の状況に重大な影響又は悪影響を及ぼす要因は、当

行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに同様の影響を及ぼす可能性がある。

COVID-19の世界的流行若しくはその他の感染症又はパンデミックの発生、又はアジア、米国、オーストラリア、ヨーロッパ、中東及び／又は世界的にみたその他の重大な公衆衛生上の懸念、及び政府がこれに対応するために採用した政策や措置は、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに悪影響を及ぼす可能性がある。

2020年に世界的なCOVID-19のパンデミックが発生し、国内移動の制限、大規模な集会の禁止、不要不急のビジネスやサービスの停止、国境の閉鎖を含む封じ込め措置が取られたことは、世界経済に大きな影響を与えた。これらの「ロックダウン」及び「社会的距離」対策は公衆衛生にとって極めて重要であったが、その結果、サプライチェーンや世界の貿易及び旅行の混乱、企業の財務ストレス、失業率の上昇等の需給ショックが生じ、それが世界の金融及び商品市場の動揺を高め、最終的には世界経済の後退を引き起こし、2020年の世界のGDPは-3.2%減少した。しかし、緩和的な金融政策、拡張的な財政政策及び経済刺激策の併用に加え、COVID-19ワクチン接種の進展により経済の再開が可能となり、封じ込め措置の緩和又は解除により、2021年には世界経済は6.0%の成長回復が予想されている。

また、マレーシアにおいても、COVID-19の世界的流行や国内の活動制限令の影響、原油価格の下落等により、2020年に経済は-5.6%縮小した。パンデミック及びそれに伴う2020年の景気後退の影響を緩和し、2021年の実質GDP成長率が3%から4%になると公式に予測されている中で、回復に向けて経済活動を活性化するための金融政策、流動性政策、財政政策及び経済刺激策には、()翌日物金利を累積125ベースポイント引下げ過去最低の1.75%とすること、()法定預金準備率を100ベースポイント引下げ2.00%とすること、()金融機関が法定預金準備率を遵守する際の柔軟性、()マレーシア中央銀行による政府証券の購入、()COVID-19の世界的流行の被害を受けた個人、企業、産業及び部門に対し、現金援助及び財政的救済、資金調達スキーム及び助成金、賃金補助、雇用及びトレーニングプログラム、並びに税制上の優遇措置と猶予を提供するするため、2020年から2021年上半期にかけて発表された総額530十億マレーシア・リンギット(マレーシアの2020年GDPの37.5%)の8つの経済刺激策及び()2021年2月以降のCOVID-19全国予防接種プログラムにより、2021年第4四半期までに、より広範な経済活動の再開と封じ込め措置の解除が可能になると期待されていることが含まれる。2021年上半期の実質GDPは7.1%回復し、2021年において回復過程は順調に進んでいる。

マレーシア中央銀行はまた、継続して経済活動を支える銀行システムの規制、監督及び資金調達状況を確認するための措置を講じた。2020年3月25日、マレーシア中央銀行は、COVID-19の大流行の影響を管理するために、個人、中小企業、及び法人を支援する銀行の取組みを支援するため、いくつかの規制及び監督措置を発表した。

- (a) 銀行は、個人及び中小企業に対し、2020年4月1日から6カ月間、ローン/ファイナンスの返済を自動的に猶予した。このオファーは、リンギット建ての融資で、2020年4月1日現在90日超延滞していないものに適用される。法人は、この猶予を選択することができる。2020年9月30日の期限到来に伴い、返済猶予期間を2021年6月30日まで延長し、柔軟な返済支援を実施した。
- (b) 国内市場において十分な流動性を確保するため、マレーシア中央銀行は以下を行った。
 - () 最低流動性カバレッジ比率(以下「LCR」という。)要件の100%を下回る水準での銀行の営業を認めた。
 - () 銀行による2.5%の資本保全バッファの引下げを認めた。
 - () 予想損失に備えて保有する規制準備金を0%に引下げた。

(c) 一方、安定調達比率は、2020年7月1日から、より低い水準である80%で実施された。安定調達比率は、銀行の長期資産に占める長期安定的な資金調達の割合を測定しようとする流動性の基準である。このため、銀行には、資産構成やオフバランスシート活動との関連で、安定的な資金調達の維持が求められる。

シンガポールでは、COVID-19の大流行によって政府から課された「ソフトロックダウン」によって約30%の経済が停止し、関連期間中は食品、医療、社会サービス、金融サービス、輸送、エネルギー及び水道、廃棄物処理、環境管理等の不可欠なサービスのみが稼働したことにより、2020年には経済が-5.4%縮小した。COVID-19の影響を緩和するために、合計100十億シンガポール・ドルの財政支援策（シンガポールのGDPの21.3%）が割当てられており、世界経済の回復に加えて、COVID-19のワクチン接種において主要国の仲間入りを果たし、最も早く集団免疫を獲得した国であることも相まって、2021年上半期には7.7%の経済回復を達成した。

インドネシアの実質GDPは2020年に-2.1%減少し、インドネシア中央銀行は国内需要を支えるため2020年に政策金利を合計125ベースポイント引下げ3.75%とし、さらに2021年2月に25ベースポイント引下げ3.50%とした。インドネシア政府はまた、COVID-19の財政対応策を2020年のGDP比3.8%から2021年にはGDP比4.5%へと拡大し、無料ワクチン接種キャンペーンのための資金提供を含む措置を行った。財政刺激策及び政府の赤字支出を一部賄うため、インドネシア銀行と政府は負担軽減協定を締結しており、中央銀行は2020年に650兆インドネシア・ルピアのインドネシア国債を購入し、その後2021年には351兆インドネシア・ルピア、2022年には224兆インドネシア・ルピア分を購入することを目標としている。インドネシア経済もまた回復基調にあり、2021年上半期の実質GDPは3.1%増となった。

COVID-19の世界的流行が一般的な銀行セクターに与える影響としては、()利下げによる純金利マージンの圧縮、()事業活動及び消費支出の縮小による貸付金の伸びの低下、() (a)顧客の信用力の低下及び(b)国の財政負担を回復し軽減するために政府が実施する前例のない金融政策を受けて、銀行に対する財政及びキャッシュフローの影響の緩和、といった潜在的な信用コストの上昇である。メイバンクは、COVID-19の世界的流行による進展を監視し続ける一方で、引続き流動性と資本力を優先し、これらの比率/水準が規制基準を上回るよう維持していく。また、当行グループは、その運用市場における低金利環境を背景とした純金利マージン圧縮の管理を行い、リスク選好に沿った成長機会の追求を図っていく。また、当行グループは、債務者と協力して、COVID-19の影響を受けた債務者の雇用支援や倒産防止に向けた実行可能な解決策を提供していく。当行グループは、COVID-19ウイルスがより大きな感染力と高い伝達力を持つ亜種に変異する中でこの大流行が長期化し、COVID-19のワクチン接種が中断又は遅延すると、経済成長及び回復の不確実性がさらに高まる可能性があり、当行グループの事業、経営成績、財政状態、展望及び/又はレピュテーションに悪影響を及ぼす可能性があることに留意している。COVID-19の世界的流行を抑制するためにとられた政策や介入の結果として、当行グループが増幅した圧力に直面しないという保証はない。さらに、COVID-19の世界的流行を抑制するために政府が実施するこのような政策及び/又は介入は、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性がある。

上記に加え、COVID-19の更なる流行や、アジア、米国、オーストラリア、ヨーロッパ、中東及び/又は世界的規模でのその他の感染症又はパンデミック（MERS、エボラ、鳥インフルエンザ、H1N1インフルエンザ、SARS、ジカウイルス等）の発生、それに伴う移動制限及び/又は隔離の実施は、当行グループが事業活動を行う諸外国の経済及び事業活動に悪影響を与え、世界的なサプライチェーンや世界貿易の混乱を招き、世界の経済成長に悪影響を与える可能性がある。感染症又はパンデミックに対して講じられる予防措置が効果的であるとの保証は一切ない。これらのリスクの管理を怠ると、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び/又はレピュテーションに悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループが事業を展開するマレーシアその他の国において、新たな世界的若しくは地域的な経済若しくは金融危機が発生し、又は経済的若しくは政治的環境が悪化した場合、当行グループの事業、財政状態及び/又は経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

競争の激化及び市場の自由化

当行グループは、他の国内銀行グループ及びマレーシアで営業している外国銀行との競争に直面している。競争の激化は、当行グループの貸付ポートフォリオの成長率の低下、資産の質の低下、純金利マージン及びスプレッドの減少、非利息費用の増加並びに当行グループの関連ビジネスの量の減少をもたらし、当行グループの事業、財務状況、業績、見通し及び/又は評判に悪影響を及ぼす可能性がある。当行グループは、市場で効果的に競争するための戦略を策定していると考えているが、その戦略を実行できるという保証はなく、また、既存及び将来の競合他社に対して効果的に競争できるという保証もない。

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績等の概要

下記「第3 - 3 (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

(2) 生産、受注及び販売の状況

該当事項なし。

(3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

下記「第6 - 1 中間財務書類」の中間財務書類への注記B - 1を参照のこと。

4【経営上の重要な契約等】

該当事項なし。

5【研究開発活動】

該当事項なし。

第4【設備の状況】

1【主要な設備の状況】

当該半期中において、2021年6月29日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

2【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

第5【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

(2021年6月30日現在)

授権株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
(注)	11,693,337,909	(注)

注記： 会社法上、未発行の授権株式という概念はない。

【発行済株式】

(2021年6月30日現在)

記名・無記名の別及び 額面・無額面の別	種類	発行数(株)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
記名式 無額面	普通株式	11,693,337,909	マレーシア 証券取引所	1株当たり 1議決権
計	-	11,693,337,909	-	-

(2)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(3)【発行済株式総数及び資本金の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	株式資本増減額 (マレーシア・ リングgit)	株式資本残高 (千マレーシア・ リングgit)	摘要
2020年12月31日	-	11,241,361,887	-	48,280,355	-
2021年1月18日	172,632,753	11,413,994,640	1,325,819	49,606,174	配当金再投資プラン (以下「DRP」 という。)
			(688)	49,605,486	DRP費用
2021年6月29日	279,343,269	11,693,337,909	2,109,041	51,714,527	DRP
			(546)	51,713,981	DRP費用
2021年6月30日	-	11,693,337,909	-	51,713,981	-

(4) 【大株主の状況】

(2021年 6 月30日現在)

名称	住所	所有 株式数 (株)	発行済株式総 数に対する 所有株式数の 割合 (%)
アマナラヤ・トラステーズ・ベルハッド(B/O: アマ ナ・サハム・プミプテラ)	マレーシア	4,077,862,424	34.87
シティグループ・ノミニーズ(テンパタン)スンディリア ン・ベルハッド(B/O: 従業員積立基金)	マレーシア	1,661,888,707	14.21
パーモダラン・ナショナル・ベルハッド	マレーシア	849,639,083	7.27
合計		6,589,390,214	56.35

2 【役員の状況】

本書提出日現在、グループ経営委員会の委員は以下の通りである。

男性委員：11名

女性委員：2名

(女性委員の割合15%)

(1) 新任取締役 / 役員

氏名、生年月日、役職	略歴
カリジャ・イスマイル (1966年 4 月21日生) グループ最高財務責任者代理及び グループ財務コントローラー	着任： ・ 2021年 6 月29日及び2014年 1 月 1 日 資格： ・ 英国勅許公認会計士協会(ACCA)フェロー ・ マレーシア会計士協会(MIA)会員 関連性のある職歴： 30年超にわたり銀行業界での経験があり、財務業務、コーポレート及び投資銀行、国際事業並びに当行グループ全体に及ぶ当行の変革プログラムの管理を含むグループ財務など当行グループ内の様々な役職を務めた。

(2) 退任取締役 / 役員

グループ最高財務責任者ダトー・アミルル・フェイサル・ワン・ザヒール氏は2021年 7 月15日付で退職した。

上記を除き、2021年 6 月29日に提出した有価証券報告書に記載された事項について、本書提出日現在まで重要な変更はなかった。

第6【経理の状況】

当行グループ及び当行の2021年6月30日に終了した6カ月間の原文（英文）の連結中間財務書類及び個別中間財務書類は、マレーシア財務報告基準（Malaysian Financial Reporting Standards、以下「MFRS」という。）及び国際財務報告基準（International Financial Reporting Standards、以下「IFRS」という。）に従って作成されたものである。当該中間財務書類の和訳は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号、以下「中間財務諸表等規則」という）第76条第1項の適用を受けている。当行が採用する会計原則、慣行、表示方法及び開示要件と日本のそれらとの相違のうち、連結及び個別中間財務書類の作成に関わるもので重要なものは、中間財務諸表等規則第77条及び第78条第2項の規定に準拠して、「第6 - 3 MFRS及びIFRSと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違」でその内容を説明している。

原文（英文）の連結中間財務書類及び個別中間財務書類は監査を受けていない。

当行がマレーシアにおいて発行した原文の半期報告書に含まれる中間財務書類は、マレーシア・リンギットで表示されている。円換算額は、中間財務諸表等規則第79条の規定に基づいて便宜のため表示されたものであり、1 マレーシア・リンギット = 26.62円で換算されている。千円単位未満の端数は四捨五入されている。上記の為替相場は、2021年9月1日現在の株式会社三菱UFJ銀行の公表する現地参考為替相場の仲値に基づいて算定したものである。円換算額は、四捨五入のため合計欄の数値が総数と一致しない場合がある。

1【中間会計期間財務書類】

要約財務書類
未監査損益計算書
2021年6月30日に終了した中間会計期間

当行グループ	注記	第2四半期		6カ月間累計期間	
		2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
受取利息	A21	4,313,944	4,926,240	8,648,090	10,488,483
支払利息	A22	(1,294,016)	(2,228,382)	(2,720,895)	(4,879,464)
受取利息純額		3,019,928	2,697,858	5,927,195	5,609,019
イスラム金融業務からの収益	A41a	1,959,307	1,251,627	3,843,496	2,872,397
正味既経過保険料	A23	2,166,541	1,740,883	4,695,771	3,685,821
その他の営業収益	A25	1,150,109	2,427,426	2,165,252	3,760,531
営業収益合計		8,295,885	8,117,794	16,631,714	15,927,768
保険給付金及び支払保険金純額、手数料 費用純額、保険関連負債の変動、並び に生命保険及びタカフルファンドに係 る税金	A26	(2,122,136)	(2,469,248)	(3,632,862)	(3,555,052)
純営業収益		6,173,749	5,648,546	12,998,852	12,372,716
一般管理費	A27	(2,920,778)	(2,706,339)	(5,742,444)	(5,648,346)
減損損失前営業利益		3,252,971	2,942,207	7,256,408	6,724,370
貸出金及びその他の債権に対する減損損 失引当金繰入、純額	A28	(524,783)	(1,739,267)	(1,375,022)	(2,700,934)
金融投資に係る減損損失引当金繰入、純 額	A29	(43,993)	(9,151)	(126,265)	(43,917)
その他の金融資産に対する減損損失引当 金戻入/(繰入)、純額	A30	1,582	7,687	65,567	(20,156)
営業利益		2,685,777	1,201,476	5,820,688	3,959,363
関連会社及びジョイント・ベンチャーの 利益持分		40,275	54,271	76,867	94,138
税金及びザカート前利益		2,726,052	1,255,747	5,897,555	4,053,501
税金及びザカート	B5	(693,010)	(229,111)	(1,436,630)	(984,973)
当期利益		2,033,042	1,026,636	4,460,925	3,068,528
当期利益の帰属:					
当行株主		1,962,526	941,732	4,354,656	2,991,382
非支配持分		70,516	84,904	106,269	77,146
		2,033,042	1,026,636	4,460,925	3,068,528
一株当たり利益当行株主帰属分					
基本的/希薄化後	B12	17.05セソ	8.38セソ	38.00セソ	26.61セソ

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

**要約財務書類
未監査損益計算書**
2021年6月30日に終了した中間会計期間

当行グループ	注記	第2四半期		6カ月間累計期間	
		2021年 6月30日終了 千円	2020年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円	2020年 6月30日終了 千円
受取利息	A21	114,837,189	131,136,509	230,212,156	279,203,417
支払利息	A22	(34,446,706)	(59,319,529)	(72,430,225)	(129,891,332)
受取利息純額		80,390,483	71,816,980	157,781,931	149,312,086
イスラム金融業務からの収益	A41a	52,156,752	33,318,311	102,313,864	76,463,208
正味既経過保険料	A23	57,673,321	46,342,305	125,001,424	98,116,555
その他の営業収益	A25	30,615,902	64,618,080	57,639,008	100,105,335
営業収益合計		220,836,459	216,095,676	442,736,227	423,997,184
保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動、並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金	A26	(56,491,260)	(65,731,382)	(96,706,786)	(94,635,484)
純営業収益		164,345,198	150,364,295	346,029,440	329,361,700
一般管理費	A27	(77,751,110)	(72,042,744)	(152,863,859)	(150,358,971)
減損損失前営業利益		86,594,088	78,321,550	193,165,581	179,002,729
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入、純額	A28	(13,969,723)	(46,299,288)	(36,603,086)	(71,898,863)
金融投資に係る減損損失引当金繰入、純額	A29	(1,171,094)	(243,600)	(3,361,174)	(1,169,071)
その他の金融資産に対する減損損失引当金戻入/(繰入)、純額	A30	42,113	204,628	1,745,394	(536,553)
営業利益		71,495,384	31,983,291	154,946,715	105,398,243
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分		1,072,121	1,444,694	2,046,200	2,505,954
税金及びザカート前利益		72,567,504	33,427,985	156,992,914	107,904,197
税金及びザカート	B5	(18,447,926)	(6,098,935)	(38,243,091)	(26,219,981)
当期利益		54,119,578	27,329,050	118,749,824	81,684,215
当期利益の帰属:					
当行株主		52,242,442	25,068,906	115,920,943	79,630,589
非支配持分		1,877,136	2,260,144	2,828,881	2,053,627
		54,119,578	27,329,050	118,749,824	81,684,215
一株当たり利益当行株主帰属分					
基本的/希薄化後	B12	4.54円	2.23円	10.12円	7.08円

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2021年6月30日に終了した中間会計期間

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
当期利益	2,033,042	1,026,636	4,460,925	3,068,528
その他の包括利益/(損失):				
後に純損益に再分類されない項目:				
確定給付制度の年金数理利得/(損失)	2,684	(6,063)	1,747	(6,228)
税効果	(1,277)	(755)	(1,277)	(755)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資 本性金融商品の公正価値の変動に係る正味利得/ (損失)	9,409	(17,697)	6,546	43,265
	10,816	(24,515)	7,016	36,282
後に純損益に再分類される可能性がある項目:				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負 債性金融商品に係る正味利得/(損失)	702,132	1,463,159	(3,002,839)	1,132,513
- 公正価値の変動からの正味利得/(損失)	849,113	1,566,414	(3,274,237)	1,038,424
- 予想信用損失の変動	36,757	266,219	(435,373)	307,666
- 税効果	(183,738)	(369,474)	706,771	(213,577)
外国為替換算に係る正味(損失)/利得	(10,067)	1,730,888	421,495	667,239
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る正味利得	-	55	-	1
純投資ヘッジに係る正味利得/(損失)	57	948	(5,085)	(7,154)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	(5,124)	5,173	(14,884)	20,634
資本準備金に係る正味利得/(損失)	74	(742)	379	(962)
関連会社準備金の変動に係る持分	7,986	10,615	23,153	33,975
	695,058	3,210,096	(2,577,781)	1,846,246
税引後当期のその他の包括利益/(損失)	705,874	3,185,581	(2,570,765)	1,882,528
当期の包括利益合計	2,738,916	4,212,217	1,890,160	4,951,056
当期のその他の包括利益/(損失)の帰属:				
当行株主	687,096	3,142,299	(2,527,957)	1,877,183
非支配持分	18,778	43,282	(42,808)	5,345
	705,874	3,185,581	(2,570,765)	1,882,528
当期の包括利益合計の帰属:				
当行株主	2,649,622	4,084,031	1,826,699	4,868,565
非支配持分	89,294	128,186	63,461	82,491
	2,738,916	4,212,217	1,890,160	4,951,056

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2021年6月30日に終了した中間会計期間

当行グループ	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千円	2020年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円	2020年 6月30日終了 千円
当期利益	54,119,578	27,329,050	118,749,824	81,684,215
その他の包括利益/(損失):				
後に純損益に再分類されない項目:				
確定給付制度の年金数理利得/(損失)	71,448	(161,397)	46,505	(165,789)
税効果	(33,994)	(20,098)	(33,994)	(20,098)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 資本性金融商品の公正価値の変動に係る正味利 得/(損失)	250,468	(471,094)	174,255	1,151,714
	287,922	(652,589)	186,766	965,827
後に純損益に再分類される可能性がある項目:				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 負債性金融商品に係る正味利得/(損失)	18,690,754	38,949,293	(79,935,574)	30,147,496
- 公正価値の変動からの正味利得/(損失)	22,603,388	41,697,941	(87,160,189)	27,642,847
- 予想信用損失の変動	978,471	7,086,750	(11,589,629)	8,190,069
- 税効果	(4,891,106)	(9,835,398)	18,814,244	(5,685,420)
外国為替換算に係る正味(損失)/利得	(267,984)	46,076,239	11,220,197	17,761,902
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る正味利得	-	1,464	-	27
純投資ヘッジに係る正味利得/(損失)	1,517	25,236	(135,363)	(190,439)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	(136,401)	137,705	(396,212)	549,277
資本準備金に係る正味利得/(損失)	1,970	(19,752)	10,089	(25,608)
関連会社準備金の変動に係る持分	212,587	282,571	616,333	904,415
	18,502,444	85,452,756	(68,620,530)	49,147,069
税引後当期のその他の包括利益/(損失)	18,790,366	84,800,166	(68,433,764)	50,112,895
当期の包括利益合計	72,909,944	112,129,217	50,316,059	131,797,111
当期のその他の包括利益/(損失)の帰属:				
当行株主	18,290,496	83,647,999	(67,294,215)	49,970,611
非支配持分	499,870	1,152,167	(1,139,549)	142,284
	18,790,366	84,800,166	(68,433,764)	50,112,895
当期の包括利益合計の帰属:				
当行株主	70,532,938	108,716,905	48,626,727	129,601,200
非支配持分	2,377,006	3,412,311	1,689,332	2,195,910
	72,909,944	112,129,217	50,316,059	131,797,111

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査損益計算書
2021年6月30日に終了した中間会計期間

		第2四半期		6カ月間累計期間	
		2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行	注記				
受取利息	A21	2,930,019	3,290,288	5,828,664	7,057,829
支払利息	A22	(827,522)	(1,449,806)	(1,697,973)	(3,268,403)
受取利息純額		2,102,497	1,840,482	4,130,691	3,789,426
子会社からの配当金	A24	1,569,620	1,604,017	1,599,454	2,079,308
その他の営業収益	A25	457,799	775,798	1,692,089	2,531,615
		2,027,419	2,379,815	3,291,543	4,610,923
純営業収益		4,129,916	4,220,297	7,422,234	8,400,349
一般管理費	A27	(1,312,937)	(1,152,962)	(2,510,005)	(2,284,361)
減損損失前営業利益		2,816,979	3,067,335	4,912,229	6,115,988
貸出金及びその他の債権に対する減損 損失引当金繰入、純額	A28	(103,462)	(955,172)	(1,174,346)	(1,734,824)
金融投資に対する減損損失引当金（繰 入）/戻入、純額	A29	(42,020)	1,792	79,301	(23,991)
その他の金融資産に対する減損損失引 当金戻入/(繰入)、純額	A30	201	(981)	47,193	(10,844)
税金及びザカート前利益		2,671,698	2,112,974	3,864,377	4,346,329
税金及びザカート	B5	(287,408)	(88,849)	(578,278)	(542,090)
当期利益		2,384,290	2,024,125	3,286,099	3,804,239

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査損益計算書
2021年 6 月30日に終了した中間会計期間

当行	注記	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
		2021年 6 月30日終了 千円	2020年 6 月30日終了 千円	2021年 6 月30日終了 千円	2020年 6 月30日終了 千円
受取利息	A21	77,997,106	87,587,467	155,159,036	187,879,408
支払利息	A22	(22,028,636)	(38,593,836)	(45,200,041)	(87,004,888)
受取利息純額		55,968,470	48,993,631	109,958,994	100,874,520
子会社からの配当金	A24	41,783,284	42,698,933	42,577,465	55,351,179
その他の営業収益	A25	12,186,609	20,651,743	45,043,409	67,391,591
		53,969,894	63,350,675	87,620,875	122,742,770
純営業収益		109,938,364	112,344,306	197,579,869	223,617,290
一般管理費	A27	(34,950,383)	(30,691,848)	(66,816,333)	(60,809,690)
減損損失前営業利益		74,987,981	81,652,458	130,763,536	162,807,601
貸出金及びその他の債権に対する減損 損失引当金繰入、純額	A28	(2,754,158)	(25,426,679)	(31,261,091)	(46,181,015)
金融投資に対する減損損失引当金（繰 入）/戻入、純額	A29	(1,118,572)	47,703	2,110,993	(638,640)
その他の金融資産に対する減損損失引 当金戻入/(繰入)、純額	A30	5,351	(26,114)	1,256,278	(288,667)
税金及びザカート前利益		71,120,601	56,247,368	102,869,716	115,699,278
税金及びザカート	B5	(7,650,801)	(2,365,160)	(15,393,760)	(14,430,436)
当期利益		63,469,800	53,882,208	87,475,955	101,268,842

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2021年6月30日に終了した中間会計期間

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
当期利益	<u>2,384,290</u>	<u>2,024,125</u>	<u>3,286,099</u>	<u>3,804,239</u>
その他の包括利益/(損失) :				
後に純損益に再分類されない項目 :				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資 本性金融商品の公正価値の変動に係る正味利得/ (損失)	<u>1,499</u>	<u>(21,816)</u>	<u>1,190</u>	<u>46,770</u>
後に純損益に再分類される可能性がある項目 :				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負 債性金融商品に係る正味利得/(損失)	<u>496,418</u>	<u>1,118,875</u>	<u>(2,232,713)</u>	<u>825,454</u>
- 公正価値の変動からの正味利得/(損失)	<u>605,337</u>	<u>1,114,000</u>	<u>(2,363,707)</u>	<u>678,093</u>
- 予想信用損失の変動	<u>36,158</u>	<u>266,988</u>	<u>(436,339)</u>	<u>303,900</u>
- 税効果	<u>(145,077)</u>	<u>(262,113)</u>	<u>567,333</u>	<u>(156,539)</u>
外国為替換算に係る正味利得	<u>4,741</u>	<u>43,820</u>	<u>183,918</u>	<u>194,434</u>
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	<u>(5,124)</u>	<u>5,173</u>	<u>(14,884)</u>	<u>20,634</u>
	<u>496,035</u>	<u>1,167,868</u>	<u>(2,063,679)</u>	<u>1,040,522</u>
税引後当期のその他の包括利益/(損失)	<u>497,534</u>	<u>1,146,052</u>	<u>(2,062,489)</u>	<u>1,087,292</u>
当期の包括利益合計	<u><u>2,881,824</u></u>	<u><u>3,170,177</u></u>	<u><u>1,223,610</u></u>	<u><u>4,891,531</u></u>

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2021年 6 月30日に終了した中間会計期間

	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2021年 6 月30日終了 千円	2020年 6 月30日終了 千円	2021年 6 月30日終了 千円	2020年 6 月30日終了 千円
当行				
当期利益	63,469,800	53,882,208	87,475,955	101,268,842
その他の包括利益/(損失) :				
後に純損益に再分類されない項目 :				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 資本性金融商品の公正価値の変動に係る正味利 得/(損失)	39,903	(580,742)	31,678	1,245,017
後に純損益に再分類される可能性がある項目 :				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 負債性金融商品に係る正味利得/(損失)	13,214,647	29,784,453	(59,434,820)	21,973,585
- 公正価値の変動からの正味利得/(損失)	16,114,071	29,654,680	(62,921,880)	18,050,836
- 予想信用損失の変動	962,526	7,107,221	(11,615,344)	8,089,818
- 税効果	(3,861,950)	(6,977,448)	15,102,404	(4,167,068)
外国為替換算に係る正味利得	126,205	1,166,488	4,895,897	5,175,833
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	(136,401)	137,705	(396,212)	549,277
	13,204,452	31,088,646	(54,935,135)	27,698,696
税引後当期のその他の包括利益/(損失)	13,244,355	30,507,904	(54,903,457)	28,943,713
当期の包括利益合計	76,714,155	84,390,112	32,572,498	130,212,555

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査財政状態計算書 2021年 6 月30日現在

		当行グループ		当行	
		2021年	2020年	2021年	2020年
		6月30日現在	12月31日現在	6月30日現在	12月31日現在
		千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
注記		リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
資産					
現金及び短期資金		56,932,668	43,884,714	32,211,217	24,106,030
金融機関預け金		13,281,376	10,128,931	19,452,859	15,268,348
売戻条件付買入金融資産		15,399,242	17,543,987	14,690,758	14,849,421
当初認識時に純損益を通じて公正価値					
で測定するものとして指定された金融					
資産	A10()	13,670,483	14,028,031	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する金					
融投資	A10()	25,509,466	27,179,846	14,126,721	18,189,480
その他の包括利益を通じて公正価値で					
測定する金融投資	A10()	119,002,209	127,502,681	68,279,991	75,533,793
償却原価で測定する金融投資	A10()	50,771,764	46,475,916	38,382,413	39,856,983
金融機関向貸出金及びその他の債権	A11()	1,025,645	899,986	32,094,849	30,042,986
顧客向貸出金及びその他の債権	A11()	527,353,085	511,310,107	205,673,270	199,881,476
デリバティブ資産	A37	16,163,568	19,907,957	15,918,969	19,713,802
再保険資産/再タカフル資産及びその他					
の保険債権	A12	7,431,255	5,778,581	-	-
その他の資産	A13	10,675,764	10,236,874	2,393,551	4,116,602
投資不動産		941,865	941,545	-	-
中央銀行への法定預け金		7,433,136	7,468,213	1,837,465	1,647,066
子会社への投資		-	-	31,610,103	30,903,363
関連会社及びジョイント・ベンチャー					
に対する持分		2,681,256	2,680,402	440,730	440,730
有形固定資産		2,165,691	2,206,849	908,748	941,767
使用権資産		1,144,395	1,245,454	431,385	424,139
無形資産		6,643,932	6,648,504	391,334	387,660
繰延税金資産		1,126,397	790,936	257,881	-
資産合計		879,353,197	856,859,514	479,102,244	476,303,646
負債					
顧客の資金：					
- 顧客預金	A14	579,486,671	556,349,372	267,712,335	250,025,335
- 顧客の投資口座 ¹	A41g	25,475,794	23,840,796	-	-
金融機関預り金	A15	39,978,300	37,878,866	37,117,046	34,720,115
買戻条件付売渡金融資産に関する債務		6,365,164	11,131,215	29,240,495	36,922,305
デリバティブ負債	A37	14,870,580	19,151,751	14,578,493	18,724,393
純損益を通じて公正価値で測定する金					
融負債	A16	9,501,948	10,161,921	9,501,948	10,161,921
支払手形及び銀行引受手形		1,217,935	997,663	443,734	458,617
保険契約負債/タカフル契約負債及びそ					
の他の保険債務	A18	40,236,476	37,694,765	-	-
その他の負債	A19	24,588,170	21,027,915	8,053,918	7,810,067
税金及びザカート引当金		791,982	151,919	364,266	66,120
繰延税金負債		574,300	1,470,856	-	377,830
借入金	A17()	37,514,175	38,097,224	28,948,916	33,134,255
劣後債務	A17()	9,035,589	8,967,831	8,876,086	8,808,639
資本性証券	A17()	2,828,127	2,827,793	2,828,127	2,827,793
負債合計		792,465,211	769,749,887	407,665,364	404,037,390

¹ 顧客の投資口座は、注記A41e()に開示されているその他の債権の資金調達に利用されている。

要約財務書類
未監査財政状態計算書 2021年 6 月30日現在

		当行グループ		当行	
		2021年	2020年	2021年	2020年
		6月30日現在	12月31日現在	6月30日現在	12月31日現在
注記		千円	千円	千円	千円
資産					
現金及び短期資金		1,515,547,622	1,168,211,087	857,462,597	641,702,519
金融機関預け金		353,550,229	269,632,143	517,835,107	406,443,424
売戻条件付買入金融資産		409,927,822	467,020,934	391,067,978	395,291,587
当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された					
金融資産	A10()	363,908,257	373,426,185	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する					
金融投資	A10()	679,061,985	723,527,501	376,053,313	484,203,958
その他の包括利益を通じて公正価値					
で測定する金融投資	A10()	3,167,838,804	3,394,121,368	1,817,613,360	2,010,709,570
償却原価で測定する金融投資	A10()	1,351,544,358	1,237,188,884	1,021,739,834	1,060,992,887
金融機関向貸出金及びその他の債権	A11()	27,302,670	23,957,627	854,364,880	799,744,287
顧客向貸出金及びその他の債権	A11()	14,038,139,123	13,611,075,048	5,475,022,447	5,320,844,891
デリバティブ資産	A37	430,274,180	529,949,815	423,762,955	524,781,409
再保険資産/再タカフル資産及びその					
他の保険債権	A12	197,820,008	153,825,826	-	-
その他の資産	A13	284,188,838	272,505,586	63,716,328	109,583,945
投資不動産		25,072,446	25,063,928	-	-
中央銀行への法定預け金		197,870,080	198,803,830	48,913,318	43,844,897
子会社への投資		-	-	841,460,942	822,647,523
関連会社及びジョイント・ベン					
チャーに対する持分		71,375,035	71,352,301	11,732,233	11,732,233
有形固定資産		57,650,694	58,746,320	24,190,872	25,069,838
使用権資産		30,463,795	33,153,985	11,483,469	11,290,580
無形資産		176,861,470	176,983,176	10,417,311	10,319,509
繰延税金資産		29,984,688	21,054,716	6,864,792	-
資産合計		23,408,382,104	22,809,600,263	12,753,701,735	12,679,203,057
負債					
顧客の資金：					
- 顧客預金	A14	15,425,935,182	14,810,020,283	7,126,502,358	6,655,674,418
- 顧客の投資口座 ¹	A41g	678,165,636	634,641,990	-	-
金融機関預り金	A15	1,064,222,346	1,008,335,413	988,055,765	924,249,461
買戻条件付売渡金融資産に関する債					
務		169,440,666	296,312,943	778,381,977	982,871,759
デリバティブ負債	A37	395,854,840	509,819,612	388,079,484	498,443,342
純損益を通じて公正価値で測定する					
金融負債	A16	252,941,856	270,510,337	252,941,856	270,510,337
支払手形及び銀行引受手形		32,421,430	26,557,789	11,812,199	12,208,385
保険契約負債/タカフル契約負債及び					
その他の保険債務	A18	1,071,094,991	1,003,434,644	-	-
その他の負債	A19	654,537,085	559,763,097	214,395,297	207,903,984
税金及びザカート引当金		21,082,561	4,044,084	9,696,761	1,760,114
繰延税金負債		15,287,866	39,154,187	-	10,057,835
借入金	A17()	998,627,339	1,014,148,103	770,620,144	882,033,868
劣後債務	A17()	240,527,379	238,723,661	236,281,409	234,485,970
資本性証券	A17()	75,284,741	75,275,850	75,284,741	75,275,850
負債合計		21,095,423,917	20,490,741,992	10,852,051,990	10,755,475,322

¹ 顧客の投資口座は、注記A41e()に開示されているその他の債権の資金調達に利用されている。

要約財務書類
未監査財政状態計算書2021年 6 月30日現在

		当行グループ		当行	
		2021年 6 月30日現在 千マレーシア・ リングット	2020年 12月31日現在 千マレーシア・ リングット	2021年 6 月30日現在 千マレーシア・ リングット	2020年 12月31日現在 千マレーシア・ リングット
注記					
当行株主に帰属する資本					
株式資本		51,713,981	48,280,355	51,713,981	48,280,355
利益剰余金		28,316,289	29,494,627	14,563,741	16,809,095
準備金		4,180,090	6,661,665	5,159,158	7,176,806
		84,210,360	84,436,647	71,436,880	72,266,256
非支配持分		2,677,626	2,672,980	-	-
		86,887,986	87,109,627	71,436,880	72,266,256
負債及び株主資本合計		879,353,197	856,859,514	479,102,244	476,303,646
コミットメント及び偶発事象	A35	1,278,074,016	1,305,384,589	1,186,763,552	1,225,860,019
自己資本充実度	A36				
当行グループ及び当行の自己資本比率 は以下の通りである。					
普通株式等Tier 1自己資本比率		14.643%	15.313%	14.602%	15.581%
Tier 1自己資本比率		15.330%	16.026%	15.324%	16.343%
総自己資本比率		17.861%	18.683%	17.535%	18.639%
		マレーシア・ リングット	マレーシア・ リングット	マレーシア・ リングット	マレーシア・ リングット
当行株主に帰属する一株当たり純資産		7.20	7.51	6.11	6.43

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査財政状態計算書2021年 6 月30日現在

注記	当行グループ		当行	
	2021年 6 月30日現在 千円	2020年 12月31日現在 千円	2021年 6 月30日現在 千円	2020年 12月31日現在 千円
当行株主に帰属する資本				
株式資本	1,376,626,174	1,285,223,050	1,376,626,174	1,285,223,050
利益剰余金	753,779,613	785,146,971	387,686,785	447,458,109
準備金	111,273,996	177,333,522	137,336,786	191,046,576
	<u>2,241,679,783</u>	<u>2,247,703,543</u>	<u>1,901,649,746</u>	<u>1,923,727,735</u>
非支配持分	71,278,404	71,154,728	-	-
	<u>2,312,958,187</u>	<u>2,318,858,271</u>	<u>1,901,649,746</u>	<u>1,923,727,735</u>
負債及び株主資本合計	<u>23,408,382,104</u>	<u>22,809,600,263</u>	<u>12,753,701,735</u>	<u>12,679,203,057</u>
コミットメント及び偶発事象	A35 <u>34,022,330,306</u>	<u>34,749,337,759</u>	<u>31,591,645,754</u>	<u>32,632,393,706</u>
自己資本充実度	A36			
当行グループ及び当行の自己資本比率 は以下の通りである。				
普通株式等Tier 1自己資本比率	14.643%	15.313%	14.602%	15.581%
Tier 1自己資本比率	15.330%	16.026%	15.324%	16.343%
総自己資本比率	<u>17.861%</u>	<u>18.683%</u>	<u>17.535%</u>	<u>18.639%</u>
	円	円	円	円
当行株主に帰属する一株当たり純資産	<u>191.66</u>	<u>199.92</u>	<u>162.65</u>	<u>171.17</u>

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

[次へ](#)

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2021年 6 月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >											
< ===== 分配不能部分 ===== >											
	株主資本 千マレーシア・ リンギット	法定準備金 千マレーシア・ リンギット	規制準備金 千マレーシア・ リンギット	FVTOCI 評価差額準備金 千マレーシア・ リンギット	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リンギット	ESGP準備金 千マレーシア・ リンギット	その他の準備金 ¹ 千マレーシア・ リンギット	利益剰余金 ² 千マレーシア・ リンギット	株主資本合計 千マレーシア・ リンギット	非支配持分 千マレーシア・ リンギット	資本合計 千マレーシア・ リンギット
当行グループ											
2021年 1 月 1 日現在	48,280,355	317,823	2,115,455	4,572,569	(127,567)	96,186	(312,801)	29,494,627	84,436,647	2,672,980	87,109,627
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	4,354,656	4,354,656	106,269	4,460,925
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	(2,983,074)	474,235	-	(19,118)	-	(2,527,957)	(42,808)	(2,570,765)
確定給付制度の年金数理利得	-	-	-	-	-	-	489	-	489	(19)	470
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	(25,956)	49,109	-	-	-	23,153	-	23,153
外国為替換算に係る正味利得/(損失)	-	-	-	-	425,126	-	-	-	425,126	(3,631)	421,495
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資に係る正味損失	-	-	-	(2,957,118)	-	-	-	-	(2,957,118)	(39,175)	(2,996,293)
純投資ヘッジに係る正味損失	-	-	-	-	-	-	(5,085)	-	(5,085)	-	(5,085)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	(14,884)	-	(14,884)	-	(14,884)
資本準備金に係る正味利得	-	-	-	-	-	-	362	-	362	17	379
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	(2,983,074)	474,235	-	(19,118)	4,354,656	1,826,699	63,461	1,890,160
次頁への繰越額	48,280,355	317,823	2,115,455	1,589,495	346,668	96,186	(331,919)	33,849,283	86,263,346	2,736,441	88,999,787

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2021年6月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >
< ===== 分配不能部分 ===== >

当行グループ	株式資本 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI 評価差額準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	その他の準備金 ¹ 千円	利益剰余金 ² 千円	株主資本合計 千円	非支配持分 千円	資本合計 千円
2021年1月1日現在	1,285,223,050	8,460,448	56,313,412	121,721,787	(3,395,834)	2,560,471	(8,326,763)	785,146,971	2,247,703,543	71,154,728	2,318,858,271
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	115,920,943	115,920,943	2,828,881	118,749,824
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	(79,409,430)	12,624,136	-	(508,921)	-	(67,294,215)	(1,139,549)	(68,433,764)
確定給付制度の年金数理利得	-	-	-	-	-	-	13,017	-	13,017	(506)	12,511
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	(690,949)	1,307,282	-	-	-	616,333	-	616,333
外国為替換算に係る正味利得/(損失)	-	-	-	-	11,316,854	-	-	-	11,316,854	(96,657)	11,220,197
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資に係る正味損失	-	-	-	(78,718,481)	-	-	-	-	(78,718,481)	(1,042,839)	(79,761,320)
純投資ヘッジに係る正味損失	-	-	-	-	-	-	(135,363)	-	(135,363)	-	(135,363)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	(396,212)	-	(396,212)	-	(396,212)
資本準備金に係る正味利得	-	-	-	-	-	-	9,636	-	9,636	453	10,089
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	(79,409,430)	12,624,136	-	(508,921)	115,920,943	48,626,727	1,689,332	50,316,059
次頁への繰越額	1,285,223,050	8,460,448	56,313,412	42,312,357	9,228,302	2,560,471	(8,835,684)	901,067,913	2,296,330,271	72,844,059	2,369,174,330

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2021年 6 月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >											
< ===== 分配不能部分 ===== >											
	株主資本 千マレーシア・ リングット	法定準備金 千マレーシア・ リングット	規制準備金 千マレーシア・ リングット	FVTOCI 評価差額準備金 千マレーシア・ リングット	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リングット	ESGP準備金 千マレーシア・ リングット	その他の準備金 ¹ 千マレーシア・ リングット	利益剰余金 ² 千マレーシア・ リングット	株主資本合計 千マレーシア・ リングット	非支配持分 千マレーシア・ リングット	資本合計 千マレーシア・ リングット
当行グループ（続き）											
前頁からの繰越額	48,280,355	317,823	2,115,455	1,589,495	346,668	96,186	(331,919)	33,849,283	86,263,346	2,736,441	88,999,787
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(825)	-	-	-	825	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 （「ESGP」）に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	41,031	-	-	41,031	-	41,031
当行グループ内の会社組織の変更による 影響	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25,931	25,931
法定準備金への振替	-	11,538	-	-	-	-	-	(11,538)	-	-	-
規制準備金からの振替	-	-	(5,362)	-	-	-	-	5,362	-	-	-
配当金再投資制度(DRP)に基づく株式の発行 (注記A8(i)(a))	3,433,626	-	-	-	-	-	-	-	3,433,626	-	3,433,626
支払配当金（注記A9(a)及び(b)）	-	-	-	-	-	-	-	(5,527,643)	(5,527,643)	(84,746)	(5,612,389)
株主との取引/その他の持分変動合計	3,433,626	11,538	(5,362)	(825)	-	41,031	-	(5,532,994)	(2,052,986)	(58,815)	(2,111,801)
2021年 6 月30日現在	51,713,981	329,361	2,110,093	1,588,670	346,668	137,217	(331,919)	28,316,289	84,210,360	2,677,626	86,887,986

- 1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A20に開示されている。
- 2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な剰余金695.6百万マレーシア・リングット（税引後）が含まれる。この分配不能な剰余金は、金融サービス法（2013年）に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

（これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。）

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2021年6月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >
< ===== 分配不能部分 ===== >

当行グループ(続き)	株式資本 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI 評価差額準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	その他の準備金 ¹ 千円	利益剰余金 ² 千円	株主資本合計 千円	非支配持分 千円	資本合計 千円
前頁からの繰越額	1,285,223,050	8,460,448	56,313,412	42,312,357	9,228,302	2,560,471	(8,835,684)	901,067,913	2,296,330,271	72,844,059	2,369,174,330
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(21,962)	-	-	-	21,962	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 (「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	1,092,245	-	-	1,092,245	-	1,092,245
当行グループ内の会社組織の変更による 影響	-	-	-	-	-	-	-	-	-	690,283	690,283
法定準備金への振替	-	307,142	-	-	-	-	-	(307,142)	-	-	-
規制準備金からの振替	-	-	(142,736)	-	-	-	-	142,736	-	-	-
配当金再投資制度(DRP)に基づく株式の発行 (注記A8(i)(a))	91,403,124	-	-	-	-	-	-	-	91,403,124	-	91,403,124
支払配当金(注記A9(a)及び(b))	-	-	-	-	-	-	-	(147,145,857)	(147,145,857)	(2,255,939)	(149,401,795)
株主との取引/その他の持分変動合計	91,403,124	307,142	(142,736)	(21,962)	-	1,092,245	-	(147,288,300)	(54,650,487)	(1,565,655)	(56,216,143)
2021年6月30日現在	1,376,626,174	8,767,590	56,170,676	42,290,395	9,228,302	3,652,717	(8,835,684)	753,779,613	2,241,679,783	71,278,404	2,312,958,187

- 1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A20に開示されている。
- 2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な剰余金18,517百万円(税引後)が含まれる。この分配不能な剰余金は、金融サービス法(2013年)に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2021年 6 月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >											
< ===== 分配不能部分 ===== >											
	株式資本 千マレーシア・ リンギット	法定準備金 千マレーシア・ リンギット	規制準備金 千マレーシア・ リンギット	FVTOCI 評価差額準備金 千マレーシア・ リンギット	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リンギット	ESGP準備金 千マレーシア・ リンギット	その他の準備金 ¹ 千マレーシア・ リンギット	利益剰余金 ² 千マレーシア・ リンギット	株主資本合計 千マレーシア・ リンギット	非支配持分 千マレーシア・ リンギット	資本合計 千マレーシア・ リンギット
当行グループ											
2020年 1 月 1 日現在	48,280,355	279,355	2,771,806	2,973,151	399,826	37,195	(333,649)	27,162,899	81,570,938	2,498,286	84,069,224
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	2,991,382	2,991,382	77,146	3,068,528
その他の包括利益	-	-	-	1,247,128	624,511	-	5,544	-	1,877,183	5,345	1,882,528
確定給付制度の年金数理(損失)/利得	-	-	-	-	-	-	(7,016)	-	(7,016)	33	(6,983)
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	73,775	(39,800)	-	-	-	33,975	-	33,975
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	664,311	-	-	-	664,311	2,928	667,239
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資に係る正味利得	-	-	-	1,173,353	-	-	-	-	1,173,353	2,425	1,175,778
純投資ヘッジに係る正味損失	-	-	-	-	-	-	(7,154)	-	(7,154)	-	(7,154)
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る 正味利得	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	20,634	-	20,634	-	20,634
資本準備金に係る正味損失	-	-	-	-	-	-	(921)	-	(921)	(41)	(962)
当期包括利益合計	-	-	-	1,247,128	624,511	-	5,544	2,991,382	4,868,565	82,491	4,951,056
次頁への繰越額	48,280,355	279,355	2,771,806	4,220,279	1,024,337	37,195	(328,105)	30,154,281	86,439,503	2,580,777	89,020,280

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2021年6月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >
< ===== 分配不能部分 ===== >

当行グループ	株式資本 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI 評価差額準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	その他の準備金 ¹ 千円	利益剰余金 ² 千円	株主資本合計 千円	非支配持分 千円	資本合計 千円
2020年1月1日現在	1,285,223,050	7,436,430	73,785,476	79,145,280	10,643,368	990,131	(8,881,736)	723,076,371	2,171,418,370	66,504,373	2,237,922,743
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	79,630,589	79,630,589	2,053,627	81,684,215
その他の包括利益	-	-	-	33,198,547	16,624,483	-	147,581	-	49,970,611	142,284	50,112,895
確定給付制度の年金数理(損失)/利得	-	-	-	-	-	-	(186,766)	-	(186,766)	878	(185,887)
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	1,963,891	(1,059,476)	-	-	-	904,415	-	904,415
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	17,683,959	-	-	-	17,683,959	77,943	17,761,902
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資に係る正味利得	-	-	-	31,234,657	-	-	-	-	31,234,657	64,554	31,299,210
純投資ヘッジに係る正味損失	-	-	-	-	-	-	(190,439)	-	(190,439)	-	(190,439)
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る 正味利得	-	-	-	-	-	-	27	-	27	-	27
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	549,277	-	549,277	-	549,277
資本準備金に係る正味損失	-	-	-	-	-	-	(24,517)	-	(24,517)	(1,091)	(25,608)
当期包括利益合計	-	-	-	33,198,547	16,624,483	-	147,581	79,630,589	129,601,200	2,195,910	131,797,111
次頁への繰越額	1,285,223,050	7,436,430	73,785,476	112,343,827	27,267,851	990,131	(8,734,155)	802,706,960	2,301,019,570	68,700,284	2,369,719,854

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2021年6月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >

< ===== 分配不能部分 ===== >

	株式資本 千マレーシア・ リンギット	法定準備金 千マレーシア・ リンギット	規制準備金 千マレーシア・ リンギット	FVTOCI 評価差額準備金 千マレーシア・ リンギット	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リンギット	ESGP準備金 千マレーシア・ リンギット	その他の準備金 ¹ 千マレーシア・ リンギット	利益剰余金 ² 千マレーシア・ リンギット	株主資本合計 千マレーシア・ リンギット	非支配持分 千マレーシア・ リンギット	資本合計 千マレーシア・ リンギット
当行グループ（続き）											
前頁からの繰越額	48,280,355	279,355	2,771,806	4,220,279	1,024,337	37,195	(328,105)	30,154,281	86,439,503	2,580,777	89,020,280
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(2,961)	-	-	-	2,961	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 （「ESGP」）に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	27,751	-	-	27,751	-	27,751
当行グループ内の会社組織の変更による 影響	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(2,991)	(2,991)
法定準備金への振替	-	37,007	-	-	-	-	-	(37,007)	-	-	-
規制準備金からの振替	-	-	(655,075)	-	-	-	-	655,075	-	-	-
支払配当金	-	-	-	-	-	-	-	(4,384,131)	(4,384,131)	(88,717)	(4,472,848)
株主との取引/その他の持分変動合計	-	37,007	(655,075)	(2,961)	-	27,751	-	(3,763,102)	(4,356,380)	(91,708)	(4,448,088)
2020年6月30日現在	48,280,355	316,362	2,116,731	4,217,318	1,024,337	64,946	(328,105)	26,391,179	82,083,123	2,489,069	84,572,192

1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A20に開示されている。

2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な剰余金550.4百万マレーシア・リンギット（税引後）が含まれる。この分配不能な剰余金は、金融サービス法（2013年）に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

（これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。）

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2021年 6 月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >
< ===== 分配不能部分 ===== >

	株式資本 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI 評価差額準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	その他の準備金 ¹ 千円	利益剰余金 ² 千円	株主資本合計 千円	非支配持分 千円	資本合計 千円
当行グループ（続き）											
前頁からの繰越額	1,285,223,050	7,436,430	73,785,476	112,343,827	27,267,851	990,131	(8,734,155)	802,706,960	2,301,019,570	68,700,284	2,369,719,854
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(78,822)	-	-	-	78,822	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 （「ESGP」）に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	738,732	-	-	738,732	-	738,732
当行グループ内の会社組織の変更による 影響	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(79,620)	(79,620)
法定準備金への振替	-	985,126	-	-	-	-	-	(985,126)	-	-	-
規制準備金からの振替	-	-	(17,438,097)	-	-	-	-	17,438,097	-	-	-
支払配当金	-	-	-	-	-	-	-	(116,705,567)	(116,705,567)	(2,361,647)	(119,067,214)
株主との取引/その他の持分変動合計	-	985,126	(17,438,097)	(78,822)	-	738,732	-	(100,173,775)	(115,966,836)	(2,441,267)	(118,408,103)
2020年 6 月30日現在	1,285,223,050	8,421,556	56,347,379	112,265,005	27,267,851	1,728,863	(8,734,155)	702,533,185	2,185,052,734	66,259,017	2,251,311,751

- 1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A20に開示されている。
- 2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な剰余金14,652百万円（税引後）が含まれる。この分配不能な剰余金は、金融サービス法（2013年）に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

（これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。）

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2021年 6 月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主帰属 ===== >

< ===== 分配不能部分 ===== >

	株式資本 千マレーシア・ リンギット	法定準備金 千マレーシア・ リンギット	規制準備金 千マレーシア・ リンギット	FVTOCI評価差額 準備金 千マレーシア・ リンギット	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リンギット	ESGP準備金 千マレーシア・ リンギット	公正価値ヘッジ 準備金 千マレーシア・ リンギット	分配可能な 利益剰余金 千マレーシア・ リンギット	資本合計 千マレーシア・ リンギット
当行									
2021年 1 月 1 日現在	48,280,355	69,518	1,495,500	3,261,447	2,241,350	96,186	12,805	16,809,095	72,266,256
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	3,286,099	3,286,099
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	(2,231,523)	183,918	-	(14,884)	-	(2,062,489)
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	183,918	-	-	-	183,918
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味損失	-	-	-	(2,231,523)	-	-	-	-	(2,231,523)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	(14,884)	-	(14,884)
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	(2,231,523)	183,918	-	(14,884)	3,286,099	1,223,610
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(778)	-	-	-	778	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	41,031	-	-	41,031
法定準備金への振替	-	4,588	-	-	-	-	-	(4,588)	-
配当金再投資制度(DRP)に基づく株式の発行(注記A8(i)(a))	3,433,626	-	-	-	-	-	-	-	3,433,626
支払配当金(注記A9(a))	-	-	-	-	-	-	-	(5,527,643)	(5,527,643)
株主との取引/その他の持分変動合計	3,433,626	4,588	-	(778)	-	41,031	-	(5,531,453)	(2,052,986)
2021年 6 月30日現在	51,713,981	74,106	1,495,500	1,029,146	2,425,268	137,217	(2,079)	14,563,741	71,436,880

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2021年 6 月30日に終了した中間会計期間

< =====当行株主帰属===== >									
< =====分配不能部分===== >									
当行	株式資本 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI評価差額 準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	公正価値ヘッジ 準備金 千円	分配可能な 利益剰余金 千円	資本合計 千円
2021年 1 月 1 日現在	1,285,223,050	1,850,569	39,810,210	86,819,719	59,664,737	2,560,471	340,869	447,458,109	1,923,727,735
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	87,475,955	87,475,955
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	(59,403,142)	4,895,897	-	(396,212)	-	(54,903,457)
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	4,895,897	-	-	-	4,895,897
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味損失	-	-	-	(59,403,142)	-	-	-	-	(59,403,142)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	(396,212)	-	(396,212)
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	(59,403,142)	4,895,897	-	(396,212)	87,475,955	32,572,498
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(20,710)	-	-	-	20,710	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	1,092,245	-	-	1,092,245
法定準備金への振替	-	122,133	-	-	-	-	-	(122,133)	-
配当金再投資制度(DRP)に基づく株式の発行(注記A8(i)(a))	91,403,124	-	-	-	-	-	-	-	91,403,124
支払配当金(注記A9(a))	-	-	-	-	-	-	-	(147,145,857)	(147,145,857)
株主との取引/その他の持分変動合計	91,403,124	122,133	-	(20,710)	-	1,092,245	-	(147,247,279)	(54,650,487)
2021年 6 月30日現在	1,376,626,174	1,972,702	39,810,210	27,395,867	64,560,634	3,652,717	(55,343)	387,686,785	1,901,649,746

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2021年 6 月30日に終了した中間会計期間

	< =====当行株主帰属===== >								
	< =====分配不能部分===== >								
	株式資本 千マレーシア・ リンギット	法定準備金 千マレーシア・ リンギット	規制準備金 千マレーシア・ リンギット	FVTOCI評価差額 準備金 千マレーシア・ リンギット	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リンギット	ESGP準備金 千マレーシア・ リンギット	公正価値ヘッジ 準備金 千マレーシア・ リンギット	分配可能な 利益剰余金 千マレーシア・ リンギット	資本合計 千マレーシア・ リンギット
当行									
2020年 1 月 1 日現在	48,280,355	59,502	1,894,921	2,260,271	2,308,456	37,195	(345)	15,223,022	70,063,377
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	3,804,239	3,804,239
その他の包括利益	-	-	-	872,224	194,434	-	20,634	-	1,087,292
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	194,434	-	-	-	194,434
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味利得	-	-	-	872,224	-	-	-	-	872,224
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	20,634	-	20,634
当期包括利益合計	-	-	-	872,224	194,434	-	20,634	3,804,239	4,891,531
メイバンク・グループ従業員株式付与制度(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	27,751	-	-	27,751
法定準備金への振替	-	8,539	-	-	-	-	-	(8,539)	-
規制準備金からの振替	-	-	(399,421)	-	-	-	-	399,421	-
支払配当金	-	-	-	-	-	-	-	(4,384,131)	(4,384,131)
株主との取引/その他の持分変動合計	-	8,539	(399,421)	-	-	27,751	-	(3,993,249)	(4,356,380)
2020年 6 月30日現在	48,280,355	68,041	1,495,500	3,132,495	2,502,890	64,946	20,289	15,034,012	70,598,528

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2021年 6 月30日に終了した中間会計期間

< =====当行株主帰属===== >									
< =====分配不能部分===== >									
当行	株式資本 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI評価差額 準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	公正価値ヘッジ 準備金 千円	分配可能な 利益剰余金 千円	資本合計 千円
2020年 1 月 1 日現在	1,285,223,050	1,583,943	50,442,797	60,168,414	61,451,099	990,131	(9,184)	405,236,846	1,865,087,096
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	101,268,842	101,268,842
その他の包括利益	-	-	-	23,218,603	5,175,833	-	549,277	-	28,943,713
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	5,175,833	-	-	-	5,175,833
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味利得	-	-	-	23,218,603	-	-	-	-	23,218,603
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	549,277	-	549,277
当期包括利益合計	-	-	-	23,218,603	5,175,833	-	549,277	101,268,842	130,212,555
メイバンク・グループ従業員株式付与制度(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	738,732	-	-	738,732
法定準備金への振替	-	227,308	-	-	-	-	-	(227,308)	-
規制準備金からの振替	-	-	(10,632,587)	-	-	-	-	10,632,587	-
支払配当金	-	-	-	-	-	-	-	(116,705,567)	(116,705,567)
株主との取引/その他の持分変動合計	-	227,308	(10,632,587)	-	-	738,732	-	(106,300,288)	(115,966,836)
2020年 6 月30日現在	1,285,223,050	1,811,251	39,810,210	83,387,017	66,626,932	1,728,863	540,093	400,205,399	1,879,332,815

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

[次へ](#)

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2021年 6 月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2021年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金及びザカート前利益	5,897,555	4,053,501	3,864,377	4,346,329
調整:				
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分	(76,867)	(94,138)	-	-
有形固定資産の減価償却費	150,336	154,014	47,293	51,552
使用権資産の減価償却費	227,024	223,455	55,184	59,760
無形資産の償却費	145,894	140,311	31,306	28,020
有形固定資産の処分損/(益)	938	(11,477)	1,164	(10,926)
子会社の清算/処分に係る正味損失	7,143	10,160	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の処分に 係る正味(利得)/損失	(73,330)	283,419	12,338	(102,390)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投 資の処分に係る正味利得	(461,521)	(1,547,468)	(338,740)	(1,174,692)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産及びデリ バティブの再評価に係る未実現損失/(利得)	914,356	(960,057)	137,841	(737,046)
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の再評価 に係る未実現(利得)/損失	(797,107)	290,176	(797,107)	290,176
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他 の債権の再評価に係る未実現利得	-	(952)	-	(952)
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰 入、純額	1,502,089	2,813,414	1,229,175	1,786,847
その他の債務に対する減損損失引当金繰入	4,829	1,960	678	154
金融投資に対する減損損失引当金繰入/(戻入)、純額	126,265	43,917	(79,301)	23,991
その他の金融資産に対する減損損失引当金(戻入)/繰 入、純額	(65,567)	20,156	(47,193)	10,844
受取配当金	(90,008)	(55,122)	(1,603,641)	(2,082,500)
ESGP費用	56,589	38,754	30,140	19,944
営業外項目及び非現金項目に係るその他の調整	131,762	36,890	(59,127)	(153,235)
運転資本増減前営業利益	7,600,380	5,440,913	2,484,387	2,355,876
現金及び当初の満期が3カ月超となる短期資金の増減	9,797,535	2,129,991	8,871,052	128,879
当初の満期が3カ月超となる預金及び金融機関預け金の 増減	(6,580,164)	(1,499,609)	(8,007,921)	12,527,065
金融投資ポートフォリオの増減	2,096,239	(8,887,554)	10,759,343	(6,954,060)
貸出金及びその他の債権の増減	(13,694,087)	1,155,094	(7,395,476)	(4,518,665)
中央銀行への法定預け金の増減	35,385	8,102,414	(190,399)	2,507,316
顧客預金の増減	19,326,541	7,979,831	16,012,001	4,553,290
顧客の投資口座の増減	1,634,998	1,799,953	-	-
金融機関預り金の増減	2,099,434	(7,435,891)	2,396,930	(9,671,549)
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の増減	18,520	(5)	18,520	(5)
再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権の増 減	(1,629,111)	(828,140)	-	-
保険契約負債/タカフル契約負債及びその他の保険債務 の増減	2,541,711	2,370,446	-	-
その他営業活動に係る増減	431,621	(4,670,751)	(5,736,022)	2,573,665
営業活動から生じたキャッシュ・フロー	23,679,002	5,656,692	19,212,415	3,501,812
税金及びザカート支払額	(1,260,969)	(493,649)	(365,649)	(328,595)
営業活動から生じた正味キャッシュ・フロー	22,418,033	5,163,043	18,846,766	3,173,217

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2021年6月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日終了 千円	2020年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円	2020年 6月30日終了 千円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金及びザカート前利益	156,992,914	107,904,197	102,869,716	115,699,278
調整:				
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分	(2,046,200)	(2,505,954)	-	-
有形固定資産の減価償却費	4,001,944	4,099,853	1,258,940	1,372,314
使用権資産の減価償却費	6,043,379	5,948,372	1,468,998	1,590,811
無形資産の償却費	3,883,698	3,735,079	833,366	745,892
有形固定資産の処分損/(益)	24,970	(305,518)	30,986	(290,850)
子会社の清算/処分に係る正味損失	190,147	270,459	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の処分に係る正味(利得)/損失	(1,952,045)	7,544,614	328,438	(2,725,622)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	(12,285,689)	(41,193,598)	(9,017,259)	(31,270,301)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産及びデリバティブの再評価に係る未実現損失/(利得)	24,340,157	(25,556,717)	3,669,327	(19,620,165)
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の再評価に係る未実現(利得)/損失	(21,218,988)	7,724,485	(21,218,988)	7,724,485
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権の再評価に係る未実現利得	-	(25,342)	-	(25,342)
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入、純額	39,985,609	74,893,081	32,720,639	47,565,867
その他の債務に対する減損損失引当金繰入	128,548	52,175	18,048	4,099
金融投資に対する減損損失引当金繰入/(戻入)、純額	3,361,174	1,169,071	(2,110,993)	638,640
その他の金融資産に対する減損損失引当金(戻入)/繰入、純額	(1,745,394)	536,553	(1,256,278)	288,667
受取配当金	(2,396,013)	(1,467,348)	(42,688,923)	(55,436,150)
ESGP費用	1,506,399	1,031,631	802,327	530,909
営業外項目及び非現金項目に係るその他の調整	3,507,504	982,012	(1,573,961)	(4,079,116)
運転資本増減前営業利益	202,322,116	144,837,104	66,134,382	62,713,419
現金及び当初の満期が3カ月超となる短期資金の増減	260,810,382	56,700,360	236,147,404	3,430,759
当初の満期が3カ月超となる預金及び金融機関預け金の増減	(175,163,966)	(39,919,592)	(213,170,857)	333,470,470
金融投資ポートフォリオの増減	55,801,882	(236,586,687)	286,413,711	(185,117,077)
貸出金及びその他の債権の増減	(364,536,596)	30,748,602	(196,867,571)	(120,286,862)
中央銀行への法定預け金の増減	941,949	215,686,261	(5,068,421)	66,744,752
顧客預金の増減	514,472,521	212,423,101	426,239,467	121,208,580
顧客の投資口座の増減	43,523,647	47,914,749	-	-
金融機関預り金の増減	55,886,933	(197,943,418)	63,806,277	(257,456,634)
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の増減	493,002	(133)	493,002	(133)
再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権の増減	(43,366,935)	(22,045,087)	-	-
保険契約負債/タカフル契約負債及びその他の保険債務の増減	67,660,347	63,101,273	-	-
その他営業活動に係る増減	11,489,751	(124,335,392)	(152,692,906)	68,510,962
営業活動から生じたキャッシュ・フロー	630,335,033	150,581,141	511,434,487	93,218,235
税金及びザカート支払額	(33,566,995)	(13,140,936)	(9,733,576)	(8,747,199)
営業活動から生じた正味キャッシュ・フロー	596,768,038	137,440,205	501,700,911	84,471,037

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2021年6月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
投資活動によるキャッシュ・フロー				
受取配当金の内訳:				
- 金融投資ポートフォリオ	90,008	55,122	4,187	3,192
- 子会社	-	-	1,599,454	2,079,308
有形固定資産の購入	(92,767)	(63,632)	(7,671)	(11,059)
無形資産の購入	(105,952)	(102,363)	(36,481)	(19,837)
投資不動産の購入	(266)	(455)	-	-
既存の子会社の普通株式の追加取得	-	-	(706,740)	(732,788)
有形固定資産の処分による収入	2,915	484,641	119	11,841
非支配持分との取引による正味影響額	25,929	(2,991)	-	-
子会社の資本の返還による正味影響額	-	-	-	1,213,920
投資活動(に使用した)/から生じた正味キャッシュ・フロー	<u>(80,133)</u>	<u>370,322</u>	<u>852,868</u>	<u>2,544,577</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー				
株式発行による収入	3,433,626	-	3,433,626	-
借入(返済)/実行による収入、純額	(859,109)	(224,522)	(4,445,125)	287,077
劣後債務の発行	-	94,250	-	-
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債の発行	1,390,585	2,655,150	1,390,585	2,655,150
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債の償還	(1,393,899)	(60,328)	(1,393,899)	(60,328)
リース負債の返済	(99,544)	(63,936)	(35,608)	(17,672)
カガマスに売却した貸出金及びその他の債権のリコー ス義務、純額	-	(1,526,225)	-	(1,526,225)
支払配当金	(5,911,971)	(4,384,131)	(5,911,971)	(4,384,131)
非支配持分への配当金の支払額	(84,746)	(88,717)	-	-
財務活動に使用した正味キャッシュ・フロー	<u>(3,525,058)</u>	<u>(3,598,459)</u>	<u>(6,962,392)</u>	<u>(3,046,129)</u>
現金及び現金同等物の正味増加額	18,812,842	1,934,906	12,737,242	2,671,665
期首現在の現金及び現金同等物	43,813,448	47,306,745	27,902,551	21,934,867
外国為替換算レートの変動による影響	604,560	494,237	417,813	306,236
期末現在の現金及び現金同等物	<u>63,230,850</u>	<u>49,735,888</u>	<u>41,057,606</u>	<u>24,912,768</u>
現金及び現金同等物の内訳:				
現金及び短期資金	56,946,091	45,949,002	32,218,928	21,852,984
金融機関預け金	13,296,159	16,466,113	19,458,961	15,832,689
	<u>70,242,250</u>	<u>62,415,115</u>	<u>51,677,889</u>	<u>37,685,673</u>
控除:				
現金及び当初の満期が3カ月超となる短期資金並び に預金及び金融機関預け金	(7,011,400)	(12,679,227)	(10,620,283)	(12,772,905)
期末現在の現金及び現金同等物	<u>63,230,850</u>	<u>49,735,888</u>	<u>41,057,606</u>	<u>24,912,768</u>

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2021年6月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日終了 千円	2020年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円	2020年 6月30日終了 千円
投資活動によるキャッシュ・フロー				
受取配当金の内訳:				
- 金融投資ポートフォリオ	2,396,013	1,467,348	111,458	84,971
- 子会社	-	-	42,577,465	55,351,179
有形固定資産の購入	(2,469,458)	(1,693,884)	(204,202)	(294,391)
無形資産の購入	(2,820,442)	(2,724,903)	(971,124)	(528,061)
投資不動産の購入	(7,081)	(12,112)	-	-
既存の子会社の普通株式の追加取得	-	-	(18,813,419)	(19,506,817)
有形固定資産の処分による収入	77,597	12,901,143	3,168	315,207
非支配持分との取引による正味影響額	690,230	(79,620)	-	-
子会社の資本の返還による正味影響額	-	-	-	32,314,550
投資活動(に使用した)/から生じた正味キャッシュ・フロー	(2,133,140)	9,857,972	22,703,346	67,736,640
財務活動によるキャッシュ・フロー				
株式発行による収入	91,403,124	-	91,403,124	-
借入(返済)/実行による収入、純額	(22,869,482)	(5,976,776)	(118,329,228)	7,641,990
劣後債務の発行	-	2,508,935	-	-
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債の発行	37,017,373	70,680,093	37,017,373	70,680,093
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債の償還	(37,105,591)	(1,605,931)	(37,105,591)	(1,605,931)
リース負債の返済	(2,649,861)	(1,701,976)	(947,885)	(470,429)
カガマスに売却した貸出金及びその他の債権のリコー				
ス義務、純額	-	(40,628,110)	-	(40,628,110)
支払配当金	(157,376,668)	(116,705,567)	(157,376,668)	(116,705,567)
非支配持分への配当金の支払額	(2,255,939)	(2,361,647)	-	-
財務活動に使用した正味キャッシュ・フロー	(93,837,044)	(95,790,979)	(185,338,875)	(81,087,954)
現金及び現金同等物の正味増加額	500,797,854	51,507,198	339,065,382	71,119,722
期首現在の現金及び現金同等物	1,166,313,986	1,259,305,552	742,765,908	583,906,160
外国為替換算レートの変動による影響	16,093,387	13,156,589	11,122,182	8,152,002
期末現在の現金及び現金同等物	1,683,205,227	1,323,969,339	1,092,953,472	663,177,884
現金及び現金同等物の内訳:				
現金及び短期資金	1,515,904,942	1,223,162,433	857,667,863	581,726,434
金融機関預け金	353,943,753	438,327,928	517,997,542	421,466,181
	1,869,848,695	1,661,490,361	1,375,665,405	1,003,192,615
控除:				
現金及び当初の満期が3カ月超となる短期資金並				
びに預金及び金融機関預け金	(186,643,468)	(337,521,023)	(282,711,933)	(340,014,731)
期末現在の現金及び現金同等物	1,683,205,227	1,323,969,339	1,092,953,472	663,177,884

(これらの未監査要約期中財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

[次へ](#)

パート A: マレーシア財務報告基準第134号（「MFRS第134号」）期中財務報告に準拠した注記**A1. 作成の基礎**

当行グループ及び当行の未監査要約期中財務書類は、取得原価主義で作成される。ただし、公正価値で計上される資産及び負債であるその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産及び負債、デリバティブ金融商品及び投資不動産を除く。

未監査要約期中財務書類はブルサ・マレーシア証券取引所の上場基準第9章パートK、MFRS第134号「期中財務報告」及びIAS第34号「期中財務報告」の要求事項に準拠して作成されている。

未監査要約期中財務書類は、監査済年次財務書類に必要とされるすべての情報や開示を含んでいないため、2020年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類と併せて読まれるべきである。未監査要約期中財務書類に添付される注記は、2020年12月31日に終了した会計年度以降の当行グループ及び当行の財政状態及び経営成績の変動の理解にとって重要な事象や取引の説明を与えるものである。

当行グループの未監査要約期中財務書類は、イスラム銀行業務及び保険事業の業務を含んでいる。イスラム銀行業務は、一般にシャリア原則に基づく預金の受入れ、貸付及びイスラム証券の取引を指している。保険事業の業務は、損害保険及び生命保険事業の引受け、ジェネラル・タカフル及びファミリー・タカフル事業の管理や投資関連業務を指している。

当行グループ及び当行が採用する重要な会計方針及び計算方法は、2021年1月1日以降に開始される会計年度に適用される以下の新マレーシア財務報告基準（「MFRSs」）の改訂の適用を除き、直近の2020年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類に採用したものと一貫している。

- ・ MFRS第4号、MFRS第7号、MFRS第9号、MFRS第16号及びMFRS第139号の改訂「金利指標改革」フェーズ2
- ・ MFRS第16号の改訂「2021年6月30日より後のCOVID-19に関連した賃料減免」

上記のMFRSsの改訂の適用による、当行グループ及び当行の財務書類に与える重要な影響はない。

MFRS第4号、MFRS第7号、MFRS第9号、MFRS第16号及びMFRS第139号の改訂「金利指標改革」フェーズ2

本改訂は、金利/利益率指標改革により必要とされる条件変更について、企業が認識中止も金融商品の帳簿価額の調整も行わない代わりに、金利/利益率指標の変動を反映するため、実効金利/利益率を改訂するための実務上の便法を設けている。ヘッジ関係においては、企業は同改革の結果、ヘッジ対象及び/又はヘッジ手段に行われた調整及び/又は変更を反映するため、ヘッジ関係の正式な指定を修正するよう求められる。ただし、この条件変更は、ヘッジ関係の中止や新たなヘッジ関係の指定をもたらすことはない。

MFRS第16号の改訂「2021年6月30日より後のCOVID-19に関連した賃料減免」

本改訂は、2020年に規定された、本改訂が借手にリースの条件変更ではなく、新型コロナウイルス感染症（「COVID-19」）に関連した適格な賃料減免として取り扱う選択肢を与えることを規定した、実務上の便法の利用可能性を拡大するものである。借手は賃料減免を、減免を与えられた期間の変動リース支払料として会計処理することが可能である。この実務上の便法は、2022年6月30日以前に期限を迎える賃料減免に適用される。

A1. 作成の基礎（続き）

COVID-19による影響を受けた個人、中小企業（SME）及び零細企業を支援するためマレーシア中央銀行(BNM)が公表した救済措置

2021年6月30日に終了した中間会計期間に、BNMは政府による一連の経済刺激策の一環として、COVID-19のパンデミックによる影響を受けた借手又は顧客に対する貸出金/融資の返済支援を促進するための規制措置の延長を発表した。この支援策は以下を含む。

条件付返済支援策（Targeted repayment assistance「TRA」）と支払猶予

（ ） *Perlindungan Ekonomi dan Rakyat Malaysia「PERMAI」*に基づく返済支援策の拡充

2021年1月18日に、PERMAI に基づくTRAの延長が発表された。この延長は、これまでに発表されたすべてのTRAに適用され、借手又は顧客は3カ月間の分割払いの猶予又は6カ月間の毎月の分割払いの50%の減額を申請することができる。TRAはすべてのB40（Bantuan Sara Hidup（「BSH」）又はBantuan Prihatin Rakyat（「BPR」）に登録されている者）、M40（Bantuan Prihatin Nasional（「BPN」）の受給者）に加え、貸出/融資枠が150,000マレーシア・リンギット以下で、貸出金/融資が2020年9月30日以前に承認され、90日超延滞していない零細企業に適用される。

（ ） *Program Strategik Memperkasa Rakyat dan Ekonomi Tambahan(PEMERKASA+)*に基づく条件付返済支援策

2021年5月31日にPEMERKASA+に基づく条件付返済支援策が公表された。同支援策は失業した借手/顧客、BSH/BPRに登録されたB40の借手/顧客のうち、貸出/融資ファシリティが150,000マレーシア・リンギット以下で、貸出金/融資が2021年6月30日以前に承認され、90日超延滞していない中小企業及び零細企業に適用された。影響を受けたこれらすべての借手/顧客は、3カ月間の分割払いの猶予又は6カ月間の毎月の分割払いの50%の減額を選択することができる。

（ ） *Perlindungan Rakyat dan Pemulihan Ekonomi (PEMULIH)*に基づく6カ月間の支払猶予

2021年6月28日に、PEMULIH に基づく6カ月間の支払猶予が公表された。この支払猶予は2021年6月30日以前に承認され、90日超延滞していないマレーシア・リンギット及び外貨建ての貸出金/融資に適用され、顧客が破産宣告を受けておらず、破産手続き中でないことが条件である。すべての個人、中小企業及び零細企業は、6カ月間の分割払いの猶予又は6カ月間の毎月の分割払いの50%の減額を選択することができる。支払猶予期間には複利/複利利益率及び遅延利息/利益率は発生しない。

返済支援/支払猶予はクレジットカード残高には適用されない。クレジットカード残高については、未払残高を36カ月間（3年）の分割払に転換するオプションが顧客に与えられている。

信用リスクのモニタリング、ストレステスト及びCentral Credit Reference Information System（「CCRIS」）における分類

信用リスクの著しい増大（以下、「SICR」という。）を示す証拠となる他の要因がない場合、同返済支援/支払猶予により、自動的にMFRS第9号に基づくステージの振替が行われるわけではない。SICRを判定する際には、当行グループ及び当行は、過去の返済実績や延滞傾向など、関連するすべての指標や情報を総合的に判断し評価している。

A1. 作成の基礎（続き）**信用リスクのモニタリング、ストレステスト及びCentral Credit Reference Information System（「CCRIS」）における分類（続き）**

2021年12月31日よりも前に返済支援策が承認された貸出金/融資は、CCRISにおいて返済予定の変更/貸付条件緩和（以下、「R&R」という。）として報告されることから免除される。ただし、当行グループ及び当行では、会計上の分類と整合させて信用減損の状況を継続的に報告することが求められている。

A2. 重要な会計方針

当行グループ及び当行の2020年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類は、MFRS及び国際財務報告基準（「IFRS」）及び2016年マレーシア会社法の要件に従って作成された。当未監査要約期中財務書類の作成において採用された重要な会計方針は、注記A1に開示の通り、2021年1月1日以降に開始する事業年度から適用されるMFRSsの改訂及びBNMの方針文書の新しい要求事項の適用を除き、2020年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類に採用された重要な会計方針と一致している。

A3. 重要な会計上の見積り及び判断

未監査要約期中財務書類を作成するに当たり、経営者には会計方針の適用並びに収益、費用、資産、負債の報告金額及びその開示、並びに偶発債務の開示の報告金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定を行うことが要求される。これらの見積りや判断は、現在の事象や活動に関して経営者が知る限りの知識に基づいているが、実際の結果は異なる可能性がある。

当未監査要約期中財務書類の作成に当たり、当行グループ及び当行の会計方針の適用のために経営者が行った重要な判断及びその見積りの不確実性の主要な要素は、2020年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類に適用されたものと一貫していた。

A4. 前期の監査済年次財務書類に関する監査人の報告書

2020年12月31日に終了した監査済年次財務書類に関する監査人の報告書は無限定適正意見であった。

A5. 季節的又は周期的要素

当行グループ及び当行の業務に対し、2021年6月30日に終了した中間会計期間において、季節的要素と周期的要素のどちらによる重要な影響もなかった。

A6. 性質、規模又は発生による異常項目

2021年6月30日に終了した中間会計期間においては、下記の注記A8に開示したものを除いて、当行グループ及び当行の資産、負債、資本、純利益及びキャッシュ・フローに影響を与える異常項目はなかった。

A7. 見積りの変更

2021年6月30日に終了した中間会計期間において、見積りの重要な変更はなかった。

A8. 負債性証券及び資本性証券の変動

- (i) 下記は、2021年6月30日に終了した中間会計期間の当行グループ及び当行の負債性証券及び資本性証券の変動である。

(a) 株式資本

当行の株式資本は、以下の通り、2020年12月31日現在の48,280,355,135マレーシア・リングットから2021年年6月30日現在の51,713,981,228マレーシア・リングットに増加した。

(A) 2020年12月31日に終了した会計年度に関する、シングルTier中間配当13.5マレーシア・センの選択可能部分に関する配当金再投資制度（以下、「DRP」という。）から生じる、普通株式172,632,753株（1,325,130,714マレーシア・リングット）の新規発行及び、

(B) 2020年12月31日に終了した会計年度に関する、シングルTier最終配当21.0マレーシア・センの選択可能部分に関するDRPから生じる、普通株式279,343,269株（2,108,495,379マレーシア・リングット）の新規発行。

2021年6月30日現在の当行の発行済普通株式は11,693,337,909株（2020年12月31日：11,241,361,887株）である。

(b) 借入金

当行によるミディアム・ターム・ノートの発行／償還

通貨	債券の種類	額面価額総額
ミディアム・ターム・ノートの発行		
米ドル	ゼロクーポン債 [*]	335.0百万米ドル
米ドル	固定利付債	63.0百万米ドル
香港ドル	固定利付債	505.0百万香港ドル
豪ドル	固定利付債	63.0百万豪ドル
人民元	固定利付債	2,150.0百万人民元
ミディアム・ターム・ノートの償還		
香港ドル	固定利付債	300.0百万香港ドル
香港ドル	変動利付債	450.0百万香港ドル
米ドル	ゼロクーポン債 [*]	347.0百万米ドル
米ドル	変動利付債	20.0百万米ドル
マレーシア・リングット	ゼロクーポン債	50.0百万マレーシア・リングット

^{*} 純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された（FVTPL）借入金

A8. 負債性証券及び資本性証券の変動（続き）

ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケー及びその子会社による債券の発行/償還

通貨	債券の種類	額面価額総額
債券の発行		
インドネシア・ルピア	固定利付債	500,000.0百万インドネシア・ルピア
債券の償還		
インドネシア・ルピア	固定利付債	1,282,500.0百万インドネシア・ルピア

当行によるコマーシャル・ペーパーの発行

2021年6月30日現在の、当行が発行したコマーシャル・ペーパーの額面ベースの発行残高総額は以下の通りである。

通貨	債券の種類	額面価額総額
マレーシア・リンギット	ゼロクーポン債	2,550.0百万マレーシア・リンギット
米ドル	ゼロクーポン債	150.0百万米ドル
シンガポール・ドル	固定利付債 [*]	315.1百万シンガポール・ドル
米ドル	固定利付債 [*]	30.0百万米ドル

^{*} 延長可能なマネーマーケット証券

メイバンク・イスラミック・ベルハッドによるイスラム・コマーシャル・ペーパーの発行

2021年6月30日現在の、メイバンク・イスラミック・ベルハッドが発行したイスラム・コマーシャル・ペーパー（ICP）の額面ベースの額面価額総額は以下の通りである。

通貨	債券の種類	額面価額総額
マレーシア・リンギット	ゼロプロフィットICP	8,000.0百万マレーシア・リンギット

(c) 劣後債務

メイバンク・イスラミック・ベルハッドの10.0十億マレーシア・リンギットのスクーク・ムラバハ・プログラムに基づく、Tier 2 劣後スクーク・ムラバハの発行/償還

発行/償還	発行日	最初のコール日	償還日	額面価額	債券の種類	期間
発行	2021年 2月15日	2026年 2月16日	2031年 2月14日	1.0十億マ レーシア・ リンギット	Tier 2 劣後ス クーク・ムラバ ハ（期間10年ノ ンコーラブル5 年）	10年
償還	2016年 2月15日	2021年 2月15日	2026年 2月13日	1.0十億マ レーシア・ リンギット	Tier 2 劣後ス クーク・ムラバ ハ（期間10年ノ ンコーラブル5 年） ¹	10年

¹ 劣後スクークは最初のコール日に全額償還された。

A8. 負債性証券及び資本性証券の変動（続き）

(c) 劣後債務（続き）

- () 2021年6月30日に終了した中間会計期間の財務書類に反映されなかった、2021年6月30日に終了した中間会計期間後の当行グループ及び当行の負債性証券の変動は以下の通りである。

(a) 借入金

当行によるメディアム・ターム・ノートの発行/償還

通貨	債券の種類	額面価額総額
メディアム・ターム・ノートの発行		
人民元	固定利付債	480.0百万人民元
香港ドル	固定利付債	700.0百万香港ドル
メディアム・ターム・ノートの償還		
香港ドル	固定利付債	500.0百万香港ドル
スイス・フラン	ゼロクーポン債	100.0スイス・フラン

ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケー及びその子会社による債券の償還

通貨	債券の種類	額面価額総額
インドネシア・ルピア	固定利付債	500,000.0百万インドネシア・ルピア

(b) 劣後債務

ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケーによる劣後債の償還

償還	償還日	額面価額	債券の種類	期間
償還	2021年 7月8日	1,500.0十億イ ンドネシア・ ルピア	シェルフ登録劣後債IIバンク BIIトランシェI Year 2014	7年

当行の30.0十億マレーシア・リングットのスクーク・プログラムに基づく、Tier 2 劣後スクーク・ムラバハの発行

発行/償還	発行日	最初の コール日	償還日	額面価額	債券の種類	期間
発行	2021年 8月5日	2026年 8月5日	2031年 8月5日	3.0十億マ レーシア・ リングット	Tier 2 劣後ス クーク・ムラバ ハ（期間10年ノ ンコーラブル5 年）	10年

上記の開示以外に、当行グループ及び当行による株式の消却、株式の買戻し、買戻した株式の再売出しはなかった。

A9. 支払配当金

2021年6月30日に終了した中間会計期間の支払配当金は以下の通りである。

- (a) 2020年11月27日に、取締役会は、2020年12月31日に終了した会計年度に係る、配当金再投資制度（「DRP」）に従いメイバンクの株式に再投資することが選択可能な普通株式一株当たり13.5マレーシア・センのシングルTier中間配当を宣言した。

普通株式一株当たり13.5マレーシア・センのシングルTier中間配当（1,517,583,477マレーシア・リングット）は2021年1月15日に支払われた。

財務書類では、正味中間配当額である1,133,255,366マレーシア・リングットを計上しており、そのうちの384,328,111マレーシア・リングットは、BNMの自己資本充実度フレームワーク（資本構成）に係る実務指針に従い、現金での支払いが見込まれるシングルTier中間配当の選択可能部分の、2020年12月31日に終了した会計年度中に行われた未払配当金であった。

2021年5月6日に開催された第61回年次株主総会の延会において、2020年12月31日に終了した会計年度に関する、普通株式一株当たり38.5マレーシア・センのシングルTier配当（4,394,387,936マレーシア・リングット）の最終配当が株主により承認された。

配当は、普通株式一株当たり17.5マレーシア・センの現金部分（1,997,449,062マレーシア・リングット）と、普通株式一株当たり21.0マレーシア・センの選択可能部分（2,396,938,874マレーシア・リングット）からなり、この選択可能部分は配当金再投資制度（「DRP」）に基づきメイバンクの新株への再投資することを選択できる。

現金配当の支払とDRPに基づく普通株式への払込は2021年6月28日に完了した。

- (b) 2021年6月30日に終了した中間会計期間において、メイバンクの子会社から非支配持分へ84,746,000マレーシア・リングットの配当金が支払われた。

A10. 金融投資ポートフォリオ

	注記	当行グループ		当行	
		2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当初認識時に純損益を通じて公 正価値で測定するものとして指 定された金融資産	()	13,670,483	14,028,031	-	-
純損益を通じて公正価値で測定 する金融投資	()	25,509,466	27,179,846	14,126,721	18,189,480
その他の包括利益を通じて公正 価値で測定する金融投資	()	119,002,209	127,502,681	68,279,991	75,533,793
償却原価で測定する金融投資	()	50,771,764	46,475,916	38,382,413	39,856,983
		<u>208,953,922</u>	<u>215,186,474</u>	<u>120,789,125</u>	<u>133,580,256</u>

() 当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するもの(FVTPL)として指定された金融資産

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
公正価値で計上				
マナーマーケット商品:				
マレーシア政府証券	330,393	233,228	-	-
マレーシア政府投資証券	351,044	406,583	-	-
	<u>681,437</u>	<u>639,811</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
上場証券:				
マレーシア国内:				
株式、ワラント、ローン・ストック	112,163	114,951	-	-
信託ユニット	3,932	3,932	-	-
マレーシア国外:				
株式、ワラント、ローン・ストック	18,107	11,270	-	-
	<u>134,202</u>	<u>130,153</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
非上場証券:				
マレーシア国内:				
社債及びスクーク	12,572,130	13,008,116	-	-
マレーシア国外:				
社債及びスクーク	282,714	249,951	-	-
	<u>12,854,844</u>	<u>13,258,067</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
当初認識時にFVTPLとして指定された 金融資産合計	<u>13,670,483</u>	<u>14,028,031</u>	<u>-</u>	<u>-</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

() 純損益を通じて公正価値で測定する(FVTPL)金融投資

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
公正価値で計上				
マネーマーケット商品:				
マレーシア政府証券	1,126,085	2,464,259	1,073,816	2,404,369
マレーシア政府投資証券	722,582	2,240,840	419,131	2,133,207
カガマス債	-	47,024	-	47,024
譲渡性預金商品	128,034	120,485	128,034	120,485
外国政府証券	2,765,783	3,227,160	2,096,300	2,934,336
マレーシア政府短期証券	2,272,302	1,065,724	1,849,011	1,065,724
マレーシア中央銀行手形	373,551	1,656,882	373,551	1,656,882
外国政府短期証券	985,710	1,395,379	985,710	1,395,379
	<u>8,374,047</u>	<u>12,217,753</u>	<u>6,925,553</u>	<u>11,757,406</u>
上場証券:				
マレーシア国内:				
株式、ワラント、ミューチュアル ファンド、ローン・ストック	6,125,493	4,962,630	-	79,685
信託ユニット	430,203	478,003	192,537	201,260
マレーシア国外:				
株式、ワラント、ミューチュアル ファンド、ローン・ストック	313,268	285,720	593	116
信託ユニット	649,398	457,683	260,431	237,644
社債及びスクーク	1,287,980	1,207,422	-	-
政府債	612,716	707,185	-	-
政府短期証券	462,890	668,020	-	-
	<u>9,881,948</u>	<u>8,766,663</u>	<u>453,561</u>	<u>518,705</u>
非上場証券:				
マレーシア国内:				
株式	938,217	931,054	682,508	682,508
信託ユニット	1,960	1,928	-	-
社債及びスクーク	822,969	757,346	227,628	298,648
仕組預金	90,675	87,737	-	-
マレーシア国外:				
株式	396	764	-	-
投資信託	82,285	16,517	-	-
社債及びスクーク	2,490,102	3,750,966	3,010,604	4,283,095
政府債	2,826,867	649,118	2,826,867	649,118
	<u>7,253,471</u>	<u>6,195,430</u>	<u>6,747,607</u>	<u>5,913,369</u>
FVTPL金融投資合計	<u>25,509,466</u>	<u>27,179,846</u>	<u>14,126,721</u>	<u>18,189,480</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

()その他の包括利益を通じて公正価値で測定する(FVOCI)金融投資

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
公正価値で計上				
マネーマーケット商品:				
マレーシア政府証券	11,315,254	13,448,869	10,923,161	13,249,223
マレーシア政府投資証券	20,805,799	23,197,246	7,985,786	9,164,855
譲渡性預金商品	119,909	150,337	119,909	150,337
外国政府証券	12,947,268	13,088,016	4,247,083	4,535,913
外国政府短期証券	11,611,286	16,939,946	1,998,437	4,014,112
カザナ債	280,291	353,303	251,017	324,271
カガマス債	167,557	358,627	167,557	358,627
	<u>57,247,364</u>	<u>67,536,344</u>	<u>25,692,950</u>	<u>31,797,338</u>
上場証券:				
マレーシア国内:				
株式、ワラント、ローン・ストック	66,200	6,992	17,658	17,836
マレーシア国外:				
株式、ワラント、ローン・ストック	34	33	-	-
社債及びスクーク	3,900,512	2,762,299	-	-
政府債	617,757	730,155	-	-
	<u>4,584,503</u>	<u>3,499,479</u>	<u>17,658</u>	<u>17,836</u>
非上場証券:				
マレーシア国内:				
株式、ローン・ストック	336,794	336,378	322,726	322,417
政府債	520,078	378,606	477,616	336,714
社債及びスクーク	24,031,773	23,992,461	13,228,350	15,552,830
マレーシア国外:				
株式	2,428	2,444	-	-
政府債	17,147,215	14,660,955	16,696,883	14,524,455
社債及びスクーク	15,132,054	17,096,014	11,843,808	12,982,203
	<u>57,170,342</u>	<u>56,466,858</u>	<u>42,569,383</u>	<u>43,718,619</u>
FVOCI金融投資合計	<u>119,002,209</u>	<u>127,502,681</u>	<u>68,279,991</u>	<u>75,533,793</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

()その他の包括利益を通じて公正価値で測定する(FVOCI)金融投資(続き)

(a)その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2021年 6 月30日現在				
2021年 1 月 1 日現在	34,819	1,718	107,281	143,818
ステージ 1 への移動	551	(551)	-	-
引当金の再測定純額	(422)	1,490	(180)	888
新たに組成又は購入した金融資産	11,287	-	16,570	27,857
認識中止された金融資産	(12,062)	-	-	(12,062)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(530)	(40)	-	(570)
為替換算差額	(2,666)	25	769	(1,872)
2021年 6 月30日現在	30,977	2,642	124,440	158,059

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2020年12月31日現在				
2020年 1 月 1 日現在	23,070	540	118,727	142,337
ステージ 2 への移動	(337)	337	-	-
引当金の再測定純額	4,181	965	(534)	4,612
新たに組成又は購入した金融資産	20,856	-	-	20,856
認識中止された金融資産	(10,968)	(81)	(3,357)	(14,406)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(267)	(43)	(659)	(969)
貸倒償却額	-	-	(6,942)	(6,942)
為替換算差額	(1,716)	-	46	(1,670)
2020年12月31日現在	34,819	1,718	107,281	143,818

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

() その他の包括利益を通じて公正価値で測定する(FVOCI)金融投資(続き)

(a) その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2021年 6 月30日現在				
2021年 1 月 1 日現在	16,676	495	71,056	88,227
引当金の再測定純額	523	-	(180)	343
新たに組成又は購入した金融資産	5,311	-	16,570	21,881
認識中止された金融資産	(6,504)	-	-	(6,504)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(209)	(40)	-	(249)
為替換算差額	(384)	-	34	(350)
2021年 6 月30日現在	15,413	455	87,480	103,348

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2020年12月31日現在				
2020年 1 月 1 日現在	13,472	400	81,877	95,749
ステージ 2 への移動	(58)	58	-	-
引当金の再測定純額	611	153	(534)	230
新たに組成又は購入した金融資産	8,420	-	-	8,420
認識中止された金融資産	(5,470)	(73)	(3,345)	(8,888)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(351)	(43)	-	(394)
貸倒償却額	-	-	(6,942)	(6,942)
為替換算差額	52	-	-	52
2020年12月31日現在	16,676	495	71,056	88,227

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

() 償却原価で測定する金融投資

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日	2020年 12月31日	2021年 6月30日	2020年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
マネーマーケット商品:				
マレーシア政府証券	9,221,803	8,664,711	9,221,700	8,664,609
マレーシア政府投資証券	13,081,115	11,456,207	6,115,389	6,867,868
外国政府証券	2,007,802	1,068,622	-	-
カザナ債	857,371	1,073,781	43,086	141,493
カガマス債	50,259	50,259	50,259	50,259
	<u>25,218,350</u>	<u>22,313,580</u>	<u>15,430,434</u>	<u>15,724,229</u>
非上場証券:				
マレーシア国内:				
社債及びスクーク	22,456,881	20,912,781	19,776,085	20,327,704
マレーシア国外:				
社債及びスクーク	2,129,663	2,925,090	3,229,588	3,965,708
政府債	1,629,494	872,817	131,037	114,756
	<u>26,216,038</u>	<u>24,710,688</u>	<u>23,136,710</u>	<u>24,408,168</u>
減損損失引当金	(662,624)	(548,352)	(184,731)	(275,414)
償却原価で測定する金融投資合計	<u>50,771,764</u>	<u>46,475,916</u>	<u>38,382,413</u>	<u>39,856,983</u>

(a) 償却原価で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
	千マレーシア・ リンギット	信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
2021年 6月30日現在				
2021年 1月 1日現在	57,578	395,043	95,731	548,352
ステージ 1 への移動	346	(346)	-	-
引当金の再測定純額	(1,221)	(4,066)	30,091	24,804
新たに組成又は購入した金融資産	8,540	433,797	-	442,337
認識中止された金融資産	(5,104)	(352,946)	-	(358,050)
モデル/リスク・パラメーターの変動	76	985	-	1,061
為替換算差額	54	4,066	-	4,120
2021年 6月30日現在	<u>60,269</u>	<u>476,533</u>	<u>125,822</u>	<u>662,624</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

() 償却原価で測定する金融投資 (続き)

(a) 償却原価で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2020年12月31日現在				千マレーシア・ リンギット
2020年 1 月 1 日現在	29,061	23,961	91,618	144,640
ステージ 2 への移動	(2,824)	2,824	-	-
引当金の再測定純額	19,012	368,573	4,113	391,698
新たに組成又は購入した金融資産	19,667	-	-	19,667
認識中止された金融資産	(7,371)	(103)	-	(7,474)
モデル/リスク・パラメーターの変動	67	(133)	-	(66)
為替換算差額	(34)	(79)	-	(113)
2020年12月31日現在	57,578	395,043	95,731	548,352

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2021年 6 月30日現在				千マレーシア・ リンギット
2021年 1 月 1 日現在	16,077	163,606	95,731	275,414
引当金の再測定純額	(1,049)	(4,066)	30,091	24,976
新たに組成又は購入した金融資産	5,708	-	-	5,708
認識中止された金融資産	(4,593)	(122,027)	-	(126,620)
モデル/リスク・パラメーターの変動	179	985	-	1,164
為替換算差額	23	4,066	-	4,089
2021年 6 月30日現在	16,345	42,564	125,822	184,731

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2020年12月31日現在				千マレーシア・ リンギット
2020年 1 月 1 日現在	9,978	23,827	91,618	125,423
ステージ 2 への移動	(945)	945	-	-
引当金の再測定純額	2,226	139,154	4,113	145,493
新たに組成又は購入した金融資産	8,308	-	-	8,308
認識中止された金融資産	(3,461)	(103)	-	(3,564)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(6)	(133)	-	(139)
為替換算差額	(23)	(84)	-	(107)
2020年12月31日現在	16,077	163,606	95,731	275,414

A11. 貸出金及びその他の債権

	注記	当行グループ		当行	
		2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
金融機関向貸出金及びその他の債権	()	1,025,645	899,986	32,094,849	30,042,986
顧客向貸出金及びその他の債権	()	527,353,085	511,310,107	205,673,270	199,881,476
		<u>528,378,730</u>	<u>512,210,093</u>	<u>237,768,119</u>	<u>229,924,462</u>
()金融機関向貸出金及びその他の債権 [△] ：					
(A)償却原価で測定する金融機関向 貸出金及びその他の債権		929,519	906,576	32,690,009	30,490,995
(B)その他の包括利益を通じて公正 価値で測定する金融機関向貸出金 及び その他の債権		103,346	-	339,446	-
金融機関向貸出金及びその他の債権 総額		1,032,865	906,576	33,029,455	30,490,995
貸出金及びその他の債権に対する 貸倒引当金：					
- ステージ1 -12カ月ECL		(6,981)	(6,223)	(33,695)	(21,722)
- ステージ2 -全期間ECL(信用減損 なし)		(239)	(367)	(452,789)	(17,223)
- ステージ3 -全期間ECL(信用減損 あり)		-	-	(448,122)	(409,064)
金融機関向貸出金及びその他の債権 純額		<u>1,025,645</u>	<u>899,986</u>	<u>32,094,849</u>	<u>30,042,986</u>
()顧客向貸出金及びその他の債権：					
(A)純損益を通じて公正価値で測定 する顧客向貸出金及びその他の債 権		15,487	170,712	15,487	170,712
(B)その他の包括利益を通じて公正 価値で測定する顧客向貸出金及び その他の債権		17,691,892	16,031,857	14,651,921	13,290,590
(C)償却原価で測定する顧客向貸出 金 及びその他の債権		606,493,333	593,837,430	199,348,192	193,755,229
		<u>624,200,712</u>	<u>610,039,999</u>	<u>214,015,600</u>	<u>207,216,531</u>
前受利息及び前受収益		(83,718,017)	(87,222,999)	(1,040,566)	(1,139,318)
顧客向貸出金及びその他の債権総額		540,482,695	522,817,000	212,975,034	206,077,213
貸出金及びその他の債権に対する 貸倒引当金：					
- ステージ1 -12カ月ECL		(2,017,445)	(1,994,831)	(854,068)	(856,954)
- ステージ2 -全期間ECL(信用減損 なし)		(4,471,170)	(3,376,730)	(2,479,153)	(1,705,204)
- ステージ3 -全期間ECL(信用減損 あり)		(6,640,995)	(6,135,332)	(3,968,543)	(3,633,579)
顧客向貸出金及びその他の債権純額		<u>527,353,085</u>	<u>511,310,107</u>	<u>205,673,270</u>	<u>199,881,476</u>
()&					
貸出金及びその他の債権純額	()	<u>528,378,730</u>	<u>512,210,093</u>	<u>237,768,119</u>	<u>229,924,462</u>

△ 当行の金融機関向貸出金及び債権には、当行の子会社であるメイバンク・イスラミック・ベルハッド（「MIB」）に対する、COVID-19のパンデミックに対応するための政府支援策の一環としての、中小企業向け融資を目的とした政府融資制度の958.5百万マレーシア・リンギット(2020年12月31日現在：945.9百万マレーシア・リンギット)に加え、制限付利益分配投資口座（「RPSIA」）に基づく融資が、予想信用損失控除後で31,033.2百万マレーシア・リンギット含まれている（2020年12月31日：28,997.4百万マレーシア・リンギット）。RPSIAはムダラバの原則に基づき融資を行うために二者間で締結される契約であり、当該契約において、当行はMIBに資本のみを提供する投資家としての役割を果たし、MIBの経営は事業者としてのMIBの

みが行う。MIBの利益は事前に合意した割合に基づき両者間で分配される。損失が発生した場合は当行が負担する。

A11. 貸出金及びその他の債権（続き）

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
()金融機関及び顧客向貸出金及びその 他の債権：				
金融機関向貸出金及び債権	1,032,865	906,576	33,029,455	30,490,995
当座貸越/キャッシングローン	18,168,641	19,065,309	6,925,519	7,481,675
タームローン：				
-住宅ローン	179,971,981	174,145,515	43,727,751	43,022,417
-シンジケートローン	52,648,383	50,214,403	41,493,776	40,563,771
-分割払債権	75,327,244	75,607,626	12,043,479	13,009,452
-リース債権	738,168	521,253	-	-
-その他の貸出金及び債権	203,223,335	207,218,162	62,097,660	61,901,874
クレジットカード債権	7,952,578	8,664,565	5,120,903	5,652,016
受取手形	4,574,997	2,718,711	4,120,569	2,189,748
貨物貸渡	5,556,983	2,716,310	4,990,616	2,189,538
為替引受信用状	10,300,555	9,302,357	4,878,964	4,259,393
リボルビングクレジット	51,322,908	49,360,283	25,584,477	24,244,977
株式信用取引	7,419,289	5,960,978	2,477,512	2,135,038
従業員向貸出	3,764,923	3,721,072	553,170	565,441
貸出金：				
-当行取締役向貸出	4,386	4,489	1,179	1,120
-子会社取締役向貸出	6,134	5,954	15	69
その他	3,220,207	813,012	10	2
	625,233,577	610,946,575	247,045,055	237,707,526
前受利息及び前受収益	(83,718,017)	(87,222,999)	(1,040,566)	(1,139,318)
貸出金及びその他の債権総額	541,515,560	523,723,576	246,004,489	236,568,208
貸出金及びその他の債権に対する 貸倒引当金：				
-ステージ1-12カ月ECL	(2,024,426)	(2,001,054)	(887,763)	(878,676)
-ステージ2-全期間ECL(信用減損なし)	(4,471,409)	(3,377,097)	(2,931,942)	(1,722,427)
-ステージ3-全期間ECL(信用減損あり)	(6,640,995)	(6,135,332)	(4,416,665)	(4,042,643)
貸出金及びその他の債権純額	528,378,730	512,210,093	237,768,119	229,924,462

()顧客種類別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
国内金融機関	1,035,501	901,894	33,036,637	30,490,995
国内ノンバンク金融機関	19,461,308	18,364,255	15,333,840	13,654,089
国内事業会社：				
-中小企業	62,149,086	61,403,405	25,273,686	25,363,794
-その他	119,798,815	116,540,316	67,093,495	64,623,343
政府及び特殊法人	16,056,530	16,260,952	144,947	116,564
個人	270,548,942	262,645,679	64,477,744	66,284,495
その他の国内企業	11,870,983	11,961,524	3,149,150	2,778,440
外国企業	40,594,395	35,645,551	37,494,990	33,256,488
貸出金及びその他の債権総額	541,515,560	523,723,576	246,004,489	236,568,208

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

()地域別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
マレーシア	331,145,678	326,828,279	155,469,010	152,682,615
シンガポール	132,874,134	122,904,956	56,339,519	52,187,746
インドネシア	29,320,349	31,151,046	-	-
ラブアン オフショア	12,918,220	14,486,857	12,918,220	14,486,857
香港	17,525,964	11,673,338	14,069,507	10,698,916
米国	904,481	810,455	903,895	809,890
中国	3,215,273	2,943,282	3,215,273	2,943,282
ベトナム	1,553,164	1,257,994	1,096,268	921,657
英国	1,215,082	1,033,429	1,215,082	1,033,429
ブルネイ	535,644	533,429	535,644	533,429
カンボジア	3,356,219	3,138,433	-	-
フィリピン	4,722,997	5,153,819	-	-
タイ	1,986,284	1,537,872	-	-
ラオス	62,442	68,927	62,442	68,927
ミャンマー	179,629	201,460	179,629	201,460
貸出金及びその他の債権総額	<u>541,515,560</u>	<u>523,723,576</u>	<u>246,004,489</u>	<u>236,568,208</u>

()金利/利益率感応度別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
固定金利:				
-住宅ローン	25,454,663	21,686,920	435,634	439,894
-分割払債権	57,138,159	58,098,807	9,942,953	11,043,302
-その他の固定金利貸出金及び債権	70,747,810	68,698,013	54,507,389	51,067,697
変動金利:				
-基準金利型貸出	211,883,608	206,192,623	76,558,852	75,789,317
-スプレッド型貸出	59,619,359	57,502,327	43,858,480	43,262,247
-その他の変動利率	116,671,961	111,544,886	60,701,181	54,965,751
貸出金及びその他の債権総額	<u>541,515,560</u>	<u>523,723,576</u>	<u>246,004,489</u>	<u>236,568,208</u>

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

()経済目的別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
証券の購入	39,945,916	36,337,689	7,365,673	7,199,018
輸送車両の購入	68,321,352	68,521,829	9,626,466	10,932,965
不動産の購入:				
-住宅	143,443,675	134,192,016	43,192,658	41,585,622
-住宅以外	40,495,374	40,258,823	17,302,906	17,448,919
固定資産の購入(不動産を除く)	3,404,114	3,522,105	2,670,891	2,838,799
個人	9,631,780	11,533,431	4,038,260	4,476,932
クレジットカード	8,014,033	8,701,661	5,150,312	5,654,347
耐久消費財の購入	6,126	9,715	5,548	9,369
建設	15,868,590	16,482,318	8,297,075	9,061,197
合併・買収	1,233,009	1,467,097	1,219,242	1,460,384
運転資金	168,968,079	163,786,319	114,110,250	105,602,857
その他	42,183,512	38,910,573	33,025,208	30,297,799
貸出金及びその他の債権総額	<u>541,515,560</u>	<u>523,723,576</u>	<u>246,004,489</u>	<u>236,568,208</u>

()貸出金及びその他の債権の満期構成は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
1年以内	128,038,596	115,325,443	74,227,515	67,488,355
1年超3年以内	50,598,518	55,128,115	39,371,173	40,521,401
3年超5年以内	55,568,620	52,964,359	25,291,517	24,256,065
5年超	307,309,826	300,305,659	107,114,284	104,302,387
貸出金及びその他の債権総額	<u>541,515,560</u>	<u>523,723,576</u>	<u>246,004,489</u>	<u>236,568,208</u>

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

()減損した貸出金及びその他の債権(「減損貸出金等」)の変動は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日	2020年 12月31日	2021年 6月30日	2020年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
1月1日現在	11,674,491	13,857,936	7,120,298	8,825,195
期中減損額	1,674,197	3,899,391	518,542	1,398,869
非減損に分類変更された金額	(436,983)	(1,126,502)	(122,646)	(330,357)
回収額	(870,828)	(1,766,812)	(302,685)	(760,065)
貸倒償却額	(439,116)	(3,485,303)	(183,872)	(2,311,501)
為替換算差額	224,003	295,781	219,394	298,157
2021年6月30日/2020年12月31日現在の減損貸出金等総額	11,825,764	11,674,491	7,249,031	7,120,298
控除：ステージ3-全期間ECL (信用減損あり)	(6,727,719)	(6,208,777)	(4,503,389)	(4,116,088)
2021年6月30日/2020年12月31日現在の減損貸出金等純額	5,098,045	5,465,714	2,745,642	3,004,210

減損貸出金等純額の割合の算出：

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日	2020年 12月31日	2021年 6月30日	2020年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
2021年6月30日/2020年12月31日現在の減損貸出金等総額				
(投資口座による調達 [*] を除く)	11,737,709	11,586,572	7,249,031	7,120,298
控除：ステージ3-全期間ECL (信用減損あり)	(6,727,719)	(6,208,777)	(4,503,389)	(4,116,088)
減損貸出金等純額	5,009,990	5,377,795	2,745,642	3,004,210
貸出金及びその他の債権総額	541,515,560	523,723,576	246,004,489	236,568,208
控除：投資口座による調達 [*]	(25,475,794)	(23,840,796)	-	-
控除：FVOCI及び償却原価で測定する減損貸出金等に対する引当金	(13,578,010)	(12,404,277)	(8,671,550)	(7,530,386)
貸出金及びその他の債権純額	502,461,756	487,478,503	237,332,939	229,037,822
減損貸出金等純額の割合	1.00%	1.10%	1.16%	1.31%

^{*} 当行の完全子会社であるメイバンク・イスラミック・ベルハッドの帳簿上で計上されている。

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(x)経済目的別の減損した貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
証券の購入	84,571	144,436	10,004	16,428
輸送車両の購入	530,075	543,608	93,572	94,880
不動産の購入:				
-住宅	1,071,047	1,178,937	342,008	375,072
-住宅以外	503,152	515,602	199,784	214,484
固定資産の購入(不動産を除く)	1,286,210	1,427,124	1,273,332	1,413,945
個人	247,948	257,705	157,275	162,320
クレジットカード	71,853	65,846	28,999	24,064
耐久消費財の購入	3,555	6,659	3,553	6,657
建設	1,083,114	950,179	1,010,691	859,978
運転資金	5,935,225	5,606,863	3,368,744	3,220,169
その他	1,009,014	977,532	761,069	732,301
減損した貸出金及びその他の債権総額	<u>11,825,764</u>	<u>11,674,491</u>	<u>7,249,031</u>	<u>7,120,298</u>

(xi)地域別の減損した貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
マレーシア	4,955,380	5,063,672	3,229,208	3,191,060
シンガポール	3,847,397	3,834,761	3,360,269	3,258,461
インドネシア	1,796,394	1,567,942	-	-
ラブアン オフショア	77,946	70,755	77,946	70,755
香港	130,097	132,863	121,701	124,744
米国	213,737	209,065	213,152	208,498
中国	169,096	162,307	169,096	162,307
ベトナム	4,681	39,781	4,253	39,193
ブルネイ	72,526	64,419	72,526	64,419
カンボジア	105,411	67,493	-	-
フィリピン	418,749	416,341	-	-
タイ	33,470	34,487	-	-
ラオス	880	861	880	861
その他	-	9,744	-	-
減損した貸出金及びその他の債権総額	<u>11,825,764</u>	<u>11,674,491</u>	<u>7,249,031</u>	<u>7,120,298</u>

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(xii) 貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

その他の包括利益を通じて公正価値で測定	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・リンギット	信用減損なし 千マレーシア・リンギット	信用減損あり 千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット
2021年 6 月30日現在				
2021年 1 月 1 日現在	40,781	776,568	73,445	890,794
ステージ 2 への移動	(2,655)	2,655	-	-
引当金の再測定純額	(2,488)	(476,870)	12,949	(466,409)
新たに組成又は購入した金融資産	6,593	-	-	6,593
認識中止された金融資産	(2,460)	(3,081)	(959)	(6,500)
モデル/リスク・パラメーターの変動	7,311	(3,689)	-	3,622
為替換算差額	980	10,811	1,289	13,080
2021年 6 月30日現在	48,062	306,394	86,724	441,180

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
当行グループ	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
2020年12月31日現在	千マレーシア・リンギット	信用減損なし 千マレーシア・リンギット	信用減損あり 千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット
2020年 1 月 1 日現在	29,184	199,953	417,241	646,378
ステージ 2 への移動	(3,949)	3,949	-	-
引当金の再測定純額	(640)	318,891	366,674	684,925
新たに組成又は購入した金融資産	30,411	259,336	-	289,747
認識中止された金融資産	(15,259)	(3,792)	(243,679)	(262,730)
モデル/リスク・パラメーターの変動	1,833	116	-	1,949
貸倒償却額	-	-	(466,034)	(466,034)
為替換算差額	(799)	(1,885)	(757)	(3,441)
2020年12月31日現在	40,781	776,568	73,445	890,794

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
2021年 6 月30日現在	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
	千マレーシア・リンギット	信用減損なし 千マレーシア・リンギット	信用減損あり 千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット
2021年 1 月 1 日現在	39,122	774,073	73,445	886,640
ステージ 2 への移動	(2,655)	2,655	-	-
引当金の再測定純額	(2,531)	(476,870)	12,949	(466,452)
新たに組成又は購入した金融資産	6,557	-	-	6,557
認識中止された金融資産	(2,096)	(3,081)	(959)	(6,136)
モデル/リスク・パラメーターの変動	5,925	(4,423)	-	1,502
為替換算差額	970	10,810	1,289	13,069
2021年 6 月30日現在	45,292	303,164	86,724	435,180

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(xii)貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

その他の包括利益を通じて公正価値で 測定(続き)	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
2020年12月31日現在	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2020年1月1日現在	28,662	197,574	417,241	643,477
ステージ2への移動	(3,949)	3,949	-	-
引当金の再測定純額	(640)	318,891	366,674	684,925
新たに組成又は購入した金融資産	29,375	259,336	-	288,711
認識中止された金融資産	(15,259)	(3,792)	(243,679)	(262,730)
モデル/リスク・パラメーターの変動	1,732	-	-	1,732
貸倒償却額	-	-	(466,034)	(466,034)
為替換算差額	(799)	(1,885)	(757)	(3,441)
2020年12月31日現在	39,122	774,073	73,445	886,640

償却原価で測定	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
2021年6月30日現在	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2021年1月1日現在	2,001,054	3,377,097	6,135,332	11,513,483
ステージ1への移動	343,177	(321,621)	(21,556)	-
ステージ2への移動	(62,605)	107,982	(45,377)	-
ステージ3への移動	(6,138)	(91,340)	97,478	-
引当金の再測定純額	(374,919)	1,313,567	974,986	1,913,634
新たに組成又は購入した金融資産	290,581	288,707	-	579,288
認識中止された金融資産	(180,897)	(231,580)	(127,609)	(540,086)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(15,480)	(4,314)	(1,609)	(21,403)
貸倒償却額	-	-	(439,116)	(439,116)
為替換算差額	29,653	32,911	68,466	131,030
2021年6月30日現在	2,024,426	4,471,409	6,640,995	13,136,830

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(xii)貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

償却原価で測定(続き)	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
当行グループ	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
2020年12月31日現在	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
2020年1月1日現在	1,435,017	1,865,171	6,767,580	10,067,768
ステージ1への移動	449,149	(415,653)	(33,496)	-
ステージ2への移動	(78,599)	321,206	(242,607)	-
ステージ3への移動	(12,437)	(328,277)	340,714	-
引当金の再測定純額	177,035	1,915,961	3,429,617	5,522,613
新たに組成又は購入した金融資産	590,062	432,554	-	1,022,616
認識中止された金融資産	(404,938)	(418,549)	(1,010,020)	(1,833,507)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(144,167)	37,124	3,980	(103,063)
制限付投資口座に関連する金額	-	-	(48,424)	(48,424)
貸倒償却額	-	-	(3,019,269)	(3,019,269)
為替換算差額	(10,068)	(32,440)	(52,743)	(95,251)
2020年12月31日現在	2,001,054	3,377,097	6,135,332	11,513,483

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
2021年6月30日現在	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
2021年6月30日現在	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
2021年1月1日現在	878,676	1,722,427	4,042,643	6,643,746
ステージ1への移動	114,688	(107,457)	(7,231)	-
ステージ2への移動	(41,588)	62,108	(20,520)	-
ステージ3への移動	(2,435)	(72,477)	74,912	-
引当金の再測定純額	(122,611)	858,108	479,623	1,215,120
新たに組成又は購入した金融資産	125,811	542,636	-	668,447
認識中止された金融資産	(93,915)	(104,139)	(18,502)	(216,556)
モデル/リスク・パラメーターの変動	5,928	3,999	-	9,927
貸倒償却額	-	-	(183,872)	(183,872)
為替換算差額	23,209	26,737	49,612	99,558
2021年6月30日現在	887,763	2,931,942	4,416,665	8,236,370

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(xii)貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

償却原価で測定(続き)	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
2020年12月31日現在	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2020年1月1日現在	525,812	875,388	4,669,093	6,070,293
ステージ1への移動	166,049	(156,329)	(9,720)	-
ステージ2への移動	(38,511)	74,309	(35,798)	-
ステージ3への移動	(8,007)	(183,947)	191,954	-
引当金の再測定純額	186,733	1,143,203	1,831,599	3,161,535
新たに組成又は購入した金融資産	320,032	222,242	-	542,274
認識中止された金融資産	(238,886)	(233,783)	(764,113)	(1,236,782)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(27,043)	8,211	-	(18,832)
貸倒償却額	-	-	(1,845,467)	(1,845,467)
為替換算差額	(7,503)	(26,867)	5,095	(29,275)
2020年12月31日現在	878,676	1,722,427	4,042,643	6,643,746

A12. 再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権

		当行グループ	
		2021年	2020年
		6月30日	12月31日
		千マレーシア・	千マレーシア・
	注記	リンギット	リンギット
再保険資産/再タカフル資産	()	6,386,243	5,045,832
その他の保険債権	()	1,045,012	732,749
		7,431,255	5,778,581

		当行グループ	
		2021年	2020年
		6月30日	12月31日
		千マレーシア・	千マレーシア・
		リンギット	リンギット
()再保険資産/再タカフル資産			
再保険者持分:		5,843,756	4,590,468
生命保険契約負債		698,707	480,310
損害保険契約負債		5,145,049	4,110,158
再タカフル事業者持分:		553,967	474,578
ファミリー・タカフル証書負債		191,712	162,130
ジェネラル・タカフル証書負債		362,255	312,448
減損損失引当金	()	(11,480)	(19,214)
		6,386,243	5,045,832

A12. 再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権（続き）

	当行グループ	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
()その他の保険債権		
代理店/ブローカー及び共同保険者の残高を含む未収保険料	888,283	639,008
再保険者及び出再者貸/再タカフル事業者貸	179,561	131,640
	1,067,844	770,648
減損損失引当金 ()	(22,832)	(37,899)
	1,045,012	732,749

()再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
当行グループ				
2021年 6月30日現在				
2021年 1月 1日現在	57,113	-	-	57,113
引当金の再測定純額	(23,193)	-	-	(23,193)
為替換算差額	392	-	-	392
2021年 6月30日現在	34,312	-	-	34,312
当行グループ				
2020年12月31日現在				
2020年 1月 1日現在	42,751	-	-	42,751
引当金の再測定純額	13,108	-	-	13,108
為替換算差額	1,254	-	-	1,254
2020年12月31日現在	57,113	-	-	57,113

A13. その他の資産

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日	2020年 12月31日	2021年 6月30日	2020年 12月31日
	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット
その他の債務者、減損損失引当金控除後	4,720,109	5,631,409	2,193,567	3,928,749
ブローカー及び顧客からの未収金	4,591,061	2,943,008	-	-
前払金及び保証金	855,130	1,167,957	171,484	159,353
未収還付税	147,460	148,569	-	-
差押不動産	362,004	345,931	28,500	28,500
	<u>10,675,764</u>	<u>10,236,874</u>	<u>2,393,551</u>	<u>4,116,602</u>

A14. 顧客預金

(i) 預金種類別

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日	2020年 12月31日	2021年 6月30日	2020年 12月31日
	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット
定期預金及び譲渡性預金商品				
- 1年以内	247,791,618	236,489,723	132,921,435	119,594,928
- 1年超	15,054,710	16,387,002	665,807	1,224,903
	<u>262,846,328</u>	<u>252,876,725</u>	<u>133,587,242</u>	<u>120,819,831</u>
市場金利連動型預金	62,401,495	73,678,562	9,118,601	12,355,003
貯蓄預金	101,976,699	92,157,487	36,854,947	33,763,701
要求払預金	152,262,149	137,636,598	88,151,545	83,086,800
	<u>579,486,671</u>	<u>556,349,372</u>	<u>267,712,335</u>	<u>250,025,335</u>

() 顧客種類別

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日	2020年 12月31日	2021年 6月30日	2020年 12月31日
	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット
事業会社	246,157,467	232,438,733	150,152,651	134,459,714
個人	234,403,898	231,305,676	87,553,465	84,669,685
政府及び特殊法人	52,315,960	46,151,797	14,423,974	12,831,965
その他	46,609,346	46,453,166	15,582,245	18,063,971
	<u>579,486,671</u>	<u>556,349,372</u>	<u>267,712,335</u>	<u>250,025,335</u>

() 定期預金及び譲渡性預金商品の満期構成は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日	2020年 12月31日	2021年 6月30日	2020年 12月31日
	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット
6カ月以内	188,673,631	186,092,752	99,451,436	98,146,714
6カ月超1年以内	59,117,987	50,396,971	33,469,999	21,448,214
1年超3年以内	14,658,867	15,839,042	603,410	1,163,363
3年超5年以内	395,843	547,960	62,397	61,540
	<u>262,846,328</u>	<u>252,876,725</u>	<u>133,587,242</u>	<u>120,819,831</u>

A15. 金融機関預り金

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日	2020年 12月31日	2021年 6月30日	2020年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
認可銀行	36,117,443	32,147,684	34,932,451	30,935,440
認可金融会社	140,014	603,389	140,014	603,389
認可投資銀行	831,829	986,576	831,829	986,576
その他の金融機関	2,889,014	4,141,217	1,212,752	2,194,710
	<u>39,978,300</u>	<u>37,878,866</u>	<u>37,117,046</u>	<u>34,720,115</u>

金融機関からの預り金及び満期に関する情報は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日	2020年 12月31日	2021年 6月30日	2020年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
1年以内	31,722,540	33,194,515	32,622,300	33,968,995
1年超	8,255,760	4,684,351	4,494,746	751,120
	<u>39,978,300</u>	<u>37,878,866</u>	<u>37,117,046</u>	<u>34,720,115</u>

A16. 純損益を通じて公正価値で測定する（「FVTPL」）金融負債

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日	2020年 12月31日	2021年 6月30日	2020年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
仕組預金	<u>18,540</u>	<u>-</u>	<u>18,540</u>	<u>-</u>
借入金 無担保 メディアム・ターム・ノート -返済期限が1年超のもの 通貨： -米ドル	<u>9,483,408</u>	<u>10,161,921</u>	<u>9,483,408</u>	<u>10,161,921</u>
FVTPL金融負債合計	<u>9,501,948</u>	<u>10,161,921</u>	<u>9,501,948</u>	<u>10,161,921</u>

当行グループ及び当行のFVTPLに指定された仕組預金及び借入金双方の帳簿価額は、2021年6月30日現在10,588,936,000マレーシア・リンギット（2020年12月31日現在：10,451,802,000マレーシア・リンギット）であった。自己の信用リスクの変動に起因する、FVTPL金融負債の公正価値の変動は重要ではない。

A17. 借入金、劣後債務及び資本性証券

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
()借入金				
有担保				
(a)借入金				
-返済期限が1年未満のもの				
通貨:				
-インドネシア・ルピア	114,512	14,296	-	-
	114,512	14,296	-	-
-返済期限が1年超のもの				
通貨:				
-インドネシア・ルピア	1,476,172	2,062,856	-	-
	1,476,172	2,062,856	-	-
有担保借入金合計	1,590,684	2,077,152	-	-
無担保				
(a)借入金				
-返済期限が1年未満のもの				
通貨:				
-米ドル	631,148	5,884,816	622,650	5,840,621
-人民元	378,047	-	378,047	-
-シンガポール・ドル	3,015,494	1,020,472	1,103,218	1,020,472
-タイ・バーツ	1,663,833	1,425,133	-	-
-香港ドル	1,854,636	176,184	-	176,184
-インドネシア・ルピア	33,960	44,959	-	-
-豪ドル	-	773,724	-	773,724
-マレーシア・リンギット	2,533,076	2,830,790	2,533,000	2,830,790
	10,110,194	12,156,078	4,636,915	10,641,791
-返済期限が1年超のもの				
通貨:				
-米ドル	829,700	1,467,065	-	764,815
-インドネシア・ルピア	670,648	668,135	-	-
-人民元	415,190	-	415,190	-
-日本円	948	1,145	-	-
-マレーシア・リンギット(注記 a))	1,934,883	1,614,483	1,934,883	1,614,483
	3,851,369	3,750,828	2,350,073	2,379,298

(注記(a))借入金には、COVID-19のパンデミックに対応するための政府支援策の一環として、期間6年で2026年6月17日を返済期限とした、市中金利よりも低率の中小企業向け融資に充てるために、政府融資制度に基づいて当行グループ及び当行が受領した金額1,584,883,000マレーシア・リンギット(2020年12月31日現在:1,564,483,000マレーシア・リンギット)が含まれている。この政府制度による資金調達は、中小企業向けの優遇利率での貸出と、COVID-19関連の救済措置を目的としたものである。

A17. 借入金、劣後債務及び資本性証券（続き）

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
()借入金（続き）				
無担保（続き）				
(b)ミディアム・ターム・ノート				
-返済期限が1年未満のもの				
通貨：				
-米ドル	466,065	80,865	466,065	80,865
-香港ドル	1,048,324	931,825	1,048,324	931,825
-シンガポール・ドル	686	686	686	686
-日本円	2,320,610	-	2,320,610	-
-豪ドル	74,867	-	74,867	-
-オフショア人民元	1,223,434	17,588	1,223,434	17,588
-スイス・フラン	445,177	452,172	445,177	452,172
-人民元	640,756	8,621	640,756	8,621
-マレーシア・リンギット	320	750	320	750
	<u>6,220,239</u>	<u>1,492,507</u>	<u>6,220,239</u>	<u>1,492,507</u>
-返済期限が1年超のもの				
通貨：				
-米ドル	8,694,138	8,629,473	8,694,138	8,629,473
-香港ドル	2,027,721	2,190,257	2,027,721	2,190,257
-日本円	3,297,990	5,827,903	3,297,990	5,827,903
-豪ドル	542,446	420,279	542,446	420,279
-オフショア人民元	1,179,394	939,057	1,179,394	939,057
-人民元	-	613,690	-	613,690
	<u>15,741,689</u>	<u>18,620,659</u>	<u>15,741,689</u>	<u>18,620,659</u>
無担保借入金合計	<u>35,923,491</u>	<u>36,020,072</u>	<u>28,948,916</u>	<u>33,134,255</u>
借入金合計	<u>37,514,175</u>	<u>38,097,224</u>	<u>28,948,916</u>	<u>33,134,255</u>

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
()劣後債務				
無担保				
-返済期限が1年超のもの				
通貨：				
-マレーシア・リンギット	6,786,859	6,787,309	6,786,859	6,787,309
-米ドル	2,089,227	2,021,330	2,089,227	2,021,330
-インドネシア・ルピア	159,503	159,192	-	-
	<u>9,035,589</u>	<u>8,967,831</u>	<u>8,876,086</u>	<u>8,808,639</u>

A17. 借入金、劣後債務及び資本性証券（続き）

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
() 資本性証券				
無担保				
- 返済期限が1年超のもの				
通貨:				
- マレーシア・リンギット	2,828,127	2,827,793	2,828,127	2,827,793
	<u>2,828,127</u>	<u>2,827,793</u>	<u>2,828,127</u>	<u>2,827,793</u>

A18. 保険契約負債/タカフル契約負債及びその他の保険債務

当行グループ	注記	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
保険契約負債/タカフル契約負債	()	39,390,971	36,830,150
その他の保険債務	()	845,505	864,615
		<u>40,236,476</u>	<u>37,694,765</u>

() 保険契約負債/タカフル契約負債

	契約負債総額 千マレーシア・ リンギット	再保険資産/ 再タカフル資産 千マレーシア・ リンギット	契約負債純額 千マレーシア・ リンギット
2021年6月30日現在			
生命保険/ファミリー・タカフル	30,959,295	(890,419)	30,068,876
損害保険/ジェネラル・タカフル	8,431,676	(5,495,824)	2,935,852
	<u>39,390,971</u>	<u>(6,386,243)</u>	<u>33,004,728</u>

	契約負債総額 千マレーシア・ リンギット	再保険資産/ 再タカフル資産 千マレーシア・ リンギット	契約負債純額 千マレーシア・ リンギット
2020年12月31日現在			
生命保険/ファミリー・タカフル	29,529,240	(642,440)	28,886,800
損害保険/ジェネラル・タカフル	7,300,910	(4,403,392)	2,897,518
	<u>36,830,150</u>	<u>(5,045,832)</u>	<u>31,784,318</u>

() その他の保険債務

	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
代理店及び仲介業者に対する債務	197,993	218,840
再保険者及び出再者に対する債務	587,117	604,582
再タカフル事業者に対する債務	60,395	41,193
	<u>845,505</u>	<u>864,615</u>

A19. その他の負債

注記	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
ブローカー及び顧客に対する債務 預り金、その他の債権者に対する 債務及び未払費用	8,833,911	4,918,837	-	-
確定給付年金制度	11,587,972	11,214,207	7,235,125	6,895,028
コミットメント及び偶発事象に対 する引当金	560,953	542,947	-	-
ローン・コミットメント及び金融 保証契約に対する減損損失引当 金	26,392	75,798	26,392	27,880
()	245,787	247,147	154,617	164,194
リース負債	1,097,656	1,178,902	421,761	410,438
仕組預金	2,235,499	2,850,077	216,023	312,527
	<u>24,588,170</u>	<u>21,027,915</u>	<u>8,053,918</u>	<u>7,810,067</u>

() ローン・コミットメント及び金融保証契約に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2021年 6月30日現在				
2021年 1月 1日現在	97,130	61,222	88,795	247,147
ステージ 1 への移動	12,047	(11,879)	(168)	-
ステージ 2 への移動	(3,415)	3,433	(18)	-
ステージ 3 への移動	(95)	(186)	281	-
引当金の再測定純額	(9,834)	3,602	2,919	(3,313)
新たに組成又は購入した金融資産	19,670	8,401	-	28,071
認識中止された金融資産	(16,253)	(6,706)	(6,583)	(29,542)
モデル/リスク・パラメーターの変動	1,403	21	(120)	1,304
為替換算差額	651	1,167	302	2,120
2021年 6月30日現在	<u>101,304</u>	<u>59,075</u>	<u>85,408</u>	<u>245,787</u>

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2020年12月31日現在				
2020年 1月 1日現在	92,086	108,132	478,014	678,232
ステージ 1 への移動	11,741	(11,520)	(221)	-
ステージ 2 への移動	(7,727)	7,989	(262)	-
ステージ 3 への移動	(133)	(287)	420	-
引当金の再測定純額	(9,304)	(39,803)	(88,402)	(137,509)
新たに組成又は購入した金融資産	42,500	15,675	-	58,175
認識中止された金融資産	(31,246)	(19,931)	(301,212)	(352,389)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(738)	1,043	13	318
為替換算差額	(49)	(76)	445	320
2020年12月31日現在	<u>97,130</u>	<u>61,222</u>	<u>88,795</u>	<u>247,147</u>

A19. その他の負債（続き）

（ ）ローン・コミットメント及び金融保証契約に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。（続き）

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2021年 6 月30日現在				
2021年 1 月 1 日現在	42,445	37,100	84,649	164,194
ステージ 1 への移動	1,744	(1,724)	(20)	-
ステージ 2 への移動	(2,548)	2,548	-	-
引当金の再測定純額	(1,044)	45	(7,587)	(8,586)
新たに組成又は購入した金融資産	12,040	5,572	-	17,612
認識中止された金融資産	(9,565)	(4,308)	(6,129)	(20,002)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(168)	13	-	(155)
為替換算差額	282	1,098	174	1,554
2021年 6 月30日現在	43,186	40,344	71,087	154,617

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2020年12月31日現在				
2020年 1 月 1 日現在	48,324	99,999	469,725	618,048
ステージ 1 への移動	1,456	(1,456)	-	-
ステージ 2 への移動	(673)	820	(147)	-
ステージ 3 への移動	(46)	(13)	59	-
引当金の再測定純額	(8,292)	(59,070)	(93,006)	(160,368)
新たに組成又は購入した金融資産	19,966	9,219	-	29,185
認識中止された金融資産	(18,903)	(12,689)	(292,563)	(324,155)
モデル/リスク・パラメーターの変動	86	545	-	631
為替換算差額	527	(255)	581	853
2020年12月31日現在	42,445	37,100	84,649	164,194

[次へ](#)

A20. その他の準備金

その他の準備金の内訳及び変動は以下の通りである。

< ===== 分配不能部分 ===== >

当行グループ	資本準備金 千マレーシア・ リングット	再評価準備金 千マレーシア・ リングット	確定給付準備金 千マレーシア・ リングット	ヘッジ準備金 千マレーシア・ リングット	その他の準備金 合計 千マレーシア・ リングット
2021年 1 月 1 日現在	12,092	(2,712)	28,069	(350,250)	(312,801)
その他の包括利益/(損失)	362	-	489	(19,969)	(19,118)
確定給付制度の年金数理利得	-	-	489	-	489
純投資ヘッジに係る正味損失	-	-	-	(5,085)	(5,085)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	(14,884)	(14,884)
資本準備金に係る正味利得	362	-	-	-	362
当期包括利益/(損失)合計	362	-	489	(19,969)	(19,118)
2021年 6 月30日現在	12,454	(2,712)	28,558	(370,219)	(331,919)

< ===== 分配不能部分 ===== >

当行グループ	資本準備金 千マレーシア・ リングット	再評価準備金 千マレーシア・ リングット	確定給付準備金 千マレーシア・ リングット	ヘッジ準備金 千マレーシア・ リングット	その他の準備金 合計 千マレーシア・ リングット
2020年 1 月 1 日現在	14,244	(2,712)	21,141	(366,322)	(333,649)
その他の包括(損失)/利益	(921)	-	(7,016)	13,481	5,544
確定給付制度の年金数理損失	-	-	(7,016)	-	(7,016)
純投資ヘッジに係る正味損失	-	-	-	(7,154)	(7,154)
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る正味利得	-	-	-	1	1
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	20,634	20,634
資本準備金に係る正味損失	(921)	-	-	-	(921)
当期包括(損失)/利益合計	(921)	-	(7,016)	13,481	5,544
2020年 6 月30日現在	13,323	(2,712)	14,125	(352,841)	(328,105)

[次へ](#)

A21. 受取利息

	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2021年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
貸出金及びその他の債権(注記(a))	2,942,220	3,500,224	5,894,238	7,480,331
コールローン及び金融機関預け金	98,694	116,006	181,147	275,033
売戻条件付買入金融資産	30,024	60,523	82,792	169,058
FVTPL金融資産	266,003	277,936	520,493	569,523
FVOCI金融投資	706,888	696,274	1,410,273	1,442,105
償却原価で測定する金融投資	316,158	291,007	634,370	549,666
	<u>4,359,987</u>	<u>4,941,970</u>	<u>8,723,313</u>	<u>10,485,716</u>
(プレミアムの償却)/ディスカウントに係る増価、純額	(46,043)	(15,730)	(75,223)	2,767
	<u>4,313,944</u>	<u>4,926,240</u>	<u>8,648,090</u>	<u>10,488,483</u>
	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2021年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
貸出金及びその他の債権(注記(a))	1,910,750	2,142,367	3,778,703	4,581,972
コールローン及び金融機関預け金	131,032	110,164	234,366	321,588
売戻条件付買入金融資産	9,005	24,141	21,235	83,257
FVTPL金融資産	65,764	104,790	140,681	213,997
FVOCI金融投資	467,708	544,621	959,784	1,124,706
償却原価で測定する金融投資	309,461	300,850	627,300	570,571
	<u>2,893,720</u>	<u>3,226,933</u>	<u>5,762,069</u>	<u>6,896,091</u>
ディスカウントに係る増価、純額	36,299	63,355	66,595	161,738
	<u>2,930,019</u>	<u>3,290,288</u>	<u>5,828,664</u>	<u>7,057,829</u>

2021年6月30日に終了した中間会計期間の受取利息に含まれる減損資産に係る利息は、当行グループにおいては、約132,249,000マレーシア・リンギット（2020年6月30日に終了した期間：185,935,000マレーシア・リンギット）であり、当行においては、約93,385,000マレーシア・リンギット（2020年6月30日に終了した期間：137,668,000マレーシア・リンギット）であった。

(注記(a)): 2020年6月30日に終了した中間会計期間には、COVID-19により負の影響を受けた借手や顧客向けの政府支援策による正味の影響が、当行グループに関しては71,637,000マレーシア・リンギット、当行に関しては46,376,000マレーシア・リンギット含まれている。

A22. 支払利息

当行グループ	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2021年	2020年	2021年	2020年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
金融機関預り金	73,597	163,780	139,811	401,996
顧客預金	868,255	1,479,095	1,835,316	3,235,612
カガマスに売却した貸出金	-	4,612	-	20,755
買戻条件付売渡金融資産に関する債務	4,274	68,249	33,896	149,733
借入金	170,872	280,777	356,741	610,466
劣後証券	117,891	137,149	234,180	260,657
資本性証券	28,843	28,843	57,372	57,687
仕組預金	4,751	17,435	10,237	44,163
FVTPL金融負債	25,533	48,442	53,342	98,395
	<u>1,294,016</u>	<u>2,228,382</u>	<u>2,720,895</u>	<u>4,879,464</u>

当行	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2021年	2020年	2021年	2020年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
金融機関預り金	64,895	194,490	121,980	468,772
顧客預金	478,992	816,688	976,586	1,833,297
カガマスに売却した貸出金	-	4,612	-	20,755
買戻条件付売渡金融資産に関する債務	35,364	80,293	89,577	203,863
借入金	106,968	169,394	225,731	372,426
劣後証券	85,725	105,022	170,465	209,348
資本性証券	28,843	28,843	57,372	57,687
仕組預金	1,202	2,022	2,920	3,860
FVTPL金融負債	25,533	48,442	53,342	98,395
	<u>827,522</u>	<u>1,449,806</u>	<u>1,697,973</u>	<u>3,268,403</u>

A23. 正味既経過保険料

当行グループ	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2021年	2020年	2021年	2020年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
既経過保険料総額	2,519,171	2,072,565	5,697,174	4,439,390
再保険会社に対する出再保険料	(352,630)	(331,682)	(1,001,403)	(753,569)
	<u>2,166,541</u>	<u>1,740,883</u>	<u>4,695,771</u>	<u>3,685,821</u>

A24. 子会社及び関連会社からの配当金

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
受取配当金総額:				
子会社	1,569,620	1,604,017	1,599,454	2,079,308
	<u>1,569,620</u>	<u>1,604,017</u>	<u>1,599,454</u>	<u>2,079,308</u>

A25. その他の営業収益

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
(a) 手数料収益:				
コミッション	324,339	218,048	713,471	577,899
サービス料及び手数料	402,802	311,522	812,984	625,994
引受手数料	6,655	5,300	28,913	9,798
仲介業務収益	124,409	120,618	285,545	233,598
貸出金及びその他の債権に係る手数料	40,261	55,146	83,218	99,037
	<u>898,466</u>	<u>710,634</u>	<u>1,924,131</u>	<u>1,546,326</u>
(b) 投資収益:				
FVTPL金融資産の処分に係る正味利得/(損失)	19,891	30,903	75,510	(292,942)
FVOCI金融投資の処分に係る正味利得	162,866	429,067	407,936	1,496,348
子会社の清算/処分に係る正味損失	(54)	(10,160)	(7,143)	(10,160)
	<u>182,703</u>	<u>449,810</u>	<u>476,303</u>	<u>1,193,246</u>
(c) 受取配当総額:				
金融投資ポートフォリオ	51,092	29,591	90,008	55,122
(d) 再評価に係る未実現利得/(損失):				
当初認識時にFVTPLに指定された金融資産	264,606	669,165	(690,213)	188,909
FVTPL金融投資	(159,291)	709,228	(320,422)	(161,562)
FVTPL金融負債	(695,510)	147,028	797,107	(290,176)
デリバティブ	990,920	(565,259)	104,676	941,237
FVTPL貸出金及びその他の債権	-	1,726	-	952
	<u>400,725</u>	<u>961,888</u>	<u>(108,852)</u>	<u>679,360</u>
(e) その他の収益:				
正味外国為替換算差(損)/益	(30,220)	197,256	95,272	145,737
デリバティブに係る実現(損失)/利得	(399,657)	6,047	(279,563)	(93)
FVTPL金融負債に係る実現損失	-	-	(138,277)	-
賃料収入	9,567	3,641	22,310	13,783
有形固定資産処分(損)/益	(1,024)	51	(938)	11,477
差押資産処分益/(損)	1,056	(5,355)	(947)	(5,211)
投資不動産に係る公正価値調整	(37)	(37)	(74)	(73)
その他	37,438	73,900	85,879	120,857
	<u>(382,877)</u>	<u>275,503</u>	<u>(216,338)</u>	<u>286,477</u>
その他の営業収益合計	<u>1,150,109</u>	<u>2,427,426</u>	<u>2,165,252</u>	<u>3,760,531</u>

A25. その他の営業収益（続き）

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
(a) 手数料収益:				
コミッション	217,015	148,931	465,814	372,118
サービス料及び手数料	220,787	191,189	439,615	391,354
引受手数料	2,671	3,420	5,347	6,789
貸出金及びその他の債権に係る手数料	21,945	32,870	45,429	49,490
	<u>462,418</u>	<u>376,410</u>	<u>956,205</u>	<u>819,751</u>
(b) 投資収益:				
FVTPL金融資産の処分に係る正味(損 失)/利得	(18)	(9,568)	(12,338)	102,390
FVOCI金融投資の処分に係る正味利得	137,342	400,234	338,740	1,174,692
	<u>137,324</u>	<u>390,666</u>	<u>326,402</u>	<u>1,277,082</u>
(c) 受取配当総額:				
金融投資ポートフォリオ	4,187	3,192	4,187	3,192
(d) 再評価に係る未実現利得/(損失):				
FVTPL金融投資	10,176	121,347	(70,603)	(64,640)
FVTPL金融負債	(695,510)	147,028	797,107	(290,176)
デリバティブ	966,610	(382,988)	(67,238)	801,686
FVTPL貸出金及びその他の債権	-	1,726	-	952
	<u>281,276</u>	<u>(112,887)</u>	<u>659,266</u>	<u>447,822</u>
(e) その他の収益:				
正味外国為替換算差(損)/益	(90,455)	136,771	35,092	68,842
デリバティブに係る実現損失	(407,485)	(40,520)	(241,389)	(139,133)
FVTPL金融負債に係る実現損失	-	-	(138,277)	-
賃料収入	14,631	5,985	29,207	13,715
有形固定資産処分(損)/益	(1,164)	(244)	(1,164)	10,926
その他	57,067	16,425	62,560	29,418
	<u>(427,406)</u>	<u>118,417</u>	<u>(253,971)</u>	<u>(16,232)</u>
その他の営業収益合計	<u>457,799</u>	<u>775,798</u>	<u>1,692,089</u>	<u>2,531,615</u>

A26. 保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
給付金及び保険金総支払額	1,235,395	768,880	2,356,393	1,826,452
再保険会社に出再した保険金	(212,307)	(6,914)	(279,305)	(114,843)
契約負債の変動総額	1,469,782	1,754,445	2,621,534	1,964,892
再保険会社に出再した契約負債の変動	(455,583)	(188,635)	(1,188,382)	(324,007)
保険給付金及び支払保険金純額	2,037,287	2,327,776	3,510,240	3,352,494
手数料費用純額	74,676	60,690	164,628	154,193
保険関連負債の変動	(31,261)	6,602	(28,066)	35,099
生命保険及びタカフルファンドに係る税金	41,434	74,180	(13,940)	13,266
手数料費用純額、保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金	84,849	141,472	122,622	202,558
保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金合計	2,122,136	2,469,248	3,632,862	3,555,052

A27. 一般管理費

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
(a) 人件費				
給料手当及び賞与	1,298,788	1,281,222	2,596,996	2,586,476
社会保険費用	11,553	11,085	22,802	22,439
年金費用 - 確定拠出制度	155,560	152,757	316,558	307,212
ESGP費用	27,979	22,468	56,589	38,754
その他人件費関連費用	215,948	176,469	439,555	416,083
	1,709,828	1,644,001	3,432,500	3,370,964
(b) 設備費				
有形固定資産の減価償却費	74,336	77,395	150,336	154,014
使用権資産の減価償却費	113,180	115,023	227,024	223,455
無形資産の償却費	73,393	71,646	145,894	140,311
土地及び建物の賃借料	7,433	9,970	12,880	27,240
有形固定資産の保守修繕費	40,750	31,304	85,248	72,599
IT費用	166,087	130,102	320,640	251,994
リース負債に係る金融費用	10,139	15,700	21,244	32,235
その他	5,532	7,269	10,743	14,597
	490,850	458,409	974,009	916,445
(c) マーケティング費用				
広告宣伝費	40,497	21,304	67,190	57,471
その他	66,177	55,189	134,248	127,711
	106,674	76,493	201,438	185,182

A27. 一般管理費（続き）

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ（続き）				
(d) 管理費及び一般経費				
手数料及び仲介手数料	249,224	199,772	490,448	477,735
管理費	150,605	149,587	282,628	281,837
一般経費	199,091	184,434	332,360	419,190
その他	14,506	(6,357)	29,061	(3,007)
	<u>613,426</u>	<u>527,436</u>	<u>1,134,497</u>	<u>1,175,755</u>
一般管理費合計	<u>2,920,778</u>	<u>2,706,339</u>	<u>5,742,444</u>	<u>5,648,346</u>
コスト・インカム・レシオ(「CIR」)				
1	<u>47.3%</u>	<u>47.9%</u>	<u>44.2%</u>	<u>45.6%</u>

- ¹ コスト・インカム・レシオ（「CIR」）は純営業収益に対する総費用で算出される。当行グループの総費用は一般管理費合計であり、メイバンク・キム・エン・ホールディングス・リミテッドに関する無形資産の償却額は除外されている。収益は損益計算書上に開示されている純営業収益である。

A27. 一般管理費（続き）

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
(a) 人件費				
給料手当及び賞与	680,157	648,533	1,345,662	1,297,425
社会保険費用	5,670	5,345	11,463	11,127
年金費用 - 確定拠出制度	102,044	96,198	204,508	194,304
ESGP費用	14,901	10,644	30,140	19,944
その他人件費関連費用	105,280	86,276	219,831	198,556
	<u>908,052</u>	<u>846,996</u>	<u>1,811,604</u>	<u>1,721,356</u>
(b) 設備費				
有形固定資産の減価償却費	23,170	25,602	47,293	51,552
使用権資産の減価償却費	27,171	31,535	55,184	59,760
無形資産の償却費	15,793	14,286	31,306	28,020
土地及び建物の賃借料	2,085	2,084	3,910	4,109
有形固定資産の保守修繕費	19,918	14,791	41,108	34,968
IT費用	258,780	204,676	485,469	396,246
リース負債に係る金融費用	3,067	4,297	5,873	8,433
その他	3,112	632	3,472	1,168
	<u>353,096</u>	<u>297,903</u>	<u>673,615</u>	<u>584,256</u>
(c) マーケティング費用				
広告宣伝費	18,129	5,712	27,768	18,346
その他	22,302	24,564	54,374	61,407
	<u>40,431</u>	<u>30,276</u>	<u>82,142</u>	<u>79,753</u>
(d) 管理費及び一般経費				
手数料及び仲介手数料	161,494	135,058	314,367	302,554
管理費	48,698	47,695	90,409	94,977
一般経費	75,413	70,320	129,958	131,308
その他	141	257	1,310	1,208
	<u>285,746</u>	<u>253,330</u>	<u>536,044</u>	<u>530,047</u>
(e) 子会社に対する一般管理費の配 賦額、純額	<u>(274,388)</u>	<u>(275,543)</u>	<u>(593,400)</u>	<u>(631,051)</u>
一般管理費合計	<u>1,312,937</u>	<u>1,152,962</u>	<u>2,510,005</u>	<u>2,284,361</u>
コスト・インカム・レシオ(「CIR」) 2	<u>31.8%</u>	<u>27.3%</u>	<u>33.8%</u>	<u>27.2%</u>

² コスト・インカム・レシオ（「CIR」）は純営業収益に対する総費用で算出される。

A28. 貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入、純額

	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2021年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
貸出金及びその他の債権に対する減損損失 引当金(戻入)/繰入:				
-ステージ 1 12カ月ECL、純額	(76,253)	101,541	(276,773)	(31,389)
-ステージ 2 全期間ECL(信用減損なし)、純額	292,813	905,633	888,058	1,455,243
-ステージ 3 全期間ECL(信用減損あり)、純額	355,925	760,622	853,974	1,359,022
不良債権償却額	20,518	11,558	36,830	30,538
不良債権回収額	(71,778)	(41,361)	(131,896)	(114,440)
その他の債権に対する減損損失引当金繰入	3,558	1,274	4,829	1,960
	<u>524,783</u>	<u>1,739,267</u>	<u>1,375,022</u>	<u>2,700,934</u>

	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2021年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
貸出金及びその他の債権に対する減損損失 引当金(戻入)/繰入:				
-ステージ 1 12カ月ECL、純額	(25,110)	(92,699)	(75,669)	40,186
-ステージ 2 全期間ECL(信用減損なし)、純額	36,849	717,721	817,552	1,016,237
-ステージ 3 全期間ECL(信用減損あり)、純額	106,248	337,004	459,395	709,865
不良債権償却額	15,094	8,140	27,897	20,559
不良債権回収額	(31,017)	(15,578)	(55,507)	(52,177)
その他の債権に対する減損損失引当金繰入	1,398	584	678	154
	<u>103,462</u>	<u>955,172</u>	<u>1,174,346</u>	<u>1,734,824</u>

A29. 金融投資に対する減損損失引当金繰入/(戻入)、純額

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資				
-ステージ1 12カ月ECL、純額	(3,951)	(20,541)	(1,727)	7,908
-ステージ2 全期間ECL(信用減損なし)、純額	1,291	130	1,450	762
-ステージ3 全期間ECL(信用減損あり)、純額	16,136	(333)	16,390	(3,923)
純額	13,476	(20,744)	16,113	4,747
償却原価で測定する金融投資				
-ステージ1 12カ月ECL、純額	(614)	3,101	2,291	5,871
-ステージ2 全期間ECL(信用減損なし)、純額	823	28,073	77,770	36,368
-ステージ3 全期間ECL(信用減損あり)、純額	30,308	(1,279)	30,091	(3,069)
純額	30,517	29,895	110,152	39,170
	43,993	9,151	126,265	43,917
当行				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資				
-ステージ1 12カ月ECL、純額	(3,978)	(18,283)	(879)	5,728
-ステージ2 全期間ECL(信用減損なし)、純額	(8)	(76)	(40)	(96)
-ステージ3 全期間ECL(信用減損あり)、純額	16,480	(168)	16,390	(3,700)
純額	12,494	(18,527)	15,471	1,932
償却原価で測定する金融投資				
-ステージ1 12カ月ECL、純額	(1,605)	838	245	3,584
-ステージ2 全期間ECL(信用減損なし)、純額	823	17,176	(125,108)	21,544
-ステージ3 全期間ECL(信用減損あり)、純額	30,308	(1,279)	30,091	(3,069)
純額	29,526	16,735	(94,772)	22,059
	42,020	(1,792)	(79,301)	23,991

A30. その他の金融資産に対する減損損失引当金(戻入)/繰入、純額

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
現金及び短期資金				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	725	(5,657)	3,564	(1,612)
純額	<u>725</u>	<u>(5,657)</u>	<u>3,564</u>	<u>(1,612)</u>
金融機関預け金				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(1,854)	(9,572)	(3,907)	3,295
純額	<u>(1,854)</u>	<u>(9,572)</u>	<u>(3,907)</u>	<u>3,295</u>
売戻条件付買入金融資産				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(451)	4,854	1,221	5,777
純額	<u>(451)</u>	<u>4,854</u>	<u>1,221</u>	<u>5,777</u>
再保険資産/再タカフル資産及びその他の 保険債権				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(1,012)	1,211	(23,193)	6,767
純額	<u>(1,012)</u>	<u>1,211</u>	<u>(23,193)</u>	<u>6,767</u>
その他の資産				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	919	(2,723)	(228)	390
-ステージ2 全期間ECL(信用減損なし)	(40)	(29)	3	(12)
-ステージ3 全期間ECL(信用減損あり)	245	5,364	(42,718)	4,239
純額	<u>1,124</u>	<u>2,612</u>	<u>(42,943)</u>	<u>4,617</u>
中央銀行への法定預け金				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(114)	(1,135)	(309)	1,312
純額	<u>(114)</u>	<u>(1,135)</u>	<u>(309)</u>	<u>1,312</u>
	<u>(1,582)</u>	<u>(7,687)</u>	<u>(65,567)</u>	<u>20,156</u>

A30. その他の金融資産に対する減損損失引当金(戻入)/繰入、純額（続き）

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
現金及び短期資金				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(456)	(4,935)	2,758	(2,990)
純額	(456)	(4,935)	2,758	(2,990)
金融機関預け金				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	38	(2,603)	(52)	2,999
純額	38	(2,603)	(52)	2,999
売戻条件付買入金融資産				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	327	4,344	(1,248)	4,503
純額	327	4,344	(1,248)	4,503
その他の資産				
-ステージ3 全期間ECL(信用減損あり)	(110)	4,175	(48,651)	6,332
純額	(110)	4,175	(48,651)	6,332
	(201)	981	(47,193)	10,844

A31. セグメント情報

事業セグメント別状況

当行グループのオペレーティングセグメントは、グループ・地域金融サービス、グループ・グローバル・バンキング及びグループ・保険及びタカフル事業部門である。当行グループでは、当行グループの取締役会及び経営者上層部に提供される情報に基づいて、オペレーティングセグメントを決定し、公表している。

当行グループは、下記の通り、当行グループ内で提供可能なサービス及び商品に基づき、3つのオペレーティングセグメントで構成されている。

(a) グループ・地域金融サービス（「CFS」）

() リテール・バンキング部門

リテール・バンキング部門は、貯蓄預金、定期預金、送金サービス、当座預金、住宅ローンや個人ローンなどの消費者向けローン、割賦金融、ユニット・トラスト、パンカシュアランス商品、クレジットカードなど、地域の個人向けのさまざまな商品及びサービスで構成されている。

() 中小企業（「SME」）向け金融部門

中小企業向け金融部門は、地域の中小企業を対象として提供されているさまざまな商品及びサービスで構成されている。提供されている商品及びサービスには、プロジェクト・ファイナンスなどの長期融資、当座貸越や貿易金融などの短期融資、キャッシュ・マネジメントやカストディアン業務などの手数料ビジネスが含まれている。

() ビジネス・バンキング部門

ビジネス・バンキング部門は、地域の事業会社を対象として提供されているさまざまな商品及びサービスで構成されている。提供されている商品及びサービスには、プロジェクト・ファイナンスなどの長期融資、当座貸越や貿易金融などの短期融資、キャッシュ・マネジメントやカストディアン業務などの手数料ビジネスが含まれている。

(b) グループ・グローバル・バンキング（「GB」）

() グループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケット部門

グループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケット部門は、コーポレート・バンキング及びグローバル・マーケット事業で構成されている。

コーポレート・バンキング部門は、大企業から公共部門に至るまで、地域の法人顧客に向けた、さまざまな商品及びサービスで構成されている。提供している商品及びサービスには、プロジェクト・ファイナンスなどの長期融資、当座貸越や貿易金融などの短期融資、及び手数料サービスが含まれている。

グローバル・マーケット部門は、外国為替、マネーマーケット、デリバティブ、資本市場取引など、資金取引業務やサービスに関連したさまざまな商品及びサービスで構成されている。

A31. セグメント情報(続き)**事業セグメント別状況(続き)****(b)グループ・グローバル・バンキング（「GB」）(続き)****()グループ・投資銀行部門（メイバンクIB及びメイバンク・キム・エン）**

投資銀行部門は、投資銀行業務及び証券仲介業務で構成されている。このセグメントでは、主として大手法人顧客及び金融機関のビジネスニーズへの対応に注力している。顧客向けに提供している商品及びサービスには、コーポレート・アドバイザー業務、債券発行、株式発行、シンジケート方式の買収アドバイザー業務、債務再編アドバイザー業務、株式及び先物売買などがある。

()グループ・資産運用部門

資産運用部門は、個人、法人及び機関投資家といった顧客に対し、さまざまな従来型の投資やイスラム金融型の投資におけるソリューションを提供する、資産及びファンド運用業務を手がけている。

(c)グループ・保険及びタカフル事業部門

保険及びタカフル事業部門は、すべての種目の損害保険及び生命保険の引受業務、オフショアの投資生命保険事業、ジェネラル・タカフル及びファミリー・タカフル事業から構成されている。

[次へ](#)

A31. セグメント情報（続き）

事業セグメント別状況（続き）

	< ===== 事業セグメント ===== >						
	< ===== グループ・グローバル・バンキング ===== >					本部及びその他 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット
2021年6月30日に終了した6カ月間	グループ・地域金融 サービス部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・コーポレート・ バンキング部門及び グローバル・マーケティング部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 投資銀行部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 資産運用部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・保険及び タカフル事業部門 千マレーシア・ リンギット		
受取利息純額							
- 外部	3,483,487	2,131,470	147,467	5	629,882	(465,116)	5,927,195
- セグメント間	-	-	(6,244)	1,168	25,832	(20,756)	-
	3,483,487	2,131,470	141,223	1,173	655,714	(485,872)	5,927,195
受取利息純額	3,483,487	2,131,470	141,223	1,173	655,714	(485,872)	5,927,195
イスラム金融業務(IFS)からの収益	2,151,100	937,275	23,598	-	-	731,523	3,843,496
正味既経過保険料	-	-	-	-	4,695,771	-	4,695,771
その他の営業収益/(損失)	1,432,044	1,085,175	629,345	66,042	(667,289)	(380,065)	2,165,252
営業収益合計	7,066,631	4,153,920	794,166	67,215	4,684,196	(134,414)	16,631,714
保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金	-	-	-	-	(3,764,988)	132,126	(3,632,862)
純営業収益	7,066,631	4,153,920	794,166	67,215	919,208	(2,288)	12,998,852
一般管理費	(3,699,216)	(959,482)	(507,246)	(65,138)	(511,362)	-	(5,742,444)
減損損失前営業利益/(損失)	3,367,415	3,194,438	286,920	2,077	407,846	(2,288)	7,256,408
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金(繰入)/戻入、純額	(622,424)	(755,871)	450	(102)	2,925	-	(1,375,022)
金融投資に係る減損損失引当金戻入/(繰入)、純額	286	(123,427)	-	-	(3,124)	-	(126,265)
その他の金融資産に対する減損損失引当金(繰入)/戻入、純額	(24)	48,330	(6,255)	(4)	23,520	-	65,567
営業利益/(損失)	2,745,253	2,363,470	281,115	1,971	431,167	(2,288)	5,820,688
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分	-	74,901	1,966	-	-	-	76,867
税金及びザカート前利益/(損失)	2,745,253	2,438,371	283,081	1,971	431,167	(2,288)	5,897,555
税金及びザカート							(1,436,630)
税金及びザカート控除後利益							4,460,925
非支配持分							(106,269)
当行株主に帰属する当期利益							4,354,656

A31. セグメント情報（続き）
事業セグメント別状況（続き）

< ===== 事業セグメント ===== >							
< ===== グループ・グローバル・バンキング ===== >							
	グループ・コボレート・	グループ・コボレート・	グループ・コボレート・	グループ・コボレート・	グループ・コボレート・	グループ・コボレート・	グループ・コボレート・
	グループ・地域金融	グループ・地域金融	グループ・地域金融	グループ・地域金融	グループ・地域金融	グループ・地域金融	グループ・地域金融
	サービス部門	サービス部門	サービス部門	サービス部門	サービス部門	サービス部門	サービス部門
	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2021年 6 月30日に終了した 6 カ月間（続き）							合計
その他の営業収益の主な内訳:							
手数料収益							
コミッション	680,916	47,469	46,540	19,512	-	(80,966)	713,471
サービス料及び手数料	453,039	168,402	145,242	87,146	24,609	(65,454)	812,984
引受手数料	-	5,347	23,566	-	-	-	28,913
仲介業務収益	-	-	285,545	-	-	-	285,545
貸出金及びその他の債権に係る手数料	33,530	54,537	406	-	-	(5,255)	83,218
IBS業務に係る手数料収益	152,608	59,421	23,560	-	-	5,197	240,786
一般管理費の主な内訳:							
有形固定資産の減価償却費	(97,612)	(25,077)	(17,465)	(251)	(9,931)	-	(150,336)
使用権資産の減価償却費	(135,400)	(49,586)	(27,950)	(2,260)	(11,828)	-	(227,024)
無形資産の償却費	(100,688)	(27,439)	(2,328)	-	(15,439)	-	(145,894)

A31. セグメント情報（続き）

事業セグメント別状況（続き）

2020年6月30日に終了した6カ月間	< ===== 事業セグメント ===== >						
	< ===== グループ・グローバル・バンキング ===== >					本部及びその他 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット
	グループ・地域金融 サービス部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・コボレート・ バンキング部門及び グローバル・マーケティング部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 投資銀行部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 資産運用部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・保険及び タカフル事業部門 千マレーシア・ リンギット		
受取利息純額							
- 外部	3,580,252	2,065,430	116,134	69	576,812	(729,678)	5,609,019
- セグメント間	-	-	(347)	1,215	54,697	(55,565)	-
	3,580,252	2,065,430	115,787	1,284	631,509	(785,243)	5,609,019
受取利息純額	3,580,252	2,065,430	115,787	1,284	631,509	(785,243)	5,609,019
イスラム金融業務（IBS）からの収益	1,467,766	765,705	26,154	-	-	612,772	2,872,397
正味既経過保険料	-	-	-	-	3,685,821	-	3,685,821
その他の営業収益	1,270,555	1,710,690	476,513	50,505	230,649	21,619	3,760,531
営業収益合計	6,318,573	4,541,825	618,454	51,789	4,547,979	(150,852)	15,927,768
保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金	-	-	-	-	(3,687,924)	132,872	(3,555,052)
純営業収益	6,318,573	4,541,825	618,454	51,789	860,055	(17,980)	12,372,716
一般管理費	(3,698,588)	(937,333)	(493,413)	(54,644)	(464,368)	-	(5,648,346)
減損損失前営業利益/(損失)	2,619,985	3,604,492	125,041	(2,855)	395,687	(17,980)	6,724,370
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入、純額	(925,760)	(1,766,130)	(4,941)	-	(4,103)	-	(2,700,934)
金融投資に係る減損損失引当金(繰入)/戻入、純額	(21)	(43,977)	(152)	-	233	-	(43,917)
その他の金融資産に対する減損損失引当金戻入/(繰入)、純額	33	(12,490)	(252)	(4)	(8,994)	1,551	(20,156)
営業利益/(損失)	1,694,237	1,781,895	119,696	(2,859)	382,823	(16,429)	3,959,363
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分	-	93,350	788	-	-	-	94,138
税金及びザカート前利益/(損失)	1,694,237	1,875,245	120,484	(2,859)	382,823	(16,429)	4,053,501
税金及びザカート							(984,973)
税金及びザカート控除後利益							3,068,528
非支配持分							(77,146)
当行株主に帰属する当期利益							2,991,382

A31. セグメント情報（続き）
事業セグメント別状況（続き）

2020年6月30日に終了した6カ月間（続き）	< ===== 事業セグメント ===== >						
	< ===== グループ・グローバル・バンキング ===== >					本部及びその他 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット
	グループ・地域金融 サービス部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・コボレート・ バンキング部門及び グローバル・マーケティング部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 投資銀行部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 資産運用部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・保険及び タカフル事業部門 千マレーシア・ リンギット		
その他の営業収益の主な内訳:							
手数料収益							
コミッション	559,797	54,890	9,262	19,911	-	(65,961)	577,899
サービス料及び手数料	393,017	146,486	76,454	34,672	1,031	(25,666)	625,994
引受手数料	-	6,789	3,009	-	-	-	9,798
仲介業務収益	-	-	233,598	-	-	-	233,598
貸出金及びその他の債権に係る手数料	39,510	58,622	606	-	-	299	99,037
IBS業務に係る手数料収益	151,942	47,745	15,817	-	-	(19,426)	196,078
一般管理費の主な内訳:							
有形固定資産の減価償却費	(98,712)	(26,658)	(19,149)	(268)	(9,227)	-	(154,014)
使用権資産の減価償却費	(145,549)	(37,846)	(27,453)	(1,276)	(11,331)	-	(223,455)
無形資産の償却費	(94,889)	(26,230)	(6,178)	(123)	(12,891)	-	(140,311)

[次へ](#)

A32. 再評価された資産の帳簿価額

当行グループ及び当行の有形固定資産は、減価償却累計額及び（該当する場合は）減損損失累計額控除後の取得原価で計上されている。2020年12月31日に終了した前会計年度の監査済財務書類から繰り越された固定資産の評価に変更はなかった。

A33. 後発事象

注記A8() 及びB6に開示された事象以外に報告日以降に生じた重要な後発事象はなかった。

A34. 当行グループの構成の変更

2021年6月30日に終了した中間会計期間において、当行グループの構成に重要な変更はなかった。

A35. コミットメント及び偶発事象

通常の業務において当行グループ及び当行は様々なコミットメントを行っており、顧客に対する法的リコースを伴う偶発債務を負うことがある。これらの取引の結果、予想される重大な損失はない。

各報告日における当行グループ及び当行のリスク加重エクスポージャーは以下の通りである。

	2021年6月30日現在			2020年12月31日現在		
	コミットメント合計 千マレーシア・リンギット	信用相当額* 千マレーシア・リンギット	リスク加重額* 千マレーシア・リンギット	コミットメント合計 千マレーシア・リンギット	信用相当額* 千マレーシア・リンギット	リスク加重額* 千マレーシア・リンギット
当行グループ						
偶発債務						
債務履行引受契約	10,962,297	9,650,648	7,080,468	10,940,746	9,408,679	6,667,779
特定の取引に係る偶発項目	20,155,694	7,488,126	5,084,931	14,338,122	6,901,117	4,717,191
短期の自己清算型貿易関連 偶発事象	4,588,019	1,049,877	681,283	2,788,743	715,672	419,682
引受契約に基づく債務	72,214	-	-	-	-	-
	35,778,224	18,188,651	12,846,682	28,067,611	17,025,468	11,804,652
コミットメント						
取消不能の信用供与契約:						
- 1年以内	121,435,649	13,720,004	4,391,767	128,087,058	13,806,768	4,562,969
- 1年超	41,250,266	52,829,837	27,285,595	39,195,697	55,482,054	26,617,515
	162,685,915	66,549,841	31,677,362	167,282,755	69,288,822	31,180,484
その他のコミットメント 及び偶発事象	10,365,206	659,392	373,374	5,728,133	986,226	371,132
信用関連のコミットメント 及び偶発事象合計	208,829,345	85,397,884	44,897,418	201,078,499	87,300,516	43,356,268
デリバティブ金融商品						
外国為替関連契約:						
- 1年未満	463,902,021	5,865,652	1,363,297	544,059,314	8,706,925	1,529,800
- 1年以上5年未満	29,019,173	2,413,964	1,225,697	30,742,568	2,619,230	1,315,007
- 5年以上	8,218,513	1,221,407	644,514	6,596,360	958,528	335,022
	501,139,707	9,501,023	3,233,508	581,398,242	12,284,683	3,179,829
金利関連契約:						
- 1年未満	177,127,430	73,038	25,905	186,361,268	72,980	32,188
- 1年以上5年未満	258,967,173	1,432,295	838,376	221,399,527	1,504,867	852,397
- 5年以上	124,052,391	2,493,303	1,650,209	109,622,660	2,168,784	1,403,142
	560,146,994	3,998,636	2,514,490	517,383,455	3,746,631	2,287,727

A35. コミットメント及び偶発事象(続き)

下記の報告日現在の当行グループ及び当行のリスク加重エクスポージャーは以下の通りである。(続き)

	2021年6月30日現在			2020年12月31日現在		
	コミットメント 合計 千マレーシア・ リンギット	信用相当額* 千マレーシア・ リンギット	リスク加重額* 千マレーシア・ リンギット	コミットメント 合計 千マレーシア・ リンギット	信用相当額* 千マレーシア・ リンギット	リスク加重額* 千マレーシア・ リンギット
当行グループ(続き)						
デリバティブ金融商品(続き)						
エクイティ及びコモディ ティ関連契約:						
- 1年未満	6,187,238	328,200	171,214	5,383,643	245,702	101,334
- 1年以上5年未満	1,686,122	140,422	62,943	65,390	13,880	12,253
	7,873,360	468,622	234,157	5,449,033	259,582	113,587
信用関連契約:						
- 1年未満	74,610	-	-	75,360	-	-
- 1年以上5年未満	10,000	-	-	-	-	-
	84,610	-	-	75,360	-	-
トレジャリー関連のコミッ トメント及び偶発事象 合計	1,069,244,671	13,968,281	5,982,155	1,104,306,090	16,290,896	5,581,143
コミットメント及び偶発事 象合計	1,278,074,016	99,366,165	50,879,573	1,305,384,589	103,591,412	48,937,411
	2021年6月30日現在			2020年12月31日現在		
	コミットメント 合計 千マレーシア・ リンギット	信用相当額* 千マレーシア・ リンギット	リスク加重額* 千マレーシア・ リンギット	コミットメント 合計 千マレーシア・ リンギット	信用相当額* 千マレーシア・ リンギット	リスク加重額* 千マレーシア・ リンギット
当行						
偶発債務						
債務履行引受契約	7,322,503	6,132,235	4,489,896	7,466,677	6,041,129	3,990,003
特定の取引に係る偶発項目	16,612,786	5,733,858	3,850,761	11,506,071	5,475,238	3,806,228
短期の自己清算型貿易関連 偶発事象	3,780,974	840,451	517,936	2,092,315	478,043	223,572
	27,716,263	12,706,544	8,858,593	21,065,063	11,994,410	8,019,803
コミットメント						
取消不能の信用供与契約:						
- 1年以内	76,459,944	6,634,458	1,692,139	83,806,525	6,955,310	1,897,783
- 1年超	20,313,381	30,014,568	17,697,181	17,828,264	34,888,721	18,252,090
	96,773,325	36,649,026	19,389,320	101,634,789	41,844,031	20,149,873
その他のコミットメント及 び偶発事象	6,121,033	1,021,602	445,845	3,294,116	1,855,264	545,148
信用関連のコミットメント 及び偶発事象合計	130,610,621	50,377,172	28,693,758	125,993,968	55,693,705	28,714,824
デリバティブ金融商品						
外国為替関連契約:						
- 1年未満	455,803,559	5,617,887	1,211,753	545,723,025	8,429,411	1,377,250
- 1年以上5年未満	28,257,968	2,200,676	1,068,352	29,651,424	2,470,975	1,146,587
- 5年以上	7,260,897	1,076,417	489,984	5,673,466	828,538	203,181
	491,322,424	8,894,980	2,770,089	581,047,915	11,728,924	2,727,018

A35. コミットメント及び偶発事象(続き)

下記の報告日現在の当行グループ及び当行のリスク加重エクスポージャーは以下の通りである。(続き)

	2021年6月30日現在			2020年12月31日現在		
当行(続き)	コミットメント合計	信用相当額*	リスク加重額*	コミットメント合計	信用相当額*	リスク加重額*
デリバティブ金融商品	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット
金利関連契約:						
- 1年未満	176,834,914	71,592	28,589	185,732,911	72,296	31,673
- 1年以上5年未満	259,207,165	1,243,899	661,810	221,822,106	1,323,301	680,533
- 5年以上	123,954,883	2,491,572	1,648,521	109,622,660	2,168,036	1,402,488
	559,996,962	3,807,063	2,338,920	517,177,677	3,563,633	2,114,694
エクイティ及びコモディティ関連契約:						
- 1年未満	3,062,813	328,200	171,214	1,499,709	154,587	66,484
- 1年以上5年未満	1,686,122	140,422	62,943	65,390	13,880	12,533
	4,748,935	468,622	234,157	1,565,099	168,467	78,737
信用関連契約:						
- 1年未満	74,610	-	-	75,360	-	-
- 1年以上5年未満	10,000	-	-	-	-	-
	84,610	-	-	75,360	-	-
トレジャリー関連のコミットメント及び偶発事象合計	1,056,152,931	13,170,665	5,343,166	1,099,866,051	15,461,024	4,920,449
コミットメント及び偶発事象合計	1,186,763,552	63,547,837	34,036,924	1,225,860,019	71,154,729	33,635,273

* 信用相当額及びリスク加重額は、それぞれBNMの規定するクレジット・コンバージョン・ファクター及びリスク・ウェイトを使用して算出している。

() 当行グループ及び当行のデリバティブは、以下の通り、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされている。

市場リスク

デリバティブ取引における市場リスクは、株式、金利、外国為替換算レート、クレジット・スプレッド、コモディティ、又はその他インデックスなどの原資産の価格変動によりこれらの契約の価値が被る潜在的損失のことである。想定元本額もしくは契約金額は、報告日における未決済の取引残高として位置付けられているものであり、リスク量を表すものではない。市場リスクはオンバランスとオフバランスのポジションが相殺されることにより軽減できる場合がある。

信用リスク

信用リスクは、当行及び特定の子会社がカウンターパーティーの債務不履行により予定の利益を回収できなくなる可能性から生じる。当行グループの信用リスクは、収益契約の再構築コストの観点から測定すると、2021年6月30日現在において16,163.6百万マレーシア・リンギット(2020年12月31日現在: 19,908.0百万マレーシア・リンギット)であったが、この金額は契約期間にわたり主に満期日と市場レート又は価格の変動との相関により増減する。

流動性リスク

デリバティブ取引における流動性リスクとは、デリバティブ・ポジションが適時に清算できなくなることを指す。流動性リスクに係るエクスポージャーは、原資産が幅広く市場で取引されているデリバティブを締結することで低減される。

A35. コミットメント及び偶発事象(続き)

()以下については、前期末からの変更はない。

- (a) 締結したデリバティブ金融契約のタイプ、当該契約の締結に関する合理性及びこれらの契約から得られるであろう期待利益
- (b) これらのデリバティブ金融契約に伴うリスクの軽減及び抑制のためのリスク管理方針
- (c) 関連する会計方針

A36. 自己資本充実度

(a) 自己資本充実度フレームワーク

- () マレーシア中央銀行(「BNM」)は、2020年12月9日、従来型の銀行及びイスラム銀行に対し、それぞれ自己資本及び自己資本比率の計算に関する自己資本充実度フレームワーク(資本構成)及びイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク(資本構成)を公表した。すべての金融機関は、以下の最低所要自己資本比率を常に維持しなければならない。

普通株式等Tier 1 (CET1) 自己資本比率	Tier 1 自己資本比率	総自己資本比率
4.5% [*]	6.0%	8.0%

^{*} さらに、BNM(マレーシア中央銀行)はリスクアセット(以下、「RWA」という。)合計の2.5%の資本保全バッファ及びRWA合計の0%から2.5%の幅のカウンターシクリカル資本バッファを導入している。

- () リスクアセット合計は、2019年5月3日にBNM(マレーシア中央銀行)が公表した従来型の銀行向け自己資本充実度フレームワーク(パーゼル - RWA)及びイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク(RWA)双方に従って、信用RWA、市場RWA、オペレーショナルRWA及び大口信用供与規制要件の合計で算出される。

普通株式等Tier 1 自己資本、Tier 1 自己資本及び総自己資本の計算で控除されるエクスポージャーは、RWA算出における資本賦課の対象とならない。

(b) 自己資本比率の遵守と適用

当行グループ及び当行の自己資本比率は、2020年12月9日に公表されたBNM(マレーシア中央銀行)の自己資本充実度フレームワーク(資本構成)及び2019年5月3日に公表された自己資本充実度フレームワーク(パーゼル - RWA)に基づいて算出されている。RWAの合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 内部格付手法及び標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク

エンティティ・レベルでは、当行グループの銀行子会社の自己資本比率の計算は以下の通りである。

- () メイバンク・イスラミック・ベルハッドの自己資本比率は2020年12月9日に公表されたBNM(マレーシア中央銀行)のイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク(資本構成)及び2019年5月3日に公表されたイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク(RWA)に基づいて算出されている。RWAの合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 内部格付手法及び標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク

2021年12月31日に終了する当会計年度の普通株式等Tier 1、Tier 1、総自己資本の最低自己資本要件は、RWA合計の4.5%、6.0%及び8.0%である(2020年：RWA合計の4.5%、6.0%及び8.0%)。

A36. 自己資本充実度（続き）

(b) 自己資本比率の遵守と適用（続き）

- () メイバンク・インベストメント・バンク・ベルハッドの自己資本比率は、2020年12月9日に公表されたBNM（マレーシア中央銀行）の自己資本充実度フレームワーク（資本構成）及び2019年5月3日に公表された自己資本充実度フレームワーク（バーゼル - RWA）に基づいて算出されている。RWAの合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 標準的手法に従った信用リスク
(B) 標準的手法に従った市場リスク
(C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク

2021年12月31日に終了する会計年度の普通株式等Tier 1、Tier 1、総自己資本の最低自己資本要件は、RWA合計の4.5%、6.0%及び8.0%である（2020年：RWA合計の4.5%、6.0%及び8.0%）。

- () ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケーの自己資本比率の算出は、バーゼル 資本規制に基づいた、現地における要件に基づいている。RWAの合計は以下の手法に基づいて算出される。

- (A) 標準的手法に従った信用リスク
(B) 標準的手法に従った市場リスク
(C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク

2021年12月31日に終了する会計年度のピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケーの最低自己資本要件は、RWA合計の9%から10%未満である（2020年：9%から10%未満）。

- () メイバンク・シンガポール・リミテッドの自己資本比率の算出は、シンガポール金融管理局（「MAS」）公表の2012年9月14日付MAS通達第637号（最新更新日は2021年6月14日）に基づいている。RWAの合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 内部格付手法及び標準的手法に従った信用リスク
(B) 標準的手法に従った市場リスク
(C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク
(D) MAS通達第637号に基づくRWAに対する資本フロアの調整

2021年12月31日に終了する会計年度の普通株式等Tier 1、Tier 1、総自己資本の最低自己資本要件は、RWA合計の6.5%、8.0%及び10.0%である（2020年：RWA合計の6.5%、8.0%及び10.0%）。

(c) 当行グループ及び当行の自己資本比率

2013年6月30日の発効以降、DRPにおける普通株式等Tier 1 自己資本の計算において控除されるべき配当予定額は、2013年5月8日に公表されたBNM（マレーシア中央銀行）の自己資本充実度フレームワーク（資本構成）に係る実務指針（「実務指針」）によって決定されなければならない。当該実務指針に基づく、DRPの下で配当金の一部（選択可能部分）が再投資される場合、普通株式等Tier 1 自己資本の計算において控除される配当予定額は、以下の場合に減少する可能性がある。

- () 配当の選択可能部分を再投資することについて、株主から取消不能な同意を書面で入手している場合、又は
() 取消不能な同意が書面で提供されておらず、その額の対象となる直近3年間の受入率の平均が、配当の選択可能部分の合計の50%を超えない場合

A36. 自己資本充実度（続き）

(c) 当行グループ及び当行の自己資本比率（続き）

2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間について、当行は普通株式一株当たり14.0マレーシア・センの現金配当と14.0マレーシア・センの選択可能部分からなる28.0マレーシア・センの第1回シングルTier中間配当を提案した。この選択可能部分はDRPに従い普通株式新株に再投資することが可能である。

2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の自己資本比率を算出するにあたって、第1回シングルTier中間配当案は普通株式等Tier1自己資本の計算から控除されていない。

上記に基づく当行グループ及び当行の自己資本比率は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日	2020年 12月31日	2021年 6月30日	2020年 12月31日
普通株式等Tier1自己資本比率	14.643%	15.313%	14.602%	15.581%
Tier1自己資本比率	15.330%	16.026%	15.324%	16.343%
総自己資本比率	<u>17.861%</u>	<u>18.683%</u>	<u>17.535%</u>	<u>18.639%</u>

A36. 自己資本充実度（続き）

(d) 資本の構成

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
普通株式等Tier 1 自己資本				
株式資本	51,713,981	48,280,355	51,713,981	48,280,355
利益剰余金 ¹	20,722,550	22,447,018	14,566,091	16,811,402
その他準備金 ¹	3,512,170	5,473,660	4,620,635	6,201,908
適格非支配持分	115,964	115,096	-	-
規制上の調整前の普通株式等Tier 1 自己資本	76,064,665	76,316,129	70,900,707	71,293,665
控除：普通株式等Tier 1 自己資本に係る規制上の調整項目：	(13,492,149)	(14,517,207)	(34,487,581)	(34,477,624)
繰延税金資産	(1,044,900)	(722,391)	(257,881)	-
のれん	(5,576,492)	(5,536,309)	(81,015)	(81,015)
その他の無形資産	(881,016)	(955,439)	(310,319)	(306,645)
「その他の包括利益を通じて公正価値で測定するもの」に分類される金融商品に係る利得	(613,782)	(1,922,600)	(321,372)	(1,279,711)
規制準備金	(2,110,093)	(2,115,455)	(1,495,500)	(1,495,500)
非連結の金融機関及び保険/タカフル事業体の普通株式への投資額 ²	(3,265,866)	(3,265,013)	(32,021,494)	(31,314,753)
普通株式等Tier 1 自己資本合計	62,572,516	61,798,922	36,413,126	36,816,041
その他Tier 1 自己資本				
資本性証券	2,800,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000
第三者が保有する適格普通株式等Tier 1 及びその他Tier 1 資本調達手段	134,624	78,005	-	-
控除：非連結の金融機関及び保険/タカフル事業体の資本調達手段への投資額	-	-	(1,000,000)	(1,000,000)
Tier 1 自己資本合計	65,507,140	64,676,927	38,213,126	38,616,041
Tier 2 自己資本				
劣後債務	8,775,274	8,707,823	8,775,274	8,707,823
第三者の保有する適格普通株式等Tier 1 並びにその他Tier 1 及びTier 2 資本調達手段	36,905	41,209	-	-
一般引当金 ³	271,495	332,053	40,900	69,408
期待損失の合計額を超える引当金合計の超過額	1,728,408	1,640,773	1,072,053	989,825
控除：非連結の金融機関及び保険/タカフル事業体の資本調達手段への投資額	-	-	(4,374,741)	(4,341,683)
Tier 2 資本合計	10,812,082	10,721,858	5,513,486	5,425,373
資本合計	76,319,222	75,398,785	43,726,612	44,041,414

¹ 当行グループについて、保険及びタカフル事業からの利益剰余金及びその他準備金の額は含まない。当行について、メイバンク・インターナショナル（L）リミテッドの利益剰余金及びその他準備金の額を含む。

² 当行について、規制上の調整項目には、子会社及び関連会社への投資原価を含むが、(i)事業、資産及び負債が当行に譲渡された、ミフィン・ベルハッドの18,994,000マレーシア・リンギット、()メイバンク・インターナショナル（L）リミテッドの10,289,000マレーシア・リンギット、並びに()資産が当行のRWAに含まれる、メイバンク・アグロ・ファンド・スンディリアン・ベルハッドの57,000マレーシア・リンギットを除く。当行グループについて、規制上の調整項目には、保険/タカフル事業体における関連会社及び投資の簿価を含む。

³ 信用リスクの標準的手法に基づき決定された、信用減損をしないエクスポージャーに起因するものうち、12カ月及び全期間の予想信用損失モデル及び規制準備金と同額で測定された損失引当金をいう。

当行グループの自己資本比率は、当行及び子会社の連結勘定残高から算出されるが、保険及びタカフル事業体及び関連会社への投資は含まない。

A36. 自己資本充実度（続き）

(d) 資本の構成（続き）

当行の自己資本比率は、当行及び完全所有の海外銀行子会社である、メイバンク・インターナショナル（L）リミテッド（上記に開示されている、ミフィン・ベルハッド、メイバンク・インターナショナル（L）リミテッド及びメイバンク・アグロ・ファンド・スンディリアン・ベルハッドへの投資以外の子会社及び関連会社への投資を除く。）から導出されている。

(e) 当行の銀行子会社の自己資本比率は以下の通りである。

	メイバンク・ イスラミック・ ベルハッド	メイバンク・ インベストメン ト・バンク・ベル ハッド	ビーティー・バン ク・メイバンク・ インドネシア・ ティービーケー	メイバンク・ シンガポール・ リミテッド
2021年6月30日現在				
普通株式等Tier 1 自己資本比率	14.180%	23.280%	-	13.465%
Tier 1 自己資本比率	15.390%	23.280%	-	13.465%
総自己資本比率	<u>18.329%</u>	<u>25.234%</u>	<u>26.274%</u>	<u>17.595%</u>
2020年12月31日現在				
普通株式等Tier 1 自己資本比率	13.773%	20.560%	-	13.906%
Tier 1 自己資本比率	15.030%	20.560%	-	13.906%
総自己資本比率	<u>18.063%</u>	<u>22.906%</u>	<u>24.312%</u>	<u>18.049%</u>

A36. 自己資本充実度（続き）

(f) 主要リスク・カテゴリー別のリスクアセットの内訳は以下の通りである。

2021年6月30日現在

	当行グループ 千マレーシア・ リンギット	当行 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ イスラミック・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ インベストメン ト・バンク・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	ビーティー・バ ンク・メイバン ク・インドネシ ア・ティービー ケー 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・シ ンガポール・リ ミテッド 千マレーシア・ リンギット
標準的手法エクスポージャー スケーリング・ファクター 考慮後の内部格付手法 エクスポージャー	56,948,057	22,129,299	2,473,969	780,981	23,366,588	15,569,390
信用評価調整	288,068,014	178,675,530	90,188,156	-	-	26,254,571
信用リスクのリスクアセット 合計	-	-	-	-	-	43,859
メイバンク及び投資口座によ て吸収される信用リスクのリス クアセット合計*	345,016,071	200,804,829	92,662,125	780,981	23,366,588	41,867,820
市場リスクのリスクアセット 合計	-	-	(20,415,619)	-	-	-
オペレーショナル・リスクの リスクアセット合計	38,138,348	26,856,675	1,315,359	1,132,531	625,969	10,918
リスクアセット合計	44,152,721	21,708,188	9,074,076	908,639	5,597,966	3,607,792
リスクアセット合計	427,307,140	249,369,692	82,635,941	2,822,151	29,590,523	45,486,530

2020年12月31日現在

	当行グループ 千マレーシア・ リンギット	当行 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ イスラミック・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ インベストメン ト・バンク・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	ビーティー・バ ンク・メイバン ク・インドネシ ア・ティービー ケー 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・シ ンガポール・リ ミテッド 千マレーシア・ リンギット
標準的手法エクスポージャー スケーリング・ファクター 考慮後の内部格付手法エク スポージャー	53,316,271	23,834,870	2,970,081	869,357	25,386,773	14,807,055
信用評価調整	273,462,139	164,970,850	80,460,704	-	-	25,869,467
信用リスクのリスクアセット合 計	-	-	-	-	-	87,700
メイバンク及び投資口座によ て吸収される信用リスクのリス クアセット合計*	326,778,410	188,805,720	83,430,785	869,357	25,386,773	40,764,222
市場リスクのリスクアセット 合計	-	-	(13,537,755)	-	-	-
オペレーショナル・リスクの リスクアセット合計	33,242,608	25,137,353	1,177,963	873,356	865,980	15,082
リスクアセット合計	43,557,083	22,345,775	8,499,254	836,086	5,672,335	3,528,759
リスクアセット合計	403,578,101	236,288,848	79,570,247	2,578,799	31,925,088	44,308,063

* 投資口座に関するBNM（マレーシア中央銀行）の方針に従って、投資口座（制限のない投資口座と制限付投資口座）による資金に係る信用リスクのリスクアセットは、当行の自己資本比率の計算からは除外されている。

A37. デリバティブ金融商品

下表は、トレーディング目的デリバティブとヘッジ目的保有金融商品の契約金額又は元本金額を要約したものである。これらの商品の元本金額又は契約金額は、報告日現在の取引残高規模を表しており、リスク金額を表したのではない。

デリバティブ金融商品は総額ポジションで再評価され、未実現利得又は損失は「デリバティブ金融商品」の資産と負債にそれぞれ反映されている。

2021年6月30日現在	当行グループ			当行		
	<----- 公正価値 ----->			<----- 公正価値 ----->		
	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット
トレーディング目的デリバティブ						
外国為替関連契約						
通貨先渡取引:						
- 1年未満	61,044,159	353,819	(303,863)	44,115,987	235,065	(204,796)
- 1年以上3年以内	1,533,548	36,678	(20,363)	1,319,031	36,678	(20,363)
- 3年超	4,528,683	28,790	(19,825)	3,338,891	28,790	(19,825)
	67,106,390	419,287	(344,051)	48,773,909	300,533	(244,984)
通貨スワップ:						
- 1年未満	377,480,755	1,701,689	(1,563,376)	387,521,871	1,702,355	(1,567,906)
通貨スポット:						
- 1年未満	4,743,910	4,138	(7,960)	4,494,793	4,161	(5,293)
通貨オプション:						
- 1年未満	6,270,191	41,272	(15,531)	6,311,693	41,136	(13,872)
- 1年以上3年以内	879,191	49,286	(106,087)	1,999,952	49,286	(80,244)
	7,149,382	90,558	(121,618)	8,311,645	90,422	(94,116)
クロスカレンシー金利スワップ ¹ :						
- 1年未満	10,023,691	208,929	(171,414)	9,019,900	197,901	(165,550)
- 1年以上3年以内	13,412,074	264,943	(350,361)	12,269,750	235,731	(332,655)
- 3年超	11,162,693	318,717	(107,598)	10,869,744	309,083	(103,943)
	34,598,458	792,589	(629,373)	32,159,394	742,715	(602,148)
金利関連契約						
金利スワップ ² :						
- 1年未満	165,877,450	821,497	(1,033,901)	165,917,020	820,096	(1,032,239)
- 1年以上3年以内	117,318,858	973,190	(1,034,379)	117,553,493	965,516	(1,027,567)
- 3年超	217,071,691	7,121,074	(5,615,836)	217,187,093	7,227,608	(5,668,249)
	500,267,999	8,915,761	(7,684,116)	500,657,606	9,013,220	(7,728,055)
金利先物:						
- 1年未満	10,601,659	2,347,174	(2,311,794)	10,269,574	2,347,138	(2,311,634)
- 1年以上3年以内	35,491,053	18,772	(7,809)	35,283,500	18,720	(7,809)
	46,092,712	2,365,946	(2,319,603)	45,553,074	2,365,858	(2,319,443)
金利オプション:						
- 1年未満	25,671	-	(55)	25,670	-	(55)
- 1年以上3年以内	1,532,862	19,145	(12)	1,532,862	19,145	(12)
- 3年超	10,866,222	1,514,126	(2,045,219)	10,866,222	1,514,126	(2,045,219)
	12,424,755	1,533,271	(2,045,286)	12,424,754	1,533,271	(2,045,286)

A37. デリバティブ金融商品（続き）

	当行グループ			当行		
	<----- 公正価値 ----->			<----- 公正価値 ----->		
	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット
2021年6月30日現在（続き）						
トレーディング目的デリバティブ （続き）						
エクイティ関連契約						
指数先物						
- 1年未満	44,346	-	(139)	44,346	-	(139)
エクイティオプション:						
- 1年未満	2,015,682	146,712	(100,179)	-	-	-
エクイティスワップ:						
- 1年未満	1,108,743	32,126	(88,699)	-	-	-
コモディティ関連契約						
コモディティオプション:						
- 1年未満	1,793,898	92,251	(92,251)	1,793,898	92,251	(92,251)
- 1年以上3年以内	1,655,253	96,434	(96,434)	1,655,253	96,434	(96,434)
	3,449,151	188,685	(188,685)	3,449,151	188,685	(188,685)
コモディティスワップ:						
- 1年未満	1,224,569	106,972	(106,192)	1,224,569	106,972	(106,192)
- 1年以上3年以内	30,869	1,864	(1,503)	30,869	1,864	(1,503)
	1,255,438	108,836	(107,695)	1,255,438	108,836	(107,695)
信用関連契約						
クレジット・デフォルト・スワップ						
- 1年未満	74,610	423	(35)	74,610	423	(35)
- 1年以上3年以内	10,000	129	-	10,000	129	-
	84,610	552	(35)	84,610	552	(35)
ヘッジ目的デリバティブ						
外国為替関連契約						
クロスカレンシー金利スワップ ¹ :						
- 1年未満	4,339,315	34,422	(31,975)	4,339,315	34,422	(31,975)
- 1年以上3年以内	3,658,091	158,311	(64,509)	3,658,091	158,311	(64,509)
- 3年超	2,063,406	69,297	(25,065)	2,063,406	69,297	(25,065)
	10,060,812	262,030	(121,549)	10,060,812	262,030	(121,549)
金利関連契約						
金利スワップ ² :						
- 1年未満	622,650	7,396	(3,698)	622,650	7,396	(3,698)
- 1年以上3年以内	83,020	-	(251)	83,020	-	(251)
- 3年超	655,858	50,936	(1,211)	655,858	50,936	(1,211)
	1,361,528	58,332	(5,160)	1,361,528	58,332	(5,160)
MFRS第132号に基づく ネットインゴ効果	-	(456,944)	456,944	-	(452,001)	452,001
合計	1,069,244,671	16,163,568	(14,870,580)	1,056,152,931	15,918,969	(14,578,493)

A37. デリバティブ金融商品（続き）

2020年12月31日現在	当行グループ			当行		
	<----- 公正価値 ----->			<----- 公正価値 ----->		
	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット
トレーディング目的デリバティブ						
外国為替関連契約						
通貨先渡取引:						
- 1年未満	41,389,068	237,115	(680,895)	28,410,818	186,133	(595,247)
- 1年以上3年以内	1,280,097	57,707	(51,623)	1,156,198	57,707	(51,623)
- 3年超	3,824,022	18,398	(114,482)	2,811,973	18,399	(114,482)
	46,493,187	313,220	(847,000)	32,378,989	262,239	(761,352)
通貨スワップ:						
- 1年未満	481,879,831	4,494,746	(4,498,757)	496,973,717	4,659,177	(4,491,525)
- 1年以上3年以内	320,901	-	(32)	320,901	-	(32)
	482,200,732	4,494,746	(4,498,789)	497,294,618	4,659,177	(4,491,557)
通貨スポット:						
- 1年未満	3,080,992	22,698	(11,278)	3,126,492	12,349	(11,070)
通貨オプション:						
- 1年未満	6,254,401	51,265	(52,737)	6,282,615	51,198	(52,690)
- 1年以上3年以内	993,461	39,997	(104,402)	1,716,514	39,997	(75,716)
	7,247,862	91,262	(157,139)	7,999,129	91,195	(128,406)
クロスカレンシー金利スワップ ¹ :						
- 1年未満	8,209,260	238,581	(254,225)	7,683,621	226,756	(244,675)
- 1年以上3年以内	15,768,295	382,221	(425,017)	14,460,192	324,557	(410,212)
- 3年超	9,639,761	435,795	(274,694)	9,346,721	414,137	(274,433)
	33,617,316	1,056,597	(953,936)	31,490,534	965,450	(929,320)
金利関連契約						
金利スワップ ² :						
- 1年未満	162,613,631	862,776	(864,853)	162,628,000	860,387	(862,676)
- 1年以上3年以内	123,186,294	1,294,699	(1,989,367)	123,489,360	1,286,580	(1,984,052)
- 3年超	193,156,912	9,172,516	(7,253,272)	193,276,425	9,132,520	(7,250,276)
	478,956,837	11,329,991	(10,107,492)	479,393,785	11,279,487	(10,097,004)
金利先物:						
- 1年未満	23,722,391	1,690,975	(1,654,652)	23,079,665	1,690,975	(1,653,793)
金利オプション:						
- 1年未満	25,246	-	(111)	25,246	-	(111)
- 1年以上3年以内	3,010,667	32,306	(5,325)	3,010,667	32,306	(5,325)
- 3年超	10,603,809	1,523,065	(1,947,716)	10,603,809	1,523,065	(1,947,716)
	13,639,722	1,555,371	(1,953,152)	13,639,722	1,555,371	(1,953,152)

A37. デリバティブ金融商品（続き）

	当行グループ			当行		
	<----- 公正価値 ----->			<----- 公正価値 ----->		
	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット
2020年12月31日現在（続き）						
トレーディング目的デリバティブ（続き）						
エクイティ関連契約						
指数先物:						
- 1年未満	73,109	120,534	(125,544)	73,109	120,534	(125,544)
エクイティオプション:						
- 1年未満	2,942,526	117,408	(193,832)	-	-	-
エクイティスワップ:						
- 1年未満	1,011,998	52,657	(97,826)	70,590	1,113	(8,670)
コモディティ関連契約						
コモディティオプション:						
- 1年未満	40,721	6,760	(6,760)	40,721	6,760	(6,760)
- 1年以上3年以内	2,600	333	(333)	2,600	333	(333)
	43,321	7,093	(7,093)	43,321	7,093	(7,093)
コモディティスワップ:						
- 1年未満	1,315,289	53,041	(52,862)	1,315,289	53,041	(52,862)
- 1年以上3年以内	62,790	8,068	(7,381)	62,790	8,068	(7,381)
	1,378,079	61,109	(60,243)	1,378,079	61,109	(60,243)
信用関連契約						
クレジット・デフォルト・スワップ						
- 1年未満	75,360	334	(21)	75,360	334	(21)
ヘッジ目的デリバティブ						
外国為替関連契約						
クロスカレンシー金利スワップ						
1:						
- 1年未満	3,245,762	193,317	-	3,245,762	193,317	-
- 1年以上3年以内	3,845,728	220,833	(19,124)	3,845,728	220,833	(19,124)
- 3年超	1,666,663	72,919	(30,430)	1,666,663	72,919	(30,430)
	8,758,153	487,069	(49,554)	8,758,153	487,069	(49,554)
金利関連契約						
金利スワップ ² :						
- 1年以上3年以内	682,890	10,671	(5,314)	682,890	10,671	(5,314)
- 3年超	381,615	67,336	-	381,615	67,336	-
	1,064,505	78,007	(5,314)	1,064,505	78,007	(5,314)
MFRS第132号に基づく						
ネットティング効果	-	(1,571,114)	1,571,114	-	(1,557,700)	1,557,700
合計	1,104,306,090	19,907,957	(19,151,751)	1,099,866,051	19,713,802	(18,724,393)

¹ 当行グループ及び当行がヘッジ目的で保有しているクロスカレンシー金利スワップの契約上の想定元本額のうち、銀行間取引金利に基づく金額は、6,499.4百万マレーシア・リンギット（2020年12月31日現在：5,554.6百万マレーシア・リンギット）である。

² 当行グループ及び当行がヘッジ目的で保有している金利スワップの契約上の想定元本額のうち、銀行間取引金利に基づく金額は、759.6百万マレーシア・リンギット（2020年12月31日現在：482.0百万マレーシア・リンギット）である。

A38. 金融商品の公正価値測定

評価原則

金融商品全体が分類されるヒエラルキーのレベルは、開示上、ポジションの公正価値測定に重要な最も低いレベルのインプットに基づいている。

(a) レベル1：同一の資産及び負債の活発な市場における相場価格（未調整）

相場価格が、取引所から迅速かつ定期的に入手可能であり、独立第三者間で実際にかつ定期的に発生する相場価格を表す場合、活発な市場で価格を提示されたとみなされる金融商品を意味する。当該金融商品には、活発に売買される政府証券、上場デリバティブ及び取引所で売買される現物商品が含まれる。

(b) レベル2：重要なインプットがすべて観察可能な市場データである、又は観察可能な市場データに基づく評価技法

資産又は負債に対し、直接（すなわち、価格）又は間接（すなわち、価格から導かれる）的に観察可能なレベル1に含まれる相場価格以外のインプットをいう。レベル2の金融商品の例には、店頭（「OTC」）デリバティブ、社債その他国債、非流動株式、市場における同質又は類似の特性を持つ消費者ローン及び債権が含まれる。

(c) レベル3：重要なインプットが観察可能な市場データに基づかない評価技法

公正価値が重要な観察不能なインプットを使用して測定される商品をいう。この評価技法は、レベル2と矛盾しないが当行グループ及び当行の独自の前提及びデータを取り込んでいる。レベル3商品の例には、主に内部与信評価に基づき価格付けされる非流動市場における社債、未公開株投資、貸出金及び債権が含まれる。

当行グループ及び当行の、2021年6月30日現在及び2020年12月31日現在の公正価値で測定される金融資産及び金融負債の公正価値ヒエラルキーにおける分類は、以下の表に要約される。

当行グループ	市場の 相場価格 (レベル1) 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット (レベル2) 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット (レベル3) 千マレーシア・ リンギット	
2021年6月30日現在				
公正価値で測定する金融資産:				
当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定 するものとして指定された金融資産	134,202	13,536,281	-	13,670,483
マネーマーケット商品	-	681,437	-	681,437
上場証券	134,202	-	-	134,202
非上場証券	-	12,854,844	-	12,854,844
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	9,881,948	14,756,284	871,234	25,509,466
マネーマーケット商品	-	8,374,047	-	8,374,047
上場証券	9,881,948	-	-	9,881,948
非上場証券	-	6,382,237	871,234	7,253,471
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融投資	4,584,503	113,871,976	545,730	119,002,209
マネーマーケット商品	-	57,247,364	-	57,247,364
上場証券	4,584,503	-	-	4,584,503
非上場証券	-	56,624,612	545,730	57,170,342
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及 びその他の債権	-	-	15,487	15,487
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 貸出金及びその他の債権	-	-	17,795,238	17,795,238

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

当行グループ及び当行の、2021年6月30日現在及び2020年12月31日現在の公正価値で測定される金融資産及び金融負債の公正価値ヒエラルキーにおける分類は、以下の表に要約される。（続き）

当行グループ（続き）	市場の相場価格 （レベル1） 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット （レベル2） 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット （レベル3） 千マレーシア・ リンギット	
2021年6月30日現在（続き）				
公正価値で測定する金融資産：（続き）				
デリバティブ資産	-	15,876,008	287,560	16,163,568
外国為替関連契約	-	3,270,291	-	3,270,291
金利関連契約	-	12,873,310	-	12,873,310
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	188,799	287,560	476,359
信用関連契約	-	552	-	552
改訂MFRS第132号に基づくネットティング 効果	-	(456,944)	-	(456,944)
	14,600,653	158,040,549	19,515,249	192,156,451

公正価値で測定する金融負債：

純損益を通じて公正価値で測定する

金融負債	-	9,501,948	-	9,501,948
仕組預金	-	18,540	-	18,540
借入金	-	9,483,408	-	9,483,408
デリバティブ負債	-	14,583,020	287,560	14,870,580
外国為替関連契約	-	2,787,927	-	2,787,927
金利関連契約	-	12,054,165	-	12,054,165
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	197,837	287,560	485,397
信用関連契約	-	35	-	35
改訂MFRS第132号に基づくネットティング 効果	-	(456,944)	-	(456,944)
	-	24,084,968	287,560	24,372,528

当行グループ	市場の相場価格 （レベル1） 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット （レベル2） 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット （レベル3） 千マレーシア・ リンギット	
2020年12月31日現在				

公正価値で測定する金融資産：

当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定
するものとして指定された金融資産

マネーマーケット商品	130,153	13,897,878	-	14,028,031
上場証券	-	639,811	-	639,811
非上場証券	130,153	-	-	130,153
	-	13,258,067	-	13,258,067

純損益を通じて公正価値で測定する

金融投資	8,766,663	17,541,955	871,228	27,179,846
マネーマーケット商品	-	12,217,753	-	12,217,753
上場証券	8,766,663	-	-	8,766,663
非上場証券	-	5,324,202	871,228	6,195,430

その他の包括利益を通じて公正価値で測定する
金融投資

マネーマーケット商品	3,499,479	123,459,360	543,842	127,502,681
上場証券	-	67,536,344	-	67,536,344
非上場証券	3,499,479	-	-	3,499,479
	-	55,923,016	543,842	56,466,858

純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及
びその他の債権

	-	-	170,712	170,712
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 貸出金及びその他の債権	-	-	16,031,857	16,031,857

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

当行グループ及び当行の、2021年6月30日現在及び2020年12月31日現在の公正価値で測定される金融資産及び金融負債の公正価値ヒエラルキーにおける分類は、以下の表に要約される。（続き）

当行グループ（続き）	市場の相場価格 （レベル1） 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット （レベル2） 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット （レベル3） 千マレーシア・ リンギット	
2020年12月31日現在				
公正価値で測定する金融資産：（続き）				
デリバティブ資産	-	19,854,044	53,913	19,907,957
外国為替関連契約	-	6,465,592	-	6,465,592
金利関連契約	-	14,654,344	-	14,654,344
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	304,888	53,913	358,801
信用関連契約	-	334	-	334
改訂MFRS第132号に基づくネットティング 効果	-	(1,571,114)	-	(1,571,114)
	12,396,295	174,753,237	17,671,552	204,821,084
公正価値で測定する金融負債：				
純損益を通じて公正価値で測定する 金融負債	-	10,161,921	-	10,161,921
借入金	-	10,161,921	-	10,161,921
デリバティブ負債	-	19,097,838	53,913	19,151,751
外国為替関連契約	-	6,517,696	-	6,517,696
金利関連契約	-	13,720,610	-	13,720,610
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	430,625	53,913	484,538
信用関連契約	-	21	-	21
改訂MFRS第132号に基づくネットティング 効果	-	(1,571,114)	-	(1,571,114)
	-	29,259,759	53,913	29,313,672
公正価値で測定する金融資産：				
当行	市場の相場価格 （レベル1） 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット （レベル2） 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット （レベル3） 千マレーシア・ リンギット	
2021年6月30日現在				
公正価値で測定する金融資産：				
純損益を通じて公正価値で測定する 金融投資	453,561	12,990,652	682,508	14,126,721
マネーマーケット商品	-	6,925,553	-	6,925,553
上場証券	453,561	-	-	453,561
非上場証券	-	6,065,099	682,508	6,747,607
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融投資	17,658	67,749,209	513,124	68,279,991
マネーマーケット商品	-	25,692,950	-	25,692,950
上場証券	17,658	-	-	17,658
非上場証券	-	42,056,259	513,124	42,569,383
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及 びその他の債権	-	-	15,487	15,487
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 貸出金及びその他の債権	-	-	14,991,367	14,991,367
デリバティブ資産	-	15,631,409	287,560	15,918,969
外国為替関連契約	-	3,102,216	-	3,102,216
金利関連契約	-	12,970,681	-	12,970,681
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	9,961	287,560	297,521
信用関連契約	-	552	-	552
改訂MFRS第132号に基づくネットティング 効果	-	(452,001)	-	(452,001)

<u>471,219</u>	<u>96,371,270</u>	<u>16,490,046</u>	<u>113,332,535</u>
----------------	-------------------	-------------------	--------------------

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

当行グループ及び当行の、2021年6月30日現在及び2020年12月31日現在の公正価値で測定される金融資産及び金融負債の公正価値ヒエラルキーにおける分類は、以下の表に要約される。（続き）

	市場の相場価格 (レベル1) 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット (レベル2) 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット (レベル3) 千マレーシア・ リンギット	
当行（続き）				
2021年6月30日現在				
公正価値で測定する金融負債：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	9,501,948	-	9,501,948
仕組預金	-	18,540	-	18,540
借入金	-	9,483,408	-	9,483,408
デリバティブ負債	-	14,290,933	287,560	14,578,493
外国為替関連契約	-	2,635,996	-	2,635,996
金利関連契約	-	12,097,944	-	12,097,944
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	8,959	287,560	296,519
信用関連契約	-	35	-	35
改訂MFRS第132号に基づくネットティング 効果	-	(452,001)	-	(452,001)
	-	23,792,881	287,560	24,080,441
公正価値で測定する金融資産：				
	市場の相場価格 (レベル1) 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット (レベル2) 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット (レベル3) 千マレーシア・ リンギット	
当行				
2020年12月31日現在				
公正価値で測定する金融資産：				
純損益を通じて公正価値で測定する 金融投資	518,705	16,988,267	682,508	18,189,480
マネーマーケット商品	-	11,757,406	-	11,757,406
上場証券	518,705	-	-	518,705
非上場証券	-	5,230,861	682,508	5,913,369
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融投資	17,836	75,004,340	511,617	75,533,793
マネーマーケット商品	-	31,797,338	-	31,797,338
上場証券	17,836	-	-	17,836
非上場証券	-	43,207,002	511,617	43,718,619
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及 びその他の債権	-	-	170,712	170,712
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 貸出金及びその他の債権	-	-	13,290,590	13,290,590
デリバティブ資産	-	19,659,889	53,913	19,713,802
外国為替関連契約	-	6,477,479	-	6,477,479
金利関連契約	-	14,603,840	-	14,603,840
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	135,936	53,913	189,849
信用関連契約	-	334	-	334
改訂MFRS第132号に基づくネットティング 効果	-	(1,557,700)	-	(1,557,700)
	536,541	111,652,496	14,709,340	126,898,377

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

当行グループ及び当行の、2021年6月30日現在及び2020年12月31日現在の公正価値で測定される金融資産及び金融負債の公正価値ヒエラルキーにおける分類は、以下の表に要約される。（続き）

当行（続き）	市場の相場価格 （レベル1） 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット （レベル2） 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット （レベル3） 千マレーシア・ リンギット	
2020年12月31日現在				
公正価値で測定する金融負債：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	10,161,921	-	10,161,921
借入金	-	10,161,921	-	10,161,921
デリバティブ負債	-	18,670,480	53,913	18,724,393
外国為替関連契約	-	6,371,259	-	6,371,259
金利関連契約	-	13,709,263	-	13,709,263
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	147,637	53,913	201,550
信用関連契約	-	21	-	21
改訂MFRS第132号に基づくネットティング 効果	-	(1,557,700)	-	(1,557,700)
	-	28,832,401	53,913	28,886,314

評価技法

相場価格を参照して決定（レベル1）されない金融・非金融資産及び金融負債に使用される評価技法は以下の通りである。

デリバティブ

当行グループ及び当行のデリバティブ金融商品の公正価値は、割引キャッシュ・フロー分析、オプション・プライシング・モデル及びベンチマーキング・モデルを使用して決定される。

当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融資産、純損益を通じて公正価値で測定する金融投資及びその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資

これらの金融資産及び金融投資の公正価値は、外部のデータプロバイダー及び外部のブローカーの提示価格を参照して決定される。社会経済上の目的で保有される非上場の資本性証券（レベル3に分類）の公正価値は、当該企業が有する有形資産純額に基づき決定される。

純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権、並びにその他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権

これらの公正価値は、信用力が類似した新たな借手に対する類似の貸出に提示される、報告日現在適用可能な実勢レートで割り引かれた、契約上の分割弁済額の将来予想キャッシュ・フローに基づき見積もられる。

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債

純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融負債の公正価値は、割引キャッシュ・フローを使用して決定される。

[次へ](#)

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表

当行グループ	2021 年 1 月 1 日現在 千マレーシア・ リンギット	損益計算書に計上 したその他の 利得* 千マレーシア・ リンギット	損益計算書に計上 した未実現利得# 千マレーシア・ リンギット	その他の包括利益 に計上した 未実現利得 千マレーシア・ リンギット	購入/発行/取得 千マレーシア・ リンギット	売却 千マレーシア・ リンギット	決済 千マレーシア・ リンギット	為替換算差額 千マレーシア・ リンギット	レベル3 への振替 千マレーシア・ リンギット	レベル3 からの振替 千マレーシア・ リンギット	2021年 6 月30日現在 千マレーシア・ リンギット
2021年 6月30日現在											
純損益を通じて公正価値で測定する 金融投資											
非上場証券	871,228	-	-	-	-	-	-	6	-	-	871,234
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資											
非上場証券	543,842	-	-	1,507	-	-	-	381	-	-	545,730
純損益を通じて公正価値で測定する 貸出金及びその他の債権	170,712	-	-	-	2	-	(160,404)	5,177	-	-	15,487
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する貸出金及びその他の債権	16,031,857	-	-	111,007	3,042,112	-	(1,642,786)	253,048	-	-	17,795,238
デリバティブ資産											
エクイティ及びコモディティ関連契約	53,913	127,719	69,029	-	191,939	(155,040)	-	-	-	-	287,560
レベル3 金融資産合計	17,671,552	127,719	69,029	112,514	3,234,053	(155,040)	(1,803,190)	258,612	-	-	19,515,249
デリバティブ負債											
エクイティ及びコモディティ関連契約	(53,913)	133,798	69,029	-	191,939	(53,293)	-	-	-	-	287,560
レベル3 金融負債合計	(53,913)	133,798	69,029	-	191,939	(53,293)	-	-	-	-	287,560
レベル3 金融資産/(負債)純額合計	17,617,639	261,517	138,058	112,514	3,425,992	(208,333)	(1,803,190)	258,612	-	-	19,802,809

* 「その他の営業収益」、「金融投資に対する減損損失引当金繰入」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる。

「その他の営業収益」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる。

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表（続き）

当行グループ	2020年 1月1日現在 千マレーシア・ リングット	損益計算書に計上 したその他の * 利得 千マレーシア・ リングット	損益計算書に 計上した # 未実現利得 千マレーシア・ リングット	その他の包括利益 に計上した 未実現利得 千マレーシア・ リングット	購入/発行/取得 千マレーシア・ リングット	売却 千マレーシア・ リングット	決済 千マレーシア・ リングット	為替換算差額 千マレーシア・ リングット	レベル3 への振替 千マレーシア・ リングット	レベル3 からの振替 千マレーシア・ リングット	2020年 12月31日現在 千マレーシア・ リングット
2020年12月31日現在											
純損益を通じて公正価値で測定する											
金融投資											
非上場証券	807,125	3,900	64,870	-	-	(4,680)	-	13	-	-	871,228
その他の包括利益を通じて公正価値で測 定する金融投資											
非上場証券	463,260	-	-	80,671	-	-	-	(89)	-	-	543,842
純損益を通じて公正価値で測定する											
貸出金及びその他の債権	401,703	-	479	-	155,483	-	(382,457)	(4,496)	-	-	170,712
その他の包括利益を通じて公正価値で測 定する貸出金及びその他の債権	11,821,285	-	-	212,883	6,472,615	-	(2,461,126)	(13,800)	-	-	16,031,857
デリバティブ資産											
エクイティ及びコモディティ関連契約	83,393	456,777	77,240	-	36,870	-	(600,367)	-	-	-	53,913
レベル3金融資産合計	13,576,766	460,677	142,589	293,554	6,664,968	(4,680)	(3,443,950)	(18,372)	-	-	17,671,552
デリバティブ負債											
エクイティ及びコモディティ関連契約	(83,393)	457,440	77,240	-	(36,870)	-	(468,330)	-	-	-	(53,913)
レベル3金融負債合計	(83,393)	457,440	77,240	-	(36,870)	-	(468,330)	-	-	-	(53,913)
レベル3金融資産/(負債)純額合計	13,493,373	918,117	219,829	293,554	6,628,098	(4,680)	(3,912,280)	(18,372)	-	-	17,617,639

* 「その他の営業収益」、「金融投資に対する減損損失引当金(繰入)/戻入」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる。

「その他の営業収益」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表（続き）

当行	2021年 1月1日現在 千マレーシア・ リングット	損益計算書に 計上したその他の 利得* 千マレーシア・ リングット	損益計算書に 計上した 未実現利得# 千マレーシア・ リングット	その他の包括利益 に計上した 未実現利得 千マレーシア・ リングット	購入/発行/取得 千マレーシア・ リングット	売却 千マレーシア・ リングット	決済 千マレーシア・ リングット	為替換算差額 千マレーシア・ リングット	レベル3 への振替 千マレーシア・ リングット	レベル3 からの振替 千マレーシア・ リングット	2021年 6月30日現在 千マレーシア・ リングット
2021年6月30日現在											
純損益を通じて公正価値で測定する											
金融投資											
非上場証券	682,508	-	-	-	-	-	-	-	-	-	682,508
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資											
非上場証券	511,617	-	-	1,507	-	-	-	-	-	-	513,124
純損益を通じて公正価値で測定する											
貸出金及びその他の債権	170,712	-	-	-	2	-	(160,404)	5,177	-	-	15,487
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	13,290,590	-	-	85,271	2,843,263	-	(1,477,184)	249,427	-	-	14,991,367
デリバティブ資産											
エクイティ及びコモディティ関連契約	53,913	127,719	69,029	-	191,939	(155,040)	-	-	-	-	287,560
レベル3金融資産合計	14,709,340	127,719	69,029	86,778	3,035,204	(155,040)	(1,637,588)	254,604	-	-	16,490,046
デリバティブ負債											
エクイティ及びコモディティ関連契約	(53,913)	133,798	69,029	-	191,939	(53,293)	-	-	-	-	287,560
レベル3金融負債合計	(53,913)	133,798	69,029	-	191,939	(53,293)	-	-	-	-	287,560
レベル3金融資産/(負債)純額合計	14,655,427	261,517	138,058	86,778	3,227,143	(208,333)	(1,637,588)	254,604	-	-	16,777,606

* 「その他の営業収益」及び「金融投資に対する減損損失引当金(繰入)/戻入」に含まれる。

「その他の営業収益」に含まれる。

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表（続き）

当行	2020年 1月1日現在 千マレーシア・ リンギット	損益計算書に 計上した* その他の利得 千マレーシア・ リンギット	損益計算書に 計上した# 未実現利得 千マレーシア・ リンギット	その他の包括利益 に計上した 未実現利得 千マレーシア・ リンギット	購入/発行/取得 千マレーシア・ リンギット	売却 千マレーシア・ リンギット	決済 千マレーシア・ リンギット	為替換算差額 千マレーシア・ リンギット	レベル3 への振替 千マレーシア・ リンギット	レベル3 からの振替 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日現在 千マレーシア・ リンギット
2020年12月31日現在											
純損益を通じて公正価値で測定する											
金融投資											
非上場証券	622,176	-	60,332	-	-	-	-	-	-	-	682,508
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資											
非上場証券	429,654	-	-	81,963	-	-	-	-	-	-	511,617
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権											
貸出金及びその他の債権	401,703	-	479	-	155,483	-	(382,457)	(4,496)	-	-	170,712
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権											
貸出金及びその他の債権	11,380,901	-	-	178,658	4,125,357	-	(2,380,526)	(13,800)	-	-	13,290,590
デリバティブ資産											
エクイティ及びコモディティ関連契約	83,393	456,777	77,240	-	36,870	-	(600,367)	-	-	-	53,913
レベル3金融資産合計	<u>12,917,827</u>	<u>456,777</u>	<u>138,051</u>	<u>260,621</u>	<u>4,317,710</u>	<u>-</u>	<u>(3,363,350)</u>	<u>(18,296)</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>14,709,340</u>
デリバティブ負債											
エクイティ及びコモディティ関連契約	(83,393)	457,440	77,240	-	(36,870)	-	(468,330)	-	-	-	(53,913)
レベル3金融負債合計	<u>(83,393)</u>	<u>457,440</u>	<u>77,240</u>	<u>-</u>	<u>(36,870)</u>	<u>-</u>	<u>(468,330)</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>(53,913)</u>
レベル3金融資産/(負債)純額合計	<u>12,834,434</u>	<u>914,217</u>	<u>215,291</u>	<u>260,621</u>	<u>4,280,840</u>	<u>-</u>	<u>(3,831,680)</u>	<u>(18,296)</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>14,655,427</u>

* 「その他の営業収益」及び「金融投資に対する減損損失引当金(繰入)/戻入」に含まれる。

「その他の営業収益」に含まれる。

当行グループの会計方針では、報告期間末時点で公正価値ヒエラルキーの各レベルへの（各レベルからの）振替を認識することとしている。

2021年6月30日に終了した中間会計期間において、当行グループ及び当行ではレベル1及びレベル2間の振替はなかった。

公正価値で測定されたレベル3金融商品の増減

2021年6月30日に終了した中間会計期間において、当行グループ及び当行ではレベル3への振替もレベル3からの振替もなかった。

[次へ](#)

A39. 関係者との信用取引から生じる信用エクスポージャー

下記に開示する信用エクスポージャーは、マレーシア中央銀行の改訂版ガイドライン - 関係者との信用取引及びエクスポージャーの第9.1項の要求に基づくものである。

	当行グループ		当行	
	2021年 6月30日	2020年 12月31日	2021年 6月30日	2020年 12月31日
関係者に対する信用エクスポージャー残高 (千マレーシア・リングgit)	<u>27,802,961</u>	<u>23,847,402</u>	<u>25,341,953</u>	<u>21,608,355</u>
信用エクスポージャー合計額における関係者に対する信用エクスポージャー残高割合	<u>3.3%</u>	<u>2.9%</u>	<u>5.4%</u>	<u>4.7%</u>
減損 [*] 又は不履行となっている関係者に対する信用エクスポージャー残高割合	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>

^{*} 減損とは、マレーシア中央銀行の改訂版ガイドライン - 関係者との信用取引及びエクスポージャーの第9.1項に示されている不良債権をいう。

[次へ](#)

A40. 保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書

2019年9月27日に公表されたマレーシア中央銀行の財務報告方針文書第11.4(f)項に従った、保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書の、タカフル事業の生命保険基金、ファミリー・タカフル・ファンド、ジェネラル・タカフル・ファンド、株主基金及び一般基金毎の内訳は以下の通りである。

(a) 2021年6月30日に終了した中間会計期間の未監査損益計算書

当行グループ	生命保険基金		ファミリー・タカフル・ ファンド		ジェネラル・タカフル・ ファンド		株主基金及び一般基金		合計	
	2021年 6月30日	2020年 6月30日	2021年 6月30日	2020年 6月30日	2021年 6月30日	2020年 6月30日	2021年 6月30日	2020年 6月30日	2021年 6月30日	2020年 6月30日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
受取利息	273,348	244,049	223,700	226,523	38,386	37,308	124,677	124,677	660,111	632,557
支払利息	-	-	-	-	-	-	(4,397)	(1,049)	(4,397)	(1,049)
受取利息純額	273,348	244,049	223,700	226,523	38,386	37,308	120,280	123,628	655,714	631,508
正味既経過保険料	2,391,152	1,679,473	891,276	763,958	629,689	663,487	783,654	578,903	4,695,771	3,685,821
その他の営業収益	(363,108)	(162,318)	(296,261)	250,927	(5,182)	34,104	(2,738)	106,597	(667,289)	229,310
営業収益合計	2,301,392	1,761,204	818,715	1,241,408	662,893	734,899	901,196	809,128	4,684,196	4,546,639
保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動、並びに生命保険及びタカフル・ファンドに係る税金	(2,181,893)	(1,650,124)	(815,266)	(1,219,727)	(669,869)	(733,699)	(97,960)	(84,374)	(3,764,988)	(3,687,924)
純営業収益	119,499	111,080	3,449	21,681	(6,976)	1,200	803,236	724,754	919,208	858,715
一般管理費	(121,289)	(109,702)	(11,158)	(16,687)	(163)	(92)	(367,570)	(341,586)	(500,180)	(468,067)
減損損失前営業(損失)/利益	(1,790)	1,378	(7,709)	4,994	(7,139)	1,108	435,666	383,168	419,028	390,648
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金 戻入/(繰入)、純額	2	(209)	-	-	(5)	-	2,928	(3,894)	2,925	(4,103)
金融投資に対する減損損失引当金(繰入)/戻入、 純額	(2,405)	(148)	-	-	-	-	(719)	381	(3,124)	233
その他の金融資産に対する減損損失引当金戻入/ (繰入)、純額	4,193	(1,021)	7,709	(4,994)	7,144	(1,108)	4,473	(1,871)	23,519	(8,994)
税金及びザカート前利益	-	-	-	-	-	-	442,348	377,784	442,348	377,784
税金及びザカート	-	-	-	-	-	-	(120,144)	(137,315)	(120,144)	(137,315)
当期利益	-	-	-	-	-	-	322,204	240,469	322,204	240,469

A40. 保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書(続き)

2019年9月27日に公表されたマレーシア中央銀行の財務報告方針文書第11.4(f)項に従った、保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書の、タカフル事業の生命保険基金、ファミリー・タカフル・ファンド、ジェネラル・タカフル・ファンド、株主基金及び一般基金毎の内訳は以下の通りである。(続き)

(b) 2021年6月30日現在の未監査財政状態計算書

	生命保険基金		ファミリー・タカフル・ ファンド		ジェネラル・タカフル・ ファンド		株主基金及び一般基金		合計	
	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ										
資産										
現金及び短期資金	858,636	722,325	12,598	5,783	4,510	38,477	363,286	252,170	1,239,030	1,018,755
金融機関預け金	768,132	1,896,199	1,306,648	2,811,690	236,521	969,131	1,344,532	1,829,400	3,655,833	7,506,420
当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定した金融資産	6,543,123	6,719,541	5,768,913	5,910,702	20,012	20,424	1,110,180	1,166,021	13,442,228	13,816,688
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	4,796,253	4,860,250	602,408	540,374	102,720	28,190	594,732	569,661	6,096,113	5,998,475
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	6,536,218	4,054,891	4,370,717	3,059,659	1,877,764	1,227,357	4,692,519	3,960,583	17,477,218	12,302,490
貸出金及びその他の債権	261,479	261,372	-	-	-	-	72,755	63,883	334,234	325,255
デリバティブ資産	24,124	140,502	-	-	-	-	-	12,037	24,124	152,539
再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権	750,779	541,915	420,839	316,950	471,905	356,542	5,787,732	4,563,174	7,431,255	5,778,581
その他の資産	166,096	82,112	4,017	27,314	775	4,400	926,863	530,815	1,097,751	644,641
投資不動産	796,516	796,250	-	-	-	-	138,875	138,840	935,391	935,090
関連会社に対する持分	-	-	-	-	-	-	152	152	152	152
有形固定資産	89,859	91,931	-	-	-	-	63,690	64,391	153,549	156,322
使用権資産	161	86	-	-	-	-	20,165	24,923	20,326	25,009
無形資産	51,966	50,920	-	-	-	-	91,809	59,268	143,775	110,188
繰延税金資産	3,883	3,438	6,406	3,746	6,240	4,572	64,967	56,789	81,496	68,545
資産合計	21,647,225	20,221,732	12,492,546	12,676,218	2,720,447	2,649,093	15,272,257	13,292,107	52,132,475	48,839,150
負債										
デリバティブ負債	75,693	3,473	-	-	-	-	2,147	-	77,840	3,473
保険契約負債/タカフル契約負債及びその他の保険債務	18,980,285	17,670,026	11,983,704	11,984,943	2,277,759	2,238,292	6,994,728	5,801,504	40,236,476	37,694,765
その他の負債 [#]	2,561,785	2,501,180	483,451	636,813	438,454	397,599	259,253	(455,433)	3,742,943	3,080,159
税金及びザカート引当金	(19,166)	(32,868)	463	(938)	-	-	68,220	93,264	49,517	59,458
繰延税金負債	48,628	79,921	24,928	55,400	4,234	13,202	316,071	338,858	393,861	487,381
負債合計	21,647,225	20,221,732	12,492,546	12,676,218	2,720,447	2,649,093	7,640,419	5,778,193	44,500,637	41,325,236
子会社の株主に帰属する資本										
株式資本	-	-	-	-	-	-	660,865	660,865	660,865	660,865

その他の剰余金	-	-	-	-	-	-	6,970,973	6,853,049	6,970,973	6,853,049
	-	-	-	-	-	-	7,631,838	7,513,914	7,631,838	7,513,914
負債及び株主資本合計	21,647,225	20,221,732	12,492,546	12,676,218	2,720,447	2,649,093	15,272,257	13,292,107	52,132,475	48,839,150

その他の負債には、無担保の生命保険基金、ジェネラル・ファンド及び投資連動型ファンドのうち、付利の対象とならず、要求払いで払戻し可能なものが含まれている。

[次へ](#)

A41. イスラム金融業務

A41a. 2021年6月30日に終了した中間会計期間の未監査損益計算書

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
預金者の資金の投資から生じた収益(注記(a))	2,281,903	1,907,811	4,513,325	4,370,154
投資口座の資金の投資から生じた収益(注記(a))	231,147	265,922	455,064	516,261
イスラム金融ファンドの投資から生じた収益(注記(a))	131,798	107,237	244,751	224,972
その他の債権に係る減損損失引当金繰入、純額	(164,375)	(358,616)	(343,967)	(553,451)
金融投資に係る減損損失引当金(繰入)/戻入、純額	(475)	(10,709)	242,814	(16,508)
その他の金融資産に係る減損損失引当金戻入/(繰入)、純額	1,667	-	(732)	-
分配可能収益合計	2,481,665	1,911,645	5,111,255	4,541,428
制限付投資口座からの利益配分	25	-	25	-
預金者に分配された利益	(870,055)	(1,237,391)	(1,723,774)	(2,617,262)
投資口座保有者に分配された利益	(71,986)	(101,189)	(143,881)	(217,067)
純収益合計	1,539,649	573,065	3,243,625	1,707,099
金融費用	(101,738)	(122,231)	(203,167)	(248,478)
一般管理費	(436,016)	(353,573)	(794,805)	(849,582)
税金及びザカート前利益	1,001,895	97,261	2,245,653	609,039
税金	(242,509)	(53,270)	(540,064)	(174,154)
ザカート	(4,111)	(3,792)	(11,820)	(12,236)
当期利益	755,275	40,199	1,693,769	422,649

従来型の銀行業務との連結及び合併のため、イスラム金融業務からの純収益は、以下の項目から構成されている。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
預金者の資金の投資から生じた収益(注記(a))	2,281,903	1,907,811	4,513,325	4,370,154
投資口座の資金の投資から生じた収益(注記(a))	231,147	265,922	455,064	516,261
イスラム金融ファンドの投資から生じた収益(注記(a))	131,798	107,237	244,751	224,972
金融資産に係る減損損失引当金及び一般管理費前収益合計	2,644,848	2,280,970	5,213,140	5,111,387
制限付投資口座からの利益配分	25	-	25	-
預金者に分配された利益	(870,055)	(1,237,391)	(1,723,774)	(2,617,262)
投資口座保有者に分配された利益	(71,986)	(101,189)	(143,881)	(217,067)
	1,702,832	942,390	3,345,510	2,277,058
金融費用	(101,738)	(122,231)	(203,167)	(248,478)
グループ企業間収益及び費用、純額	358,213	431,468	701,153	843,817
当行グループの損益計算書に計上されたイスラム金融業務からの収益	1,959,307	1,251,627	3,843,496	2,872,397

注記(a)： 2020年6月30日に終了した中間会計期間の、預金者の資金/投資口座の資金/イスラム金融ファンドの投資から生じた収益には、COVID-19により負の影響を受けた借手や顧客が事業活動を維持するための政府支援策による正味の影響が、238,839,000マレーシア・リンギット含まれている。

A41. イスラム金融業務(続き)

A41b. 2021年6月30日に終了した中間会計期間の未監査包括利益計算書

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
当期利益	755,275	40,199	1,693,769	422,649
その他の包括利益/(損失):				
後に純損益に再分類される可能性がある 項目:				
外国為替換算に係る正味(損失)/利得	(17)	24	(473)	(122)
その他の包括利益を通じて公正価値で測 定する金融投資に係る正味利得/(損失)	52,161	195,178	(400,663)	177,947
- 公正価値の変動からの正味利得/(損 失)	66,032	258,243	(528,631)	232,810
- 予想信用損失の変動	1,977	(1,087)	1,097	1,011
- 税効果	(15,848)	(61,978)	126,871	(55,874)
	52,144	195,202	(401,136)	177,825
当期のその他の包括利益/(損失)、税引後	52,144	195,202	(401,136)	177,825
当期の包括利益合計	807,419	235,401	1,292,633	600,474

A41. イスラム金融業務(続き)

A41c. 2021年6月30日現在の未監査財政状態計算書

当行グループ	注記	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
資産			
現金及び短期資金		18,241,178	9,919,980
金融機関預け金		2,502,861	-
売戻条件付買入金融資産		3,207,787	3,625,611
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資		686,085	-
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資		16,544,237	18,453,139
償却原価で測定する金融投資		20,532,196	16,381,007
その他の債権	A41e	207,730,008	203,666,875
デリバティブ資産		223,163	385,303
その他の資産		5,120,412	3,459,012
中央銀行への法定預け金		12,565	12,591
有形固定資産		776	979
使用権資産		8,379	9,901
繰延税金資産		33,377	-
資産合計		274,843,024	255,914,398
負債			
顧客の資金：			
- 顧客預金	A41f	174,718,518	165,268,243
- 顧客の投資口座 ¹	A41g	25,475,794	23,840,796
金融機関預り金		46,209,245	38,770,852
支払手形及び銀行引受手形		35,935	38,086
デリバティブ負債		167,757	656,302
その他の負債		1,294,904	783,382
繰延税金負債		-	449,812
税金及びザカート引当金		265,796	21,256
期限付資金調達	A41h	10,905,479	10,895,058
劣後スクーク	A41i	2,021,532	2,028,303
資本性証券	A41j	1,002,305	1,002,441
負債合計		262,097,265	243,754,531
イスラム金融資本ファンド			
イスラム金融ファンド		8,641,184	7,934,444
利益剰余金		3,264,115	2,983,827
その他の準備金		840,460	1,241,596
		12,745,759	12,159,867
負債及びイスラム金融資本ファンド合計		274,843,024	255,914,398
当行グループが運用する制限付投資口座	A41g	541,728	-
当行グループが保有し運用するイスラム金融資産合計		275,384,752	255,914,398
コミットメント及び偶発事象		81,318,020	76,524,814

¹ 顧客の投資口座は、注記A41e()に開示されているその他の債権の資金調達に利用されている。

A41. イスラム金融業務（続き）

A41d. 2021年 6 月30日に終了した中間会計期間の未監査イスラム金融資本ファンド変動計算書

当行グループ	< ----- 分配不能部分 ----- >						
	イスラム金融 ファンド	規制準備金	FVTOCI 評価差額 準備金	外国為替換算 準備金	持株会社からの 資本拠出金 ¹	分配可能な 利益剰余金	合計
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
2021年 1 月1日現在	7,934,444	594,474	645,022	403	1,697	2,983,827	12,159,867
当期利益	-	-	-	-	-	1,693,769	1,693,769
その他の包括損失	-	-	(400,663)	(473)	-	-	(401,136)
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	(473)	-	-	(473)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る 正味損失	-	-	(400,663)	-	-	-	(400,663)
当期の包括(損失)/利益合計	-	-	(400,663)	(473)	-	1,693,769	1,292,633
普通株式の発行	706,740	-	-	-	-	-	706,740
支払配当金	-	-	-	-	-	(1,413,481)	(1,413,481)
2021年 6 月30日現在	8,641,184	594,474	244,359	(70)	1,697	3,264,115	12,745,759

¹ この持株会社からの資本拠出金は、子会社とその持株会社間のグループ企業間債権債務残高の免除に関連するものである。

A41. イスラム金融業務（続き）

A41d. 2021年6月30日に終了した中間会計期間の未監査イスラム金融資本ファンド変動計算書（続き）

当行グループ	< ----- 分配不能部分 ----- >						
	イスラム金融 ファンド 千マレーシア・ リンギット	規制準備金 千マレーシア・ リンギット	FVTOCI評価差額 準備金 千マレーシア・ リンギット	外国為替換算 準備金 千マレーシア・ リンギット	持株会社からの 資本拠出金 ¹ 千マレーシア・ リンギット	分配可能な 利益剰余金 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット
2020年1月1日現在	7,202,398	846,497	338,320	259	1,697	2,887,335	11,276,506
当期利益	-	-	-	-	-	422,649	422,649
その他の包括利益/(損失)	-	-	177,947	(122)	-	-	177,825
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	(122)	-	-	(122)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る 正味利得	-	-	177,947	-	-	-	177,947
当期の包括利益/(損失)合計	-	-	177,947	(122)	-	422,649	600,474
規制準備金からの振替	-	(252,023)	-	-	-	252,023	-
普通株式の発行	732,046	-	-	-	-	-	732,046
支払配当金	-	-	-	-	-	(1,464,091)	(1,464,091)
2020年6月30日現在	7,934,444	594,474	516,267	137	1,697	2,097,916	11,144,935

¹ この持株会社からの資本拠出金は、子会社とその持株会社間のグループ企業間債権債務残高の免除に関連するものである。

[次へ](#)

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権

当行グループ	注	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リングgit	2020年 12月31日終了 千マレーシア・ リングgit
金融機関向その他の債権	()	103,346	-
顧客向その他の債権	()	207,626,662	203,666,875
		<u>207,730,008</u>	<u>203,666,875</u>
() 金融機関向その他の債権			
(A) その他の包括利益を通じて公正価値で測定する その他の債権 [^]		103,346	-
金融機関向その他の債権純額		<u>103,346</u>	<u>-</u>
() 顧客向その他の債権			
(A) その他の包括利益を通じて公正価値で測定する その他の債権		3,039,970	2,741,267
(B) 償却原価で測定する顧客向その他の債権		290,291,202	289,662,732
		<u>293,331,172</u>	<u>292,403,999</u>
前受収益		<u>(82,346,800)</u>	<u>(85,698,158)</u>
その他の債権総額		210,984,372	206,705,841
その他の債権に対する減損引当金			
- ステージ1：12カ月ECL		(600,476)	(574,213)
- ステージ2：全期間ECL（信用減損なし）		(1,488,870)	(1,209,931)
- ステージ3：全期間ECL（信用減損あり）		<u>(1,268,364)</u>	<u>(1,254,822)</u>
顧客向その他の債権純額		<u>207,626,662</u>	<u>203,666,875</u>
その他の債権純額	()及び()	<u>207,730,008</u>	<u>203,666,875</u>

- [^] 金融機関向その他の債権には、RPSIAに基づく融資が103.3百万マレーシア・リングgit（2020年12月31日現在：なし）が含まれている。RPSIAは、ムダラバの原則に基づき融資を行うために二者間で締結される契約であり、当該契約において、当グループは金融機関に資本のみを提供する投資家としての役割を果たしている。ビジネスベンチャーの利益は、事前に合意した割合に基づき両者間で分配される。損失が発生した場合は当グループが負担する。

[次へ](#)

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権（続き）

当行グループ	アル・イジャラ サンマ・アル・バイ						その他の債権 合計
	バイ ¹	ムラバハ	ムシャラカ	(AITAB) ²	イジャラ ³	その他	
	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット
2021年6月30日現在							
キャッシングローン	-	6,205,033	-	-	-	-	6,205,033
ターム・ファイナンス							
- 住宅ローン	13,306,265	79,305,667	1,788,618	-	-	608	94,401,158
- シンジケートローン	-	8,774,422	-	-	-	-	8,774,422
- 分割払債権	-	10,863,040	-	35,043,851	-	-	45,906,891
- リース債権	-	-	-	-	540,001	-	540,001
- その他のターム・ファイナンス	8,909,580	104,108,439	559,250	-	-	118,903	113,696,172
受取手形	-	-	-	-	-	1,632	1,632
貨物貸渡	-	115,333	-	-	-	-	115,333
引受為替手形求償権	-	5,004,911	-	-	-	-	5,004,911
従業員向貸出	361,945	2,214,873	7,828	169,422	-	30,274	2,784,342
クレジットカード債権	-	-	-	-	-	1,183,171	1,183,171
リボルビングクレジット	-	14,775,391	-	-	-	-	14,775,391
株式信用取引	-	40,285	-	-	-	-	40,285
その他の貸出：							
- 当行の取締役向貸出	-	3,193	-	-	-	14	3,207
- 子会社の取締役向貸出	-	2,286	-	274	-	9	2,569
	22,577,790	231,412,873	2,355,696	35,213,547	540,001	1,334,611	293,434,518
前受収益							(82,346,800)
その他の債権総額 ⁴							211,087,718
その他の債権に対する減損引当金：							
- ステージ1 - 12カ月ECL							(600,476)
- ステージ2 - 全期間ECL（信用減損なし）							(1,488,870)
- ステージ3 - 全期間ECL（信用減損あり）							(1,268,364)
その他の債権純額							207,730,008

¹ バイは、バイ・ピタマー・アジル、バイ・アル・イナー及びバイ・アル・ダインから構成されている。

² 当行グループが当該資産の所有者である、資産の所有権はイジャラの終了時に売却を通じて顧客に移転される。

³ 当行グループが当該資産の所有者である、資産の所有権はイジャラの終了時に顧客が購入オプションを行使する場合に顧客に移転される。

⁴ その他の債権には、制限付利益分配投資口座（「RPSIA」）及び顧客の投資口座（「IA」）の原資産が含まれている。

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権（続き）

当行グループ	アル・イジャラ サンマ・アル・バイ						その他の債権 合計
	バイ ¹ 千マレーシア・ リンギット	ムラバハ 千マレーシア・ リンギット	ムシャラカ 千マレーシア・ リンギット	(AITAB) ² 千マレーシア・ リンギット	イジャラ ³ 千マレーシア・ リンギット	その他 千マレーシア・ リンギット	
2020年12月31日現在							
キャッシングローン	-	6,354,760	-	-	-	-	6,354,760
ターム・ファイナンス							
- 住宅ローン	13,846,268	77,006,822	1,877,969	-	-	609	92,731,668
- シンジケートローン	-	7,106,556	-	-	-	-	7,106,556
- 分割払債権	-	9,635,007	-	35,204,145	-	-	44,839,152
- リース債権	-	-	-	-	303,050	-	303,050
- その他のターム・ファイナンス	10,653,246	106,866,849	610,568	-	-	18,364	118,149,027
受取手形	-	-	-	-	-	50	50
貨物貸渡	-	106,257	-	-	-	-	106,257
引受為替手形求償権	-	4,723,695	-	-	-	-	4,723,695
従業員向貸出	390,857	2,110,096	8,384	179,242	-	33,633	2,722,212
クレジットカード債権	-	-	-	-	-	1,263,404	1,263,404
リボルビングクレジット	-	14,068,861	-	-	-	-	14,068,861
株式信用取引	-	29,008	-	-	-	-	29,008
その他の貸出：							
- 当行の取締役向貸出	-	3,361	-	-	-	8	3,369
- 子会社の取締役向貸出	-	2,542	-	340	-	48	2,930
	24,890,371	228,013,814	2,496,921	35,383,727	303,050	1,316,116	292,403,999
前受収益							(85,698,158)
その他の債権総額 ⁴							206,705,841
その他の債権に対する減損引当金：							
- ステージ1 - 12カ月ECL							(574,213)
- ステージ2 - 全期間ECL（信用減損なし）							(1,209,931)
- ステージ3 - 全期間ECL（信用減損あり）							(1,254,822)
その他の債権純額							203,666,875

¹ バイは、バイ・ビタマー・アジル、バイ・アル・イナー及びバイ・アル・ダインから構成されている。

² 当行グループが当該資産の所有者である、資産の所有権はイジャラの終了時に売却を通じて顧客に移転される。

³ 当行グループが当該資産の所有者である、資産の所有権はイジャラの終了時に顧客が購入オプションを行使する場合に顧客に移転される。

⁴ その他の債権には、制限付利益分配投資口座（「RPSIA」）及び顧客の投資口座（「IA」）の原資産が含まれている。

[次へ](#)

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権（続き）

（ ） 減損したその他の債権（「減損債権」）の変動は以下の通りである。

	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ		
1月1日現在	2,452,406	3,115,266
新規減損額	231,951	584,878
非減損債権への再分類	(116,769)	(485,955)
回収額	(159,545)	(437,564)
貸倒償却額	(102,025)	(317,043)
制限付投資口座に関連した金額	10,504	(7,176)
2021年6月30日/2020年12月31日現在の減損債権総額	2,316,522	2,452,406
控除：ステージ3 - 全期間ECL - 信用減損あり	(1,268,364)	(1,254,822)
2021年6月30日/2020年12月31日現在の正味減損債権	1,048,158	1,197,584
正味減損債権（RPSIA及びIA債権を除く）の比率計算：		
2021年6月30日/2020年12月31日現在の減損債権総額	1,629,488	1,776,012
控除：ステージ3 - 全期間ECL - 信用減損あり	(1,268,364)	(1,254,822)
2021年6月30日/2020年12月31日現在の正味減損債権	361,124	521,190
その他の債権総額	159,638,727	156,381,322
控除：償却原価で測定する減損したその他の債権及びFVOCIで測定する減損したその他の債権に対する引当金	(3,363,712)	(3,043,122)
その他の債権、純額	156,275,015	153,338,200
その他の債権、純額に対する正味減損債権の割合	0.23%	0.34%

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権（続き）

（ ） その他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

その他の包括利益を通じて公正価値で測定

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2021年 6 月30日現在				
2021年 1 月 1 日現在	1,662	2,494	-	4,156
引当金の再測定純額	41	-	-	41
新たに組成又は購入した金融資産	37	-	-	37
認識中止された金融資産	(363)	-	-	(363)
モデル/リスク・パラメーターの変動	1,387	734	-	2,121
為替換算差額	10	-	-	10
2021年 6 月30日現在	2,774	3,228	-	6,002

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2020年12月31日現在				
2020年 1 月 1 日現在	523	2,378	-	2,901
新たに組成又は購入した金融資産	1,036	-	-	1,036
モデル/リスク・パラメーターの変動	103	116	-	219
2020年12月31日現在	1,662	2,494	-	4,156

償却原価で測定

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2021年 6 月30日現在				
2021年 1 月 1 日現在	574,213	1,209,931	1,254,822	3,038,966
ステージ 1 への移動	139,575	(133,534)	(6,041)	-
ステージ 2 への移動	(16,024)	41,035	(25,011)	-
ステージ 3 への移動	(2,819)	(23,129)	25,948	-
引当金の再測定純額	(113,832)	390,314	80,835	357,317
新たに組成又は購入した金融資産	87,843	74,294	-	162,137
認識中止された金融資産	(48,542)	(66,933)	(8,599)	(124,074)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(20,394)	(5,583)	-	(25,977)
制限付投資口座に関連した金額*	174	1,661	28,415	30,250
償却額	-	-	(102,025)	(102,025)
為替換算差額	282	814	20,020	21,116
2021年 6 月30日現在	600,476	1,488,870	1,268,364	3,357,710

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権（続き）

（ ） その他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。（続き）

償却原価で測定（続き）

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2020年12月31日現在				千マレーシア・ リンギット
2020年 1 月 1 日現在	371,029	616,576	1,252,818	2,240,423
ステージ 1 への移動	192,492	(180,987)	(11,505)	-
ステージ 2 への移動	(24,260)	216,014	(191,754)	-
ステージ 3 への移動	(5,653)	(133,942)	139,595	-
引当金の再測定純額	89,882	615,209	436,543	1,141,634
新たに組成又は購入した金融資産	111,779	105,132	-	216,911
認識が中止された金融資産	(53,808)	(78,272)	(163,013)	(295,093)
モデル/リスク・パラメーターの変 動	(110,039)	40,745	-	(69,294)
制限付投資口座に関連した金額*	3,084	11,681	122,297	137,062
償却額	-	-	(317,043)	(317,043)
為替換算差額	(293)	(2,225)	(13,116)	(15,634)
2020年12月31日現在	574,213	1,209,931	1,254,822	3,038,966

* 2021年 6 月30日現在、RPSIA債権の総エクスポージャーは、25,973.2百万マレーシア・リンギット（2020年12月31日：26,483.7百万マレーシア・リンギット）であった。当該債権に係る予想信用損失487.6百万マレーシア・リンギット（2020年12月31日：446.6百万マレーシア・リンギット）は、その他の債権並びに銀行及びその他金融機関への預け金の減少として反映されている。
2021年 6 月30日現在、IA債権の総エクスポージャーは25,475.8百万マレーシア・リンギット（2020年12月31日：23,840.8百万マレーシア・リンギット）であった。

A41f. 顧客預金

当行グループ	2021年 6 月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
貯蓄預金		
カルド	28,501,572	23,708,048
要求払預金		
カルド	35,413,688	26,703,462
定期預金		
ムラバハ	109,553,321	114,498,944
カルド	1,249,937	357,789
	110,803,258	114,856,733
顧客預金合計	174,718,518	165,268,243

A41. イスラム金融業務（続き）

A41g. 顧客の投資口座

	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ		
ムダラバ		
制限のない投資口座 ¹	25,475,794	23,840,796
当行グループが運用する制限付投資口座 ²	541,728	-

¹ 制限のない投資口座に含まれているのは、当行グループが運用するMulti-Asset Investment Account-i（「MAIA」という。）商品から受領した資金である。資金の50%は、当行の子会社がイスラム金融業務の一環として運用する当行グループの金融資産に投資されており、バランスシートに計上されている。資金の残りの50%は、当行の子会社が投資運用活動の一環として運用する、2021年6月30日現在の純資産価値が256.7百万マレーシア・リンギットの市場性のある有価証券に投資されており、バランスシートには計上されていない。

² 当行グループが運用する制限付投資口座には、当行グループが運用代理人として制限付投資口座の運用と管理を行う当行グループと第三者との間の取決めが含まれており、その原資産は541.7百万マレーシア・リンギットである。

（ ） 投資口座の顧客種類別構成は以下の通りである。

当行グループ	制限のない投資口座 千マレーシア・ リンギット
2021年6月30日現在	
事業会社	14,212,790
個人	9,453,303
政府及び特殊法人	141,141
その他	1,668,560
	25,475,794
2020年12月31日現在	
事業会社	13,328,580
個人	9,200,552
政府及び特殊法人	112,309
その他	1,199,355
	23,840,796

（ ） 投資口座の満期構成は以下の通りである。

当行グループ	制限のない投資口座 千マレーシア・ リンギット
2021年6月30日現在	
- 満期の定めなし	20,191,435
- 満期の定めあり	
6カ月以内	4,498,778
6カ月超1年以内	769,597
1年超3年以内	10,423
3年超5年以内	5,561
	5,284,359
顧客の投資口座合計	25,475,794

A41. イスラム金融業務（続き）

A41g. 顧客の投資口座（続き）

（ ） 投資口座の満期構成は以下の通りである。（続き）

当行グループ

制限のない投資口座

千マレーシア・

リンギット

2020年12月31日現在

- 満期の定めなし

18,243,257

- 満期の定めあり

6 カ月以内

4,241,279

6 カ月超 1 年以内

1,342,789

1 年超 3 年以内

9,158

3 年超 5 年以内

4,313

5,597,539

顧客の投資口座合計

23,840,796

（ ） 投資資産の配分は以下の通りである。

当行グループ

制限のない投資口座

千マレーシア・

リンギット

2021年 6 月30日現在

リテール貸出金

23,802,230

非リテール貸出金

1,673,564

25,475,794

2020年12月31日現在

リテール貸出金

22,550,499

非リテール貸出金

1,290,297

23,840,796

（ ） 利益分配率及び利回りは以下の通りである。

投資口座保有者（「IAH」）

平均利益分配率

平均利回り

（ % ）

（ % ）

当行グループ

2021年 6 月30日現在

制限のない投資口座

30.85

1.19

2020年12月31日現在

制限のない投資口座

36.53

1.64

A41. イスラム金融業務（続き）

A41h. 期限付資金調達

当行グループ	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
無担保期限付資金調達		
（ ） コマーシャル・ペーパー		
- 1年未満	7,944,024	7,945,896
（ ） ミディアム・ターム・ノート		
- 1年超	2,002,992	2,003,222
（ ） 期限付資金調達		
- 1年超（注記（a））	958,463	945,940
期限付資金調達合計	<u>10,905,479</u>	<u>10,895,058</u>

注記(a)： 期限付資金調達は、COVID-19のパンデミックに対応するための政府支援策の一環として、期間6年で2026年6月17日を返済期限とした、市中金利よりも低率の中小企業向け融資に充てるために、政府融資制度に基づいて当行グループが受領した金額に関連するものである。この政府制度による資金調達は、中小企業向けの優遇利率での貸出と、COVID-19関連の救済措置を目的としたものである。

A41i. 劣後スクーク

当行グループ	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
償還期限2026年の1.0十億マレーシア・リンギットのイスラム劣後スクーク・ムラバハ	-	1,017,454
償還期限2029年の1.0十億マレーシア・リンギットのイスラム劣後スクーク・ムラバハ	1,010,726	1,010,849
償還期限2031年の1.0十億マレーシア・リンギットのイスラム劣後スクーク・ムラバハ	1,010,806	-
	<u>2,021,532</u>	<u>2,028,303</u>

A41j. 資本性証券

当行グループ	2021年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2020年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
発行額1.0十億マレーシア・リンギット、利益率が4.95%の その他Tier 1 スクーク・ワカラ	<u>1,002,305</u>	<u>1,002,441</u>

[次へ](#)

パートB: プルサ・マレーシア証券取引所の上場要件に係る付属書類 9Bに関する注記**B1. 業績評価****() 前年同期と比較した当期の業績**

2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの株主に帰属する税金及びザカート控除後利益は4,354.7百万マレーシア・リンギットとなり、2020年6月30日に終了した前年同期に比べ1,363.3百万マレーシア・リンギット、率にして45.6%増加した。

2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの受取利息純額及びイスラム金融業務からの収益は、2020年6月30日に終了した前年同期に比べ1,289.3百万マレーシア・リンギット、率にして15.2%増加し、9,770.7百万マレーシア・リンギットとなった。

2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの保険子会社及びタカフル子会社からの正味既経過保険料は、2020年6月30日に終了した前年同期に比べ1,010.0百万マレーシア・リンギット、率にして27.4%増加し、4,695.8百万マレーシア・リンギットとなった。

2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループのその他の営業収益は、2020年6月30日に終了した前年同期の3,760.5百万マレーシア・リンギットから1,595.3百万マレーシア・リンギット、率にして42.4%減少し、2,165.3百万マレーシア・リンギットとなった。この減少は主に、2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間には、当初認識時にFVTPLに指定された金融資産に係る未実現時価評価益を188.9百万マレーシア・リンギット計上したのに比べ、2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間には、690.2百万マレーシア・リンギットの未実現直評価損失を計上したこと、デリバティブの再評価に係る未実現時価評価益が836.6百万マレーシア・リンギット減少したこと、投資収益に係る正味利得が716.9百万マレーシア・リンギット減少したこと、デリバティブに係る実現損失が279.5百万マレーシア・リンギット増加したこと、FVTPL金融投資に係る未実現時価評価損が158.9百万マレーシア・リンギット増加し、FVTPL金融負債に係る実現損失を138.3百万マレーシア・リンギット計上したことによる。ただし、この減少は、2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間にFVTPL金融負債に係る未実現時価評価損失を290.2百万マレーシア・リンギット計上したのに対し、2021年6月30日に終了した6カ月間にFVTPL金融負債の再評価に係る未実現時価評価益を797.1百万マレーシア・リンギット計上したことと、手数料収入が377.8百万マレーシア・リンギット増加したことにより軽減されている。

2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの一般管理費は、2020年6月30日に終了した前年同期に比べ94.1百万マレーシア・リンギット、率にして1.7%増加し、5,742.4百万マレーシア・リンギットとなった。この一般管理費の増加は、主に人件費が61.5百万マレーシア・リンギット、設備費が57.6百万マレーシア・リンギット、及びマーケティング費用が16.3百万マレーシア・リンギットそれぞれ増加したことによる。ただし、この増加は管理費及び一般経費が41.3百万マレーシア・リンギット減少したことにより軽減されている。

当行グループの貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額は、2020年6月30日に終了した前年同期に比べ、1,325.9百万マレーシア・リンギット、率にして49.1%減少し、1,375.0百万マレーシア・リンギットとなった。

B1. 業績評価（続き）**（ ） 前年同期と比較した当期の業績（続き）**

2020年6月30日に終了した6カ月間の前年同期と比較した、2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの税金及びザカート前利益に関する当行グループの事業セグメント別の内容は以下の通りである。

グループ・地域金融サービス（「グループCFS」）

2021年6月30日に終了した6カ月間のグループCFSの税金及びザカート前利益は、2020年6月30日に終了した6カ月間の前年同期の1,694.2百万マレーシア・リングgitから1,051.1百万マレーシア・リングgit、率にして62.0%増加し、2,745.3百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は、主に受取利息純額及びイスラム金融業務（IBS）からの収益が586.6百万マレーシア・リングgit増加したこと、その他の営業収益が161.5百万マレーシア・リングgit増加したこと、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額が303.3百万マレーシア・リングgit減少したこと、並びに金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金の戻入額が0.3百万マレーシア・リングgit増加したことによる。ただし、この増加は、一般管理費が0.6百万マレーシア・リングgit増加したことにより相殺されている。

グループ・グローバル・バンキング**a) グループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケット部門**

2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間のグループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケット部門の税金及びザカート前利益は、2020年6月30日に終了した前年同期の1,875.2百万マレーシア・リングgitから563.2百万マレーシア・リングgit、率にして30.0%増加し、2,438.4百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は、主に貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額が1,010.3百万マレーシア・リングgit減少したこと、受取利息純額及びイスラム金融業務（IBS）からの収益が237.6百万マレーシア・リングgit増加したことによるものである。ただし、この増加は、その他の営業収益が625.5百万マレーシア・リングgit減少したこと、一般管理費が22.1百万マレーシア・リングgit増加したこと、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額の純額が18.6百万マレーシア・リングgit増加したこと、及び関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分が18.4百万マレーシア・リングgit減少したことにより相殺されている。

b) グループ・投資銀行部門（メイバンクIB及びメイバンク・キム・エン）

当行グループの投資銀行部門は、2020年6月30日に終了した前年同期に120.5百万マレーシア・リングgitの税金及びザカート前利益を計上したのに対し、2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間における税金及びザカート前利益は162.6百万マレーシア・リングgit増加し、283.1百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、その他の営業収益が152.8百万マレーシア・リングgit増加したこと、受取利息純額及びイスラム金融業務（IBS）からの収益が22.9百万マレーシア・リングgit増加したこと、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額4.9百万マレーシア・リングgitが0.5百万マレーシア・リングgitの戻入に転じたこと、及び関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分が1.2百万マレーシア・リングgit増加したことによる。ただし、この増加は、一般管理費が13.8百万マレーシア・リングgit増加したこと、並びに金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額の純額が5.9百万マレーシア・リングgit増加したことにより相殺されている。

c) グループ・資産運用部門

グループ・資産運用部門は、2020年6月30日に終了した6カ月間の前年同期に税金及びザカート前損失2.9百万マレーシア・リングgitを計上したのに対し、2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間には2.0百万マレーシア・リングgitの税金及びザカート前利益を計上した。この利益は、主にその他の営業収益が15.5百万マレーシア・リングgit増加したことによるものであった。しかし、この利益は一般管理費が10.5百万マレーシア・リングgit増加したこと、受取利息純額が0.1百万マレーシア・リングgit減少したこと、並びに貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額0.1百万マレーシア・リングgitにより相殺されている。

B1. 業績評価（続き）**（ ） 前年同期と比較した当期の業績（続き）****グループ・保険及びタカフル事業部門**

2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間のグループ・保険及びタカフル事業部門の税金及びザカート前利益は、2020年6月30日に終了した前年同期の382.8百万マレーシア・リングットから48.4百万マレーシア・リングット、率にして12.6%増加し、431.2百万マレーシア・リングットとなった。この増加は主に、正味既経過保険料が1,010.0百万マレーシア・リングット増加したこと、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額の純額が8.8百万マレーシア・リングットの繰入から20.4百万マレーシア・リングットの戻入へと転じたこと、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額が4.1百万マレーシア・リングットの繰入から2.9百万マレーシア・リングットの戻入に転じたことによるものであった。ただしこの増加は、その他の営業収益が897.9百万マレーシア・リングット減少したこと、保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動及び生命保険及びタカフルファンドに係る税金が77.1百万マレーシア・リングット増加したことに加え、一般管理費が47.0百万マレーシア・リングット増加したことにより相殺されている。

（ ） 前年同期と比較した当四半期の業績

2021年6月30日に終了した四半期の当行グループの株主に帰属する税金及びザカート控除後当期利益は1,962.5百万マレーシア・リングットとなり、2020年6月30日に終了した前年同期に比べ1,020.8百万マレーシア・リングット、率にして108.4%増加した。

当行グループの2021年6月30日に終了した四半期の受取利息純額及びイスラム金融業務からの収益は、2020年6月30日に終了した前年同期に比べ1,029.8百万マレーシア・リングット、率にして26.1%増加して4,979.2百万マレーシア・リングットとなった。

2021年6月30日に終了した四半期の当行グループの保険子会社及びタカフル子会社からの正味既経過保険料は、2020年6月30日に終了した前年同期に比べ425.7百万マレーシア・リングット、率にして24.5%増加し、2,166.5百万マレーシア・リングットとなった。

2021年6月30日に終了した四半期の当行グループのその他の営業収益は、2020年6月30日に終了した前年同期に比べ1,277.3百万マレーシア・リングット減少し、1,150.1百万マレーシア・リングットとなった。この減少は主に、2020年6月30日に終了した前年同期にFVTPL金融投資及びFVTPL金融負債の再評価に係る未実現時価評価益をそれぞれ709.2百万マレーシア・リングット及び147.0百万マレーシア・リングット、デリバティブに係る実現利益を6.0百万マレーシア・リングット計上したのに対し、2021年6月30日に終了した四半期にはFVTPL金融投資及びFVTPL金融負債の再評価に係る未実現時価評価損をそれぞれ159.3百万マレーシア・リングット及び695.5百万マレーシア・リングット、デリバティブに係る実現損失を399.7百万マレーシア・リングット計上したことに加え、2020年6月30日に終了した四半期には当初認識時にFVTPLに指定された金融資産の再評価に係る未実現時価評価益を純額で197.3百万マレーシア・リングット計上したのに対し、2021年6月30日に終了した四半期には当初認識時にFVTPLに指定された金融資産の再評価に係る未実現時価評価益が404.6百万マレーシア・リングット減少したこと、投資収益に係る利得が純額で267.1百万マレーシア・リングット減少したこと、及び正味外国為替換算損を30.2百万マレーシア・リングット計上したことによるものであった。ただしこの減少は、2020年6月30日に終了した前年同期にデリバティブの再評価に係る未実現時価評価損を563.3百万マレーシア・リングット計上したのとは対照的に、2021年6月30日に終了した四半期にはデリバティブの再評価に係る未実現時価評価益が990.9百万マレーシア・リングット増加したことや、手数料収入が187.8百万マレーシア・リングット増加したことにより軽減されている。

当行グループの2021年6月30日に終了した四半期の一般管理費は、2020年6月30日に終了した前年同期に比べ214.4百万マレーシア・リングット、率にして7.9%増加し、2,920.8百万マレーシア・リングットとなった。この一般管理費の増加は主に、管理費及び一般経費が86.0百万マレーシア・リングット、人件費が65.8百万マレーシア・リングット、設備費が32.4百万マレーシア・リングット、マーケティング費用が30.2百万マレーシア・リングットそれぞれ増加したことによるものであった。

当行グループの2021年6月30日に終了した四半期の貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額は、2020年6月30日に終了した前年同期に比べ1,214.5百万マレーシア・リングット、率にして69.8%減少し、524.8百万マレーシア・リングットとなった。

B1. 業績評価（続き）**（ ） 前年同期と比較した当四半期の業績（続き）**

2020年6月30日に終了した前年同期と比較した2021年6月30日に終了した四半期の当行グループの税金及びザカート前利益に関する、当行グループの事業セグメント別の内容は以下の通りである。

グループ・地域金融サービス（「グループCFS」）

2021年6月30日に終了した四半期のグループCFSの税金及びザカート前利益は、2020年6月30日に終了した前年同期の488.0百万マレーシア・リングgitから932.3百万マレーシア・リングgit増加し、1,420.3百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、受取利息純額及びイスラム金融業務(IFS)からの収益が552.1百万マレーシア・リングgit増加したこと、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額が372.2百万マレーシア・リングgit減少したこと、並びにその他の営業収益が147.8百万マレーシア・リングgit増加したことによるものであった。ただしこの増加は、一般管理費が139.0百万マレーシア・リングgit増加したこと、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額が、純額で0.1百万マレーシア・リングgitの戻入から純額で0.7百万マレーシア・リングgitの繰入となったことにより相殺されている。

グループ・グローバル・バンキング**a) グループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケット部門**

2021年6月30日に終了した四半期のグループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケット部門の税金及びザカート前利益は、2020年6月30日に終了した前年同期の607.3百万マレーシア・リングgitから487.4百万マレーシア・リングgit増加し、1,094.7百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額が836.2百万マレーシア・リングgit減少したこととその他の営業収益が133.5百万マレーシア・リングgit増加したことによるものであった。ただしこの増加は、受取利息純額及びイスラム金融業務(IFS)からの収益が414.7百万マレーシア・リングgit減少したこと、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額の純額が31.7百万マレーシア・リングgit増加したこと、一般管理費が21.9百万マレーシア・リングgit増加し、関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分が14.0百万マレーシア・リングgit減少したことにより相殺されている。

b) グループ・投資銀行部門（メイバングIB及びメイバンク・キム・エン）

グループ・投資銀行部門の2021年6月30日に終了した四半期の税金及びザカート前利益は、2020年6月30日に終了した前年同期の94.8百万マレーシア・リングgitから12.5百万マレーシア・リングgit減少し、82.3百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、一般管理費が25.5百万マレーシア・リングgit増加したこと、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額の純額が2.9百万マレーシア・リングgitの戻入から、1.0百万マレーシア・リングgitの繰入に転じたことによるものであった。ただし、この減少は、受取利息純額及びイスラム金融業務(IFS)からの収益が9.6百万マレーシア・リングgit増加したこと、その他の営業収益が6.7百万マレーシア・リングgit増加したこと、並びに貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額が0.7百万マレーシア・リングgit減少したことにより軽減されている。

c) グループ・資産運用部門

グループ・資産運用部門の2021年6月30日に終了した四半期の税金及びザカート前利益は、2020年6月30日に終了した前年同期の2.3百万マレーシア・リングgitから0.3百万マレーシア・リングgit増加して、2.6百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、その他の営業収益が1.5百万マレーシア・リングgit増加したことによるものであった。ただし、この増加は、一般管理費が1.2百万マレーシア・リングgit増加したことにより相殺されている。

B1. 業績評価（続き）**（ ） 前年同期と比較した当四半期の業績（続き）****グループ・保険及びタカフル事業部門**

2021年6月30日に終了した四半期のグループ・保険及びタカフル事業部門の税金及びザカート前利益は、2020年6月30日に終了した前年同期の329.2百万マレーシア・リングgitから47.1百万マレーシア・リングgit、率にして14.3%減少し、282.1百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、その他の営業収益が806.4百万マレーシア・リングgit減少したこと、一般管理費が26.8百万マレーシア・リングgit増加したことによるものである。ただしこの減少は、正味既経過保険料が425.7百万マレーシア・リングgit増加したこと、保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動、並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金が332.9百万マレーシア・リングgit減少したこと、受取利息純額が21.7百万マレーシア・リングgit増加したこと、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額が4.0百万マレーシア・リングgitの繰入から1.3百万マレーシア・リングgitの戻入となったことのほか、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額の純額が0.5百万マレーシア・リングgit減少したことにより軽減されている。

B2. 当四半期実績の前四半期からの変動

2021年6月30日に終了した当四半期の株主に帰属する当行グループの税金及びザカート控除後利益は、2021年3月31日に終了した前四半期の2,392.1百万マレーシア・リングgitから429.6百万マレーシア・リングgit減少し、1,962.5百万マレーシア・リングgitとなった。

2021年6月30日に終了した四半期の当行グループの受取利息純額は、前四半期の2,907.3百万マレーシア・リングgitから112.6百万マレーシア・リングgit増加し、3,019.9百万マレーシア・リングgitとなった。2021年6月30日に終了した当四半期のイスラム金融業務からの収益は、2021年3月31日に終了した前四半期の1,884.2百万マレーシア・リングgitから75.1百万マレーシア・リングgit増加し、1,959.3百万マレーシア・リングgitとなった。

2021年6月30日に終了した四半期の当行グループの正味既経過保険料は、2021年3月31日に終了した前四半期の2,529.2百万マレーシア・リングgitから362.7百万マレーシア・リングgit減少し、2,166.5百万マレーシア・リングgitとなった。

2021年6月30日に終了した四半期の当行グループのその他の営業収益は、2021年3月31日に終了した前四半期の1,015.1百万マレーシア・リングgitから135.0百万マレーシア・リングgit増加し、1,150.1百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、2021年3月31日に終了した前四半期に、再評価に係る未実現時価評価損をデリバティブについて779.0百万マレーシア・リングgit、当初認識時にFVTPLに指定された金融資産について954.8百万マレーシア・リングgitそれぞれ計上したことに比べ、2021年6月30日に終了した四半期には、再評価に係る未実現時価評価益をデリバティブについて990.9百万マレーシア・リングgit、当初認識時にFVTPLに指定された金融資産について264.6百万マレーシア・リングgitそれぞれ計上したことによる。ただしこの増加は、2021年3月31日に終了した前四半期に、FVTPL金融負債の再評価に係る未実現時価評価益を1,492.6百万マレーシア・リングgit計上したことに比べ、2021年6月30日に終了した四半期にFVTPL金融負債の再評価に係る未実現時価評価損を695.5百万マレーシア・リングgit計上したことのほか、2021年3月31日に終了した前四半期には120.1百万マレーシア・リングgitの時価評価益を計上しているのとは対照的に2021年6月30日に終了した四半期にはデリバティブに係る実現損を399.7百万マレーシア・リングgit計上していること、2021年3月31日に終了した前四半期に正味外国為替換算益を125.5百万マレーシア・リングgit計上したこと、2021年6月30日に終了した四半期に正味外国為替換算損を30.2百万マレーシア・リングgit計上したこと、2021年3月31日に終了した前四半期にFVTPL金融負債に係る実現損を138.3百万マレーシア・リングgit計上したこと、手数料収入が127.2百万マレーシア・リングgit減少したことや、投資収益純額が110.9百万マレーシア・リングgit減少したことにより相殺されている。

2021年6月30日に終了した四半期の当行グループの保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動、並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金は、2021年3月31日に終了した前四半期の1,510.7百万マレーシア・リングgitから611.4百万マレーシア・リングgit増加し、2,122.1百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、保険子会社及びタカフル子会社の保険給付金及び支払保険金純額が564.3百万マレーシア・リングgit増加したことによる。

B2. 当四半期実績の前四半期からの変動（続き）

2021年6月30日に終了した四半期の当行グループの一般管理費は、2021年3月31日に終了した前四半期の2,821.7百万マレーシア・リンギットから99.1百万マレーシア・リンギット増加し、2,920.8百万マレーシア・リンギットとなった。この増加は主に、管理費及び一般経費が92.3百万マレーシア・リンギット、マーケティング費用が11.9百万マレーシア・リンギット、設備費が7.7百万マレーシア・リンギットそれぞれ増加したことによる。ただしこの増加は、人件費が12.8百万マレーシア・リンギット減少したことにより軽減されている。

2021年6月30日に終了した四半期の当行グループの貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額は、2021年3月31日に終了した前四半期の850.2百万マレーシア・リンギットから325.5百万マレーシア・リンギット減少し、524.8百万マレーシア・リンギットとなった。

B3. 見通し

2021年の世界のGDP成長率は、金融緩和政策の継続と財政政策の拡大に加え、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の拡大に伴う経済活動の段階的な再開を受け、+6.1%の回復（2020年：-3.3%）が予想される。

マレーシアでは2021年に新型コロナウイルス感染症が再び感染拡大し、マレーシア全土における封じ込め策が再実施されたものの、景気は回復に向かうことが見込まれる（2021年予想：+4.2%、2020年：-5.6%）。最も影響を受けた個人や事業向けの条件付の支援や措置を中心に、金融・財政・経済の刺激策が継続するとみられる。2020年のデフレーションから一転して、2021年にはインフレへの緩やかな回帰が予想されるにもかかわらず、翌日物政策金利（OPR）は2021年を通じて過去最低の1.75%を維持するとみられる。一方で、2021年度の予算案では322.5十億マレーシア・リンギットという記録的な歳出が計上され、190十億マレーシア・リンギット相当の二つの追加経済刺激策が2021年第2四半期に公表されるなど、拡大的な財政政策が継続されている。

シンガポールの景気は引き続き回復基調にあり、2021年の実質GDP成長率予測である+6.8%（2020年：-5.4%）を達成するとみられる。2021年8月には接種完了者の割合が対象人口の約75%前後に達したことを受け、政府は徐々にロックダウンや入国管理を緩和し、経済成長を後押ししている。シンガポール金融管理局（MAS）は、2020年3月にシンガポール・ドルの為替レート政策バンドの許容変動幅の中心値を引き下げ、シンガポール・ドルの上昇の傾斜をゼロに引き下げるといふ、前例のない二重の金融緩和を行った後、2021年4月には中立的な政策スタンスを維持している。しかし、消費者物価指数は2%を上回る上昇を示しているものの、コアインフレ率は1%を下回っている。MASは10月の政策決定会合では中立的なスタンスを維持し、来年4月になって引き締めに移ると予想される。2020年には財政赤字がGDP比13.9%であったのに比べ、2021年予算案では、財政赤字はGDP比2.2%と大幅ながら引き続き拡大が継続している。

インドネシアの2021年の予想成長率は+4.2%（2020年：-2.1%）である。2021年1月からワクチン接種が開始されたものの、その後の展開は予想よりも遅く、感染拡大により移動制限が長引いたことにより、2021年の景気回復を支える個人消費や投資が落ち込んでいる。金融緩和策は2021年に入っても続き、2021年2月には25ベース・ポイントの追加利下げが行われ、政策金利は3.50%になることが発表された。国内消費を押し上げるため、インドネシア中央銀行は銀行融資規則を緩和し、インドネシア政府は自動車と不動産の購入に対する税の優遇措置を発表した。インドネシア中央銀行は2021年度の予算を賄うために国債の買い入れも継続する予定である。インフレ率はエネルギー価格や食料品価格の回復により上昇が予想されているが、インドネシア中央銀行の目標範囲内で推移している。

新型コロナウイルスへの感染再拡大や全国的な移動制限の継続による厳しい環境や経済回復への長期的な影響を踏まえ、メイバンク・グループは引き続き資本と流動性の強化の継続を優先させる意向である。当行グループは、影響を受けた顧客が必要とする金融支援やサポートを確実に受けることができるよう努めるとともに、その強固な地位を生かして資産の質に対する懸念に積極的に取り組み、対処する所存である。

成長率の純化や経済環境と自国市場での低金利による収益へのプレッシャーを低減するため、当行グループは低コストの資金を維持することにより、正味利鞘の拡大に注力する意向である。また当行グループはウェルス・マネジメント、投資銀行、資産運用及び保険セグメントを通じて手数料収益の機会獲得を目指す予定である。国内事業とデジタルバンキングにおける当行のリーダーシップを活かして、デジタルプラットフォーム上の商品展開を加速させ、市場への浸透を図り、手数料収入の拡大に力を入れる所存である。さらに、当行グループは厳格なコスト管理を維持し、トップラインの低迷に対応する一方で、生産性と効率性を向上させる意向である。

新型コロナ感染症のパンデミックの影響が続くことから、当行グループは2021年度の主要KPIである株主資本利益率（ROE）の目標を9%程度に設定した。

B4. 利益予測又は利益保証

当行グループ及び当行は、2021年6月30日に終了した中間会計期間に関する利益予測も利益保証も一切行っていない。

B5. 税金及びザカート

2021年6月30日に終了した中間会計期間における税金費用は以下の通りである。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
マレーシア法人税	875,590	(89,563)	1,700,834	542,611
外国法人税	96,955	62,599	199,377	159,095
	<u>972,545</u>	<u>(26,964)</u>	<u>1,900,211</u>	<u>701,706</u>
前期における超過引当：				
外国法人税	(3,702)	(24,596)	(16,834)	(25,338)
	<u>968,843</u>	<u>(51,560)</u>	<u>1,883,377</u>	<u>676,368</u>
繰延税金				
- 一時差異の当期発生及び解消関連	(281,136)	270,010	(465,511)	281,594
当期税金費用	687,707	218,450	1,417,866	957,962
ザカート	5,303	10,661	18,764	27,011
	<u>693,010</u>	<u>229,111</u>	<u>1,436,630</u>	<u>984,973</u>

2021年6月30日に終了した中間会計期間の当行グループの実効税率は、特定の損金不算入費用の影響により法定税率を上回った。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
マレーシア法人税	326,072	(7,261)	659,201	420,759
外国法人税	2,301	7,334	4,595	4,616
	<u>328,373</u>	<u>73</u>	<u>663,796</u>	<u>425,375</u>
前期における超過引当：				
外国法人税	-	(24,713)	-	(24,713)
	<u>328,373</u>	<u>(24,640)</u>	<u>663,796</u>	<u>400,662</u>
繰延税金				
- 一時差異の当期発生及び解消関連	(40,965)	113,489	(85,518)	141,428
当期税金費用	<u>287,408</u>	<u>88,849</u>	<u>578,278</u>	<u>542,090</u>

2021年6月30日に終了した中間会計期間の当行の実効税率は、課税対象外の特定の収益の影響により法定税率を下回った。

当行の国内法人税は、当期の課税所得の見積額に対する、マレーシアの法定税率である24%に基づいて算定されている。他の法域の海外子会社の税金額は法域ごとの実勢税率で算定される。

B6. 発表されたが完了していないコーポレートプロポーザルの状況

2021年6月30日に終了した中間会計期間には、発表されたが完了していないコーポレートプロポーザルはない。

B7. コーポレートプロポーザルにより調達した資金の使用状況

借入、劣後債務及び資本性証券の発行による資金は、予定通り、運転資本、一般的な銀行業務目的及びその他の企業目的のために使用されている。

B8. 顧客預金、顧客の投資口座、金融機関預り金及び負債証券

注記A14、A15、A16、A17及びA41gを参照のこと。

B9. デリバティブ金融商品

注記A37を参照のこと。

B10. 重要な訴訟の帰趨

2021年6月30日に終了した中間会計期間には、重要な訴訟はない。

B11. 配当金

2021年12月31日に終了する会計年度に係る普通株式一株当たり28.0マレーシア・セン（2020年6月30日に終了した会計年度：なし）の第1回シングルTier中間現金配当が、取締役会によって宣言された。

また、取締役会は、第1回シングルTier中間現金配当に配当金再投資制度が適用されると決定した。同制度では、普通株式一株当たり14.0マレーシア・センの選択可能部分を普通株式新株に再投資することが可能であり、残りの普通株式一株当たり14.0マレーシア・センは現金で支払われる。

ブルサ・マレーシア証券取引所の主要上場要件第8.26項に準拠して、中間配当は配当宣言日から3カ月以内に支払われる。

権利確定日は当行により後日公表される予定である。

B12. 一株当たり利益（「EPS」）**基本EPS**

当行グループの基本EPSは、当行株主に帰属する当会計期間の純利益を当会計期間の加重平均発行済普通株式数で除して計算されている。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2021年 6月30日終了	2020年 6月30日終了	2021年 6月30日終了	2020年 6月30日終了
当行株主に帰属する当会計期間 の純利益（千マレーシア・リン ギット）	<u>1,962,526</u>	<u>941,732</u>	<u>4,354,656</u>	<u>2,991,382</u>
加重平均発行済普通株式数（千 株）	<u>11,507,109</u>	<u>11,241,362</u>	<u>11,460,552</u>	<u>11,241,362</u>
基本一株当たり利益 （マレーシア・セン）	<u>17.05</u>	<u>8.38</u>	<u>38.00</u>	<u>26.61</u>

B12. 一株当たり利益（「EPS」）（続き）**希薄化後EPS**

希薄化潜在的普通株式が存在しないため、当行グループの当会計期間及び前会計期間における普通株式一株当たり利益の希薄化はない。

取締役会の命令による。

ヴァン・マルティミン・ヴァン・ムハンマド

LS0009924

カンパニーセクレタリー

2021年 8 月26日

2【その他】

(1) 訴訟及び規制手続

当該半期中において、2021年6月29日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

(2) 後発事象

該当事項なし。

3【MFRS及びIFRSと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違】

本書記載の財務書類は、マレーシア財務報告基準（以下「MFRS」という。）及び国際財務報告基準（以下「IFRS」という。）に基づいて作成されている。MFRS及びIFRSと、日本で一般に公正妥当と認められている会計原則（以下「日本基準」という。）は、一部の点で相違する。主な相違点の要約は下記の通りである。

項目	マレーシア財務報告基準（MFRS） 及び国際財務報告基準（IFRS）	日本基準 （日本で一般に公正妥当と 認められる会計原則）
(1) 表示が求められる会計期間	財務諸表で報告されるすべての金額について、最低過去1会計期間分の比較情報を開示しなければならない。	前連結会計年度及び当連結会計年度の財務諸表を比較のため併記する。
(2) 財政状態計算書（貸借対照表）と包括利益計算書（損益計算書）の様式	下記の財務諸表(注1、2)の作成を求めている。 ・ 財政状態計算書 ・ 包括利益計算書（1計算書方式）(注3)、又は損益計算書とその他の包括利益計算書を別個に作成（2計算書方式）(注4) ・ 持分変動計算書 ・ キャッシュ・フロー計算書 ・ 会計方針及び注記 (注1)各計算書の名称については他のものを使用することも可 (注2)会計方針を遡及適用した場合、財務諸表の修正再表示を行った場合、又は財務諸表の組替えを行った場合には、上記財務諸表に加えて、比較のため、開示される最も古い比較年度の期首財政状態計算書の作成も求められる (注3)純損益及びその他の包括利益計算書（1計算書方式）をいう (注4)1計算書方式と2計算書方式のいずれでも可	下記の財務諸表(注1)の作成を求めている。 ・ 連結貸借対照表 ・ 連結損益及び包括利益計算書（1計算書方式）(注2)、又は連結損益計算書と連結包括利益計算書を別個に作成（2計算書方式）(注3) ・ 連結株主資本等変動計算書 ・ 連結キャッシュ・フロー計算書 ・ 連結附属明細表 (注1)会計方針を遡及適用した場合、財務諸表の修正再表示を行った場合、又は財務諸表の組替えを行った場合でも、開示される最も古い比較年度の期首貸借対照表の追加作成は不要 (注2)1計算書方式の様式については連結財務諸表規則ガイドラインの別紙を参照 (注3)1計算書方式と2計算書方式のいずれでも可
(3) 特別（異常）損益の表示	収益又は費用のいかなる項目も、特別項目として、包括利益計算書若しくは損益計算書（表示されている場合）又は注記のいずれにも表示してはならない。	特別損益に属するものはその内容を示す名称を付した科目をもって表示する。

(4) 連結の範囲	連結の対象範囲は適用される支配の概念による。 投資者は、投資者が次の各要素をすべて有している場合にのみ、投資先を支配している。 (a)投資先に対するパワー (b)投資先への関与により生じる変動リターンに対するエクスポージャー又は権利 (c)投資者のリターンの額に影響を及ぼすように投資先に対するパワーを用いる能力 支配の判定に際し、投資者は自らの潜在的議決権と他の者が保有している潜在的議決権とを考慮して、自らがパワーを有しているかどうかを決定する。 投資者は、投資先の議決権の過半数を有していなくても、パワーを有するに十分な権利（いわゆる「事実上の支配」(de facto control)）を有する可能性がある。	連結の対象範囲は適用される支配力の概念による。 親会社が、他の企業の財務及び営業又は事業の方針を決定する機関（意思決定機関）を支配している場合、当該他の企業に対する支配が存在する。 日本基準には、支配の有無の判断にあたり、潜在的議決権の影響や、意思決定権の行使が本人と代理人のいずれの立場として行われているかなどを考慮することを明示的に求める規定は存在しない。 議決権の過半数を有していなくても、当該他の企業の取締役会の構成、資金調達の状況及び当該他の企業の方針の決定を支配する契約の存在等を考慮した上で、緊密な関係があることにより自己の意思と同一の内容の議決権を行使すると認められる者及び自己の意思と同一の内容の議決権を行使することに同意している者が所有している議決権とを合わせて支配の有無の判断を行うことを求める規定が存在する。
(5) 連結の範囲（例外規定）	すべての子会社を連結することを要するが、投資企業については以下の例外がある。 一定の条件を満たす企業は投資企業に該当し、子会社を連結することが禁止され、子会社に対する投資をMFRS第9号にしたがって純損益を通じて公正価値で測定しなければならない。 ただし、投資企業の投資活動に関連するサービスを提供する子会社は連結しなければならない。 投資企業の親会社自身が投資企業でない場合、当該親会社はその連結財務諸表において当該投資企業の会計処理を引き継ぐことができない。	以下に該当する子会社は連結の範囲に含めないものとされる。 ・ 支配が一時的であると認められる企業 ・ 連結の範囲に含めることにより利害関係人の判断を著しく誤らせるおそれがあると認められる企業
(6) 特別目的事業体及びストラクチャード・エンティティー	投資者が支配しているストラクチャード・エンティティーは連結しなければならない。	一定の条件を満たす一定の特別目的会社は子会社に該当しないものと推定する。投資事業組合の連結の範囲は、基本的に業務執行権限の有無に基づいて判断される。

(7) 共同支配の取決め	共同支配事業(joint operation)に該当する共同支配の取決め(joint arrangement)の場合、共同支配事業者は共同支配事業における自らの資産、負債、収益及び費用並びに／又は共同支配事業における共同支配に係る資産、負債、収益及び費用の持分相当額を認識する。 共同支配企業(joint venture)の場合、持分法が適用される。	被共同支配企業の会計処理には持分法を適用する。
(8) 企業結合の会計処理	取得法(acquisition method)を適用して企業結合を会計処理する。 MFRS第3号は、共同支配企業(joint venture)の設立及び共通支配下の企業又は事業の統合などには適用されない。	共同支配企業の形成及び共通支配下の取引以外の企業結合には、パーチェス法が適用される。
(9) のれんの当初認識と非支配持分の測定方法	企業結合ごとに、非支配持分の測定方法について、取得企業が以下のいずれかを選択できる。 1)非支配持分も含めた被取得企業全体を公正価値で測定し、のれんは非支配持分に帰属する部分も含めて認識する方法(いわゆる全部のれんアプローチ)。 2)非支配持分を被取得企業の識別可能純資産の公正価値に対する取得企業の持分相当額によって測定し、のれんは取得企業の持分相当額についてのみ認識する方法(いわゆる購入のれんアプローチ)。	のれんは、被取得企業又は取得した事業の取得原価のうち、取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を超過する額として算定される(のれんの算定に認められているのは、購入のれんアプローチのみ)。 子会社の資産及び負債のすべてを支配獲得日の時価により評価する(いわゆる全面時価評価法)。 * IFRSで選択できるような、非支配持分自体を支配獲得日の時価で評価する会計処理は認められていない。
(10) のれんの取扱い	規則的な償却は行わず、減損の兆候が無くても各報告期間において、さらに減損の兆候がある場合には追加で、減損テストに付される。	原則としてその計上後20年以内に、定額法その他合理的な方法により償却しなければならない。ただし、のれんの金額に重要性が乏しい場合には、当該のれんが生じた事業年度の費用として処理することができる。 のれんに減損の兆候がある場合には、減損損失を認識するかどうか判定する。

(11) 有形固定資産 解体及び除却費用並 びに原状回復費用等	MFRS第116号に従い、引当金の認識要件を満たす解体及び除却費用並びに原状回復費用等は、有形固定資産の取得原価に含める。MFRS第137号の引当金には、法的債務及び推定的債務が含まれる。 割引率の事後的な変更についても引当金を再測定し、（原価モデルの場合は）取得原価に加減する。 割引の定期的な振戻しに関連する費用は、金融費用として費用計上する。 日本基準にある敷金に関する例外処理は、MFRSでは認められない。	資産除去債務計上額を関連する有形固定資産の帳簿価額に加える。 資産除去債務は、有形固定資産の除去に関して法令又は契約で要求される法律上の義務及びそれに準ずるものを計上する。 資産除去債務の割引率は負債計上時に決定し、通常はその後の変更は行わない（ただし、将来のキャッシュ・フローの見積額が増加した場合は、その時点の割引率に変更し、減少した場合は負債計上時の割引率を用いる。）。 割引の振戻しに伴う時の経過による資産除去債務の調整額は、損益計算書上、当該資産除去債務に関連する有形固定資産の減価償却費と同じ区分に含めて計上する。 敷金が資産計上されている場合、簡便な評価方法で、敷金の回収が見込めないと認められる金額を合理的に見積り、当期に配分される金額を費用に計上することができる。
(12) 固定資産の事後測定	原価モデル又は再評価モデルのどちらかを会計方針として選択し、同一種類のすべての有形固定資産に適用しなければならない。 再評価モデルを選択した場合、帳簿価額が報告期間の期末日における公正価値と大きく相違しないよう、再評価を定期的の実施しなければならない。	取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額で計上される。（再評価は認められていない。）
(13) 投資不動産 当初認識後の測定	原価モデル又は公正価値モデルの選択が可能である。当該方針はあらゆる投資不動産に対して適用される。	（注記においてのみ開示される。特に明示された基準はない。）原価モデルのみ利用可能。
(14) 投資不動産 公正価値モデルでの測定	公正価値モデルを選択する企業は、公正価値が信頼性をもって測定できない例外的な場合を除き、すべての投資不動産を公正価値で評価しなければならない。	該当する基準はない。
(15) 減損レビュー ・プロセス（非金融 資産）	1段階アプローチ 減損の兆候が存在する場合に、資産の帳簿価額がその回収可能価額を上回る金額を減損損失として算定する。 回収可能価額は処分費用控除後の公正価値と使用価値のいずれか高い金額となる。	2段階アプローチ 最初に回収可能性テスト（資産の帳簿価額を、資産の使用及び最終的処分を通じて発生する割引前将来キャッシュ・フローの総額と比較する）を行う。その結果、資産の帳簿価額が割引前キャッシュ・フローの総額よりも大きい場合、回収不能と判断された場合、資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額するように減損損失を認識する。

(16) 減損損失の戻入れ（非金融資産）	のれんについては減損損失の戻入れは禁止されるが、他の資産については、毎報告期間末に、過去の期間に認識された減損損失がもはや存在しない又は減少している兆候があるのかどうかについて検討しなければならない。かかる兆候が存在する場合は、過去の期間に認識された減損損失を戻し入れる。ただし、過年度において当該資産について減損損失が認識されていなかったとした場合の帳簿価額（償却分控除後）を超えないものとする。	あらゆる資産について禁止される。
(17) 当初測定（初日利得）	金融資産及び負債が活発な市場で取引されておらず、価格評価モデルへの入力値が市場において観察できない場合、当初認識時に純利得を認識することはできず、かかる利得は繰り延べられる。	初日利得の測定に関する具体的規定が存在しないため、非上場デリバティブについて、市場価格に準ずるものとして合理的に算定された価格があれば、評価額として使用することができる。
(18) 公正価値測定の範囲	公表価格がなく公正価値が信頼性をもって測定できない場合に関するMFRS第139号における公正価値測定の例外規定は廃止された。すべての場合において、必ず公正価値で測定する必要がある。	市場で売買されない株式については、時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品として取り扱う。 取引慣行が成熟していない一部の天候デリバティブ等で公正な評価額を算定することが極めて困難と認められるデリバティブ取引については、取得価額をもって貸借対照表価額とする。 なお、2021年4月1日以後開始する連結会計年度及び事業年度の期首から企業会計基準第30号「時価の算定に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」が適用される。これは、国内外の企業間における財務諸表の比較可能性を向上させる観点から、一部の個別項目に対する取り扱いを除いて、IFRS第13号の定めを基本的にすべて取り入れている。
(19) 金融資産の認識の中止	リスク経済価値アプローチに基づき、金融資産の認識を中止する。 金融資産の所有に係るリスクと経済価値のほとんどすべてを移転したわけでも、ほとんどすべてを保持しているわけでもない場合は、「支配」の有無を検討する。引続き支配を保持している場合は、継続的関与の範囲内で認識を継続する。	財務構成要素アプローチに基づき、金融資産の消滅を認識する。

(20) 金融資産の区分	・ 負債性金融商品(債券・債権等) 「事業モデル・テスト」及び「契約上のキャッシュ・フローの特性テスト」に従い、以下の3つに区分される。 ・ 償却原価 契約上のキャッシュ・フローの回収を目的とする事業モデルにより当該金融資産が保有され、かつ、「契約上のキャッシュ・フローの特性テスト」を満たすもの ・ その他の包括利益を通じて公正価値で測定(FVOCI) (リサイクルあり) 契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方を目的とする事業モデルにより当該金融資産が保有され、かつ、「契約上のキャッシュ・フローの特性テスト」を満たすもの ・ 純損益を通じて公正価値で測定(FVPL) 上記のいずれにも該当しないもの - 償却原価又はFVOCIに分類可能な場合であっても、当初認識時にFVPLに分類できる。 ・ 資本性金融商品(株式等) トレーディング目的の保有ではなく、当初認識時に企業が指定した場合のみ、その他の包括利益を通じて公正価値で測定(FVOCI)(リサイクルなし)される。上記指定が行われない金融商品は、以後FVPLで測定される。	有価証券については以下の通り区分される。 ・ 売買目的有価証券 ・ 満期保有目的の債券 ・ 子会社株式及び関連会社株式 ・ その他有価証券
(21) 金融商品の公正価値概念	企業が直ちに利用できる最も有利で活発な市場において、測定日時点で、市場参加者間の秩序ある取引において、資産を売却するために受け取るであろう価格又は負債を移転するために支払うであろう価格を使う。 金融資産が活発な市場で取引される場合には、市場における終値で測定される。現在の買呼値と売呼値が利用可能で、容易に取得できる場合、保有資産又は発行する負債に対する適切な相場価格は買呼値であり、取得する資産又は保有負債に対する適切な相場価格は売呼値である。 MFRS第13号は、仲値による価格付けなど、市場参加者が買呼値と売呼値の間で公正価値測定の実務上の便法として用いている価格付けの慣行の使用を妨げるものではない。	複数の取引所に上場されている金融商品の場合は、取引が最も活発に行われている市場における価格を用いる。一部の非上場デリバティブを除き、市場価格に基づく価額として仲値を使用することが一般的である。 なお、2021年4月1日以後開始する連結会計年度及び事業年度の期首から企業会計基準第30号「時価の算定に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」が適用される。これは、国内外の企業間における財務諸表の比較可能性を向上させる観点から、一部の個別項目に対する取り扱いを除いて、IFRS第13号の定めを基本的にすべて取り入れている。

(22) 売却可能投資 / 有価証券の事後測定	「売却可能金融投資」の区分は廃止された。当初認識時にFVOCIと指定された適格な資本性金融商品については、受取配当金のみ純損益に計上される。それ以外の変動（為替レートの変動を含む。）はすべてその他の包括利益に計上され、その後の純損益への振替は行われない。	時価をもって貸借対照表価額とし、評価差額は税効果を考慮のうえ、以下のいずれかの方法により処理する。 ・ 合計額を直接純資産の部に計上 ・ 時価が取得原価を上回る銘柄に係る評価差額は純資産の部に計上、時価が取得原価を下回る銘柄に係る評価差額は当期の損失として処理 時価が著しく下落し、かつ、回復可能性が認められない場合又は実質価額が著しく低下した場合には、減損損失を認識し、帳簿価額と時価又は実質価額の差額を純損益に振り替える。減損の戻入は禁止される。
(23) 償却原価法と実効金利法	金融資産又は金融負債の償却原価の計算は実効金利法による。実効金利には、実効金利の不可分の一部である契約当事者間で授受されるすべての手数料、取引費用、並びにその他のプレミアム及びディスカウントを考慮する。	償却原価法は原則として利息法によるが、継続適用を条件として、簡便法として定額法を採用することも認められる。 満期保有目的の債券は、金利調整差額のみを対象とする償却原価法を適用する。
(24) 減損(有価証券)	・ 負債性金融商品の場合 購入又は組成した信用減損資産(不良債権等)を除き、損失引当金の認識規定の対象資産(償却原価で測定する負債性金融商品を含む。)は、すべて12ヶ月予想信用損失(ECL: Expected Credit Losses)が引き当てられる(ステージ1)。 当初認識後に信用リスクの著しい増加がある場合には、引当額が12ヶ月ECLから全期間ECLに切り替わる(ステージ2)。 (利息収益の認識) 減損の客観的な証拠が生じるまでは、利息収益は、帳簿価額総額に実効金利(EIR)を適用して算定される。減損の客観的な証拠がある場合(ステージ3)には、帳簿価額純額(すなわち、減損引当額を控除した後の帳簿価額の総額)にEIRを適用して算定される。 ・ 資本性金融商品の場合 非デリバティブ資本性金融商品は、すべてFVPL又はFVOCI(リサイクルなし)で測定されるため、減損という手続き自体がなくなっている(公正価値測定が用いられる。)。	有価証券については、時価が著しく下落したときは、回復する見込みがあると認められる場合を除き、時価をもって貸借対照表価額とし、評価差額は当期の損失として処理する。 時価を把握することが極めて困難な株式について、実質価額が著しく低下した場合には、相当の減額を行い、評価差額は当期の損失として処理する。 債券について時価を把握することが極めて困難なケースについても規定している。 なお、2021年4月1日以後開始する連結会計年度及び事業年度の期首から企業会計基準第30号「時価の算定に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」が適用される。これは、国内外の企業間における財務諸表の比較可能性を向上させる観点から、一部の個別項目に対する取り扱いを除いて、IFRS第13号の定めを基本的にすべて取り入れている。

(25) 貸出金及びその他の債権に対する減損引当金	以下の金融商品については、以下のとおり、簡便法の適用が強制又は会計方針の選択により認められる。なお、簡便法の適用とは、常に全期間ECLで測定することを意味する。 ・ 重要な財務要素を含まない営業債権又は契約資産...簡便法の適用が強制 ・ 重要な財務要素を含む営業債権又は契約資産、及びリース債権(1年超を含む)であって、会計方針として全期間ECLでの測定が選択されたもの...会計方針の選択により、簡便法を適用	区分に応じ、債権の貸倒見積高を以下の通り算定する。 ・ 一般債権：過去の貸倒実績率等、合理的な基準により算定 ・ 貸倒懸念債権：債権の状況に応じ、次のいずれかの方法を継続適用する。 - 債権額から担保の処分見込額を減額し、その残額について債務者の財政状態及び経営成績を考慮して貸倒見積高を算定する方法 - 将来キャッシュ・フローの現在価値と債権の帳簿価額との差額を貸倒見積高とする方法 ・ 破産更生債権等：債権額から担保の処分見込額を減額し、その残額を貸倒見積高とする。
(26) 金融資産減損の戻入れ	負債性金融商品については、過年度に損失引当金が計上されたが、当初認識後に信用度が改善して信用リスクの著しい増大がない場合、戻し入れなければならない。	売買目的有価証券は、減損後引続き時価評価されるが、満期保有目的の債券及びその他有価証券について減損の戻入れは行われない。
(27) 外貨建金融商品	外貨建の貨幣性資産及び負債に係る為替レートの変動による利得又は損失は、純損益に計上しなければならない。FVOCIに分類された外貨建資本性金融商品に係る為替変動はOCIで認識する。	外貨建その他有価証券について、原則として帳簿価額の変動のすべてが純資産の部に計上されるが、為替要因に基づく変動を区分し、純損益に計上することもできる。
(28) 金融負債の評価	純損益を通じて公正価値で評価される金融負債等を除き、実効金利法を用いた償却原価で測定しなければならない。 公正価値で測定される金融負債については、当該負債の信用リスクの変動に起因する公正価値の変動の金額をその他の包括利益において認識し、計上しなければならない。 当該負債の公正価値の変動の残りの金額は、純損益に計上しなければならない。	債務額をもって貸借対照表価額とする。ただし、収入に基づく金額と債務額とが異なる場合には、償却原価法で測定しなければならない。
(29) 金融負債と資本の区分	MFRS第132号にて、金融負債と資本の区分に関する包括的な規定が設けられており、金融商品の契約の実質並びに金融負債及び資本の定義に基づき区分しなければならない。	金融負債と資本の区分に関する包括的な規定は存在しない。

(30) 組 込 デ リ バ ティブの会計処理	組込デリバティブは以下のすべての条件を満たしたとき、主契約との区分処理が必要となる。 ・ 組込デリバティブの経済的特徴及びリスクが主契約のそれらと密接に関連していない。 ・ 組込デリバティブと同一条件の独立の金融商品ならばデリバティブの要件を充足する。 ・ デリバティブが組み込まれた複合(合成)金融商品が、公正価値で測定され公正価値の変動を純損益に認識するものではない。	次のすべての要件を満たした場合、区分処理が必要となる。 ・ 組込デリバティブのリスクが現物の金融資産又は金融負債に及ぶ可能性があること ・ 組込デリバティブと同一条件の独立した金融商品が、デリバティブの特徴を満たすこと ・ 時価の変動による評価差額が当期の損益に反映されないこと ただし、管理上組込デリバティブが区分され、一定要件を満たす場合、区分処理を行うことができる。
(31) ヘッジ会計の 手法	次の3種類のヘッジ会計が認められている。 ・ 公正価値ヘッジ:ヘッジ対象に関連する特定のリスクに係る公正価値の変動及びヘッジ手段の公正価値の変動はともに純損益に計上する。 ・ キャッシュ・フロー・ヘッジ:ヘッジ手段の公正価値の変動のうち、有効部分をその他の包括利益に計上する。 ・ 在外営業活動体に対する純投資のヘッジ:キャッシュ・フロー・ヘッジと同様の方法で会計処理される。	原則として、ヘッジ手段に係る損益又は評価差額を、税効果を考慮のうえ、純資産の部において繰り延べる。 ただし、時価ヘッジ(ヘッジ対象に係る相場変動等を損益に反映させるもの)も認められる。
(32) ヘッジ非有効 部分の処理	ヘッジ手段に係る利得又は損失のうち非有効部分は、純損益として認識しなければならない。(キャッシュ・フロー・ヘッジの場合、公正価値の変動に対するヘッジ有効部分のみがその他の包括利益で認識される)。	ヘッジ全体が有効と判定され、ヘッジ会計の要件が満たされている場合には、ヘッジ手段に生じた損益のうち結果的に非有効となった部分についても繰延処理することができる。 非有効部分を特定し、合理的に区分できる場合には、当期の損益に計上することができる。
(33) 金利スワップ の特例処理	該当する基準はなく、金利スワップに係る特例処理は認められない。	一定の条件を満たす場合には、金利スワップを時価評価せず、金利スワップに係る利息を直接、金融資産・負債に係る利息に加減して処理することが認められる。
(34) 未払有給休暇	累積的性格を有するものについて、計上することが求められる。	該当する基準はない。

(35)リース	MFRS第16号「リース」に基づき、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分せず、単一の使用権モデルに基づいて、原則として、すべてのリースについて使用権資産とリース負債を財政状態計算書で認識（オンバランス）し、以降、使用権資産は減価償却され、リース負債に係る支払利息は実効金利率を用いて損益計算書に認識される。また、使用権資産については、MFRS第136号「資産の減損」を適用して、使用権資産が減損しているかどうかを判定する。例外として、一定の短期リース及び少額資産のリースについては、免除規定（オフバランス）を選択できる。	日本では、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分する。ファイナンス・リース取引とは、解約不能かつフルペイアウトの要件を満たすものをいい、ファイナンス・リース取引に該当するかどうかについてはその経済的実質に基づいて判断すべきものであるが、解約不能リース期間が、リース物件の経済的耐用年数の概ね75%以上又は解約不能のリース期間中のリース料総額の現在価値が、リース物件を借手が現金で購入するものと仮定した場合の合理的見積金額の概ね90%以上のいずれかに該当する場合は、ファイナンス・リースと判定され、通常の売買取引に係る方法に準じて、リース物件及びこれに係る債務をリース資産及びリース債務として借手の財務諸表に計上する。ただし、少額（リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース）又は短期（1年以内）のファイナンス・リースについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行うことができる。 また、オペレーティング・リース取引とは、ファイナンス・リース取引以外のリース取引をいう。オペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行う。
(36) 確定給付制度 - 確定給付制度債務の期間配分方法	原則として予測単位積増方式（発生給付評価方式）を用いる。ただし、後期の年度の勤務が初期の年度より著しく高い水準の給付を生じさせる場合、定額法を用いる。	次のいずれかの方法の選択適用 ・ 期間定額基準 ・ 給付算定式基準（当該制度の給付算定式に従って各勤務期間に帰属させた給付見込額を、各期の発生額とする）
(37) 確定給付制度 - 年金資産	積立超過である場合には、確定給付資産が以下の金額の合計を超えないように制限される。 ・ 未認識数理計算上の差損の純額及び過去勤務費用 ・ 制度からの返還又は制度への将来の掛金減少という形で利用可能な経済的便益の現在価値（資産上限額）	年金資産の額が退職給付債務を超える場合、当該超過額を資産として計上する（ただし、個別財務諸表に関しては「退職給付に関する会計基準」第39項(1)において別段の定めが設けられている。）。

(38) 確定給付制度 - 数理計算上の差異	企業は、確定給付負債（資産）の純額を財政状態計算書に認識しなければならない。 数理計算上の差異を含む確定給付負債（資産）の純額の再測定はその他の包括利益で認識される。 （その他の包括利益で認識された確定給付負債（資産）の純額の再測定は、事後的に純損益に振り替えてはならない。）	数理計算上の差異は、原則として各期の発生額について、平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理する。 また、当期に発生した未認識数理計算上の差異は税効果を調整の上、その他の包括利益として純資産の部に計上する。 その他の包括利益累計額に計上されている未認識数理計算上の差異のうち、当期に損益に再分類された部分については、その他の包括利益の調整（組替調整）を行う。 未認識過去勤務費用及び未認識数理計算上の差異の費用処理には平均残存勤務期間以内の一定の年数のほか一定割合を用いることができる。また、数理計算上の差異の償却は翌期から行うことができる。 過去勤務費用と数理計算上の差異の償却年数はそれぞれ別個に設定することができる。
(39) 生命保険契約負債	当行グループの貸借対照表上の生命保険契約負債及び当行グループの損益計算書上の保険契約負債の変動は、マレーシア中央銀行のリスク基礎資本フレームワークに準拠して計算されている。 生命保険契約負債は、将来便益の現在価値の合計とリスクフリーレートで割り引かれた保険契約から生じる将来の対価の総額を控除した費用に基づき保険数理計算を用いて評価する。この方法は保険金総額評価方法として知られる。	日本においては、責任準備金は、生命保険契約に基づく将来債務の履行に備えるため、主として平準純保険料方式及びロックイン方式を用いて積み立てられる。
(40) 生命保険事業に係る収益と費用	保障業務を含むサービスの提供及びリスクの負担によって得られる保険料は、収益として扱われる。保険料は金額が信頼できる測定が可能になった時点で認識する。 定期的な支払日のある保険料は、支払期日基準で収益として認識される。支払期日のない保険料は、信頼できる測定の範囲で収益として認識される。新契約獲得費は発生時に費用処理される。	日本においては、現金主義によって、保険料は収益認識され、新契約獲得費は発生時に費用処理される。

第7【外国為替相場の推移】

財務書類の表示に用いられた通貨（マレーシア・リンギット）と本邦通貨との間の為替相場が国内において時事に関する事項を掲載する2以上の日刊新聞にて当該半期中において掲載されているため、本項の記載は省略する。

第8【提出会社の参考情報】

2021年1月1日以降、本半期報告書提出日までの間に、当行は下記の書類を関東財務局長に提出した。

- (1) 金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第1号に基づき2020年12月23日に提出した臨時報告書の訂正報告書(2021年1月19日提出)
- (2) 発行登録書(募集)の訂正発行登録(2021年1月19日提出)
- (3) 発行登録書(売出)の訂正発行登録(2021年1月19日提出)
- (4) 金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第1号に基づく臨時報告書及び添付書類(2021年6月3日提出)
- (5) 発行登録書(募集)の訂正発行登録(2021年6月3日提出)
- (6) 発行登録書(売出)の訂正発行登録(2021年6月3日提出)
- (7) 有価証券報告書及び添付書類(2021年6月29日提出)
- (8) 上記(4)の臨時報告書の訂正報告書(2021年6月30日提出)

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

第1【保証会社情報】

該当事項なし。

第2【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし。

第3【指数等の情報】

該当事項なし。